

平成 26 年 11 月

# 熊本市障がい福祉に関するアンケート調査 結果 報告書（案）

I	調査設計.....	2
II	回答者特性.....	3
III	日常生活について.....	9
IV	外出について.....	25
V	余暇活動や社会活動について.....	28
VI	就労状況（仕事）について.....	31
VII	保育や教育について.....	37
VIII	住まいや暮らしについて.....	39
IX	障害福祉サービスについて.....	44
X	その他生活全般について.....	56

## 1. 調査目的

障がい児・者の生活状況、社会参加状況、障害福祉サービス利用状況等の実情とニーズ及び課題を把握することを目的とする。

## 2. 調査項目

- ・ 日常生活について
- ・ 外出について
- ・ 余暇活動や社会活動について
- ・ 就労状況(仕事)について
- ・ 保育や教育について
- ・ 住まいや暮らしについて
- ・ 障害福祉サービスについて
- ・ その他生活全般について

## 3. 調査方法と有効回収率

- ・ 身体・知的・精神・難病患者を対象に、共通の調査票1種で調査を実施
- ・ 郵送により2,861件配布(「宛所不明」等により139件の返送分を除く)、有効票1,473件を回収。有効回収率は51.5%。

## 4. 調査期間

平成26年7月23日～平成26年8月8日

## 5. 調査結果利用上の留意事項

- ・ 文章や表、グラフ中の回答割合(相対度数)は百分比のポイント以下2位を四捨五入しているの  
で、合計は必ずしも100%にならないことがある。
- ・ 2つ以上の回答を求めた(複数回答)質問の場合、その回答割合の合計は原則として100%を  
超える。
- ・ 数表に記載された「n」は、回答割合算出上の基数(回答数)である。
- ・ 全問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問の回答割合は、層化さ  
れた回答者を基数として算出した。
- ・ 文中では選択肢(変数)を「 」で示した。選択肢の文章が長い場合は、一部省略したところがあ  
る。また、2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』で示した。

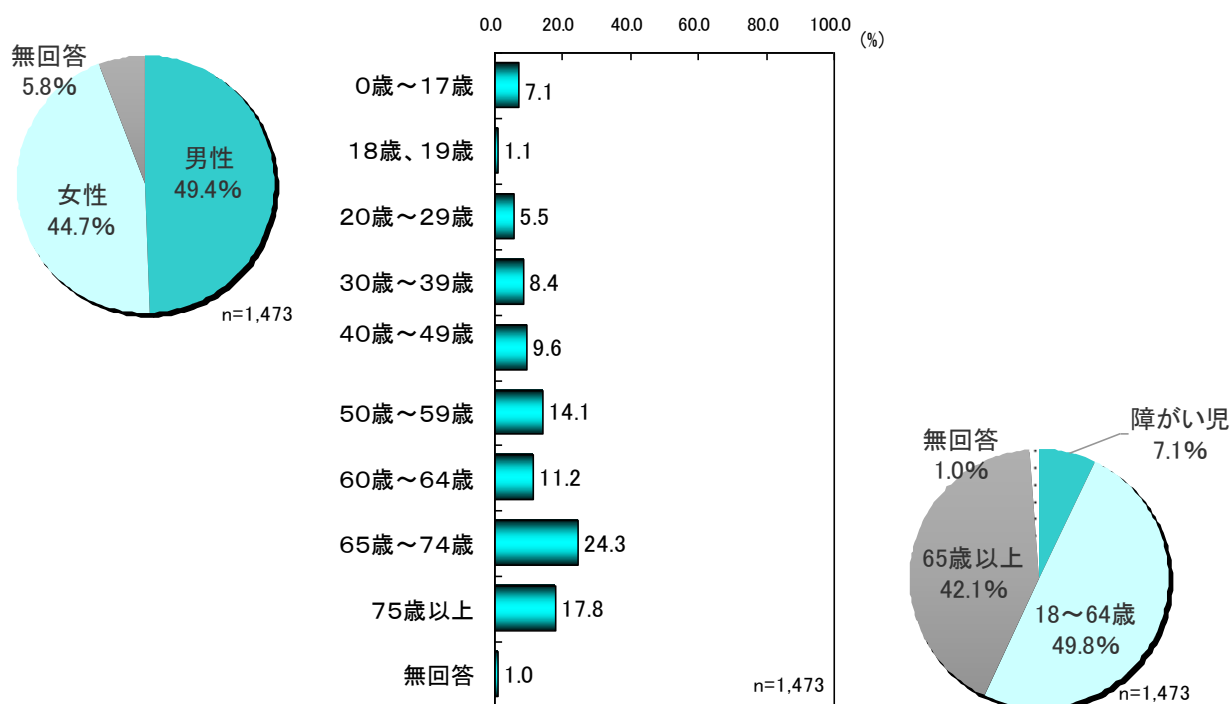
## Ⅱ

## 回答者特性

### 1. 回答者の性別と年齢

「男性」49.4%で、「女性」44.7%。「無回答」は5.8%。

年齢層別にみると、「65～74歳」の24.3%が最も高く、これに「75歳以上」の17.8%、「50～59歳」の14.1%が続く。18歳未満の『障がい児』は7.1%、「18歳～64歳」は49.8%、『65歳以上』は42.1%となっている。

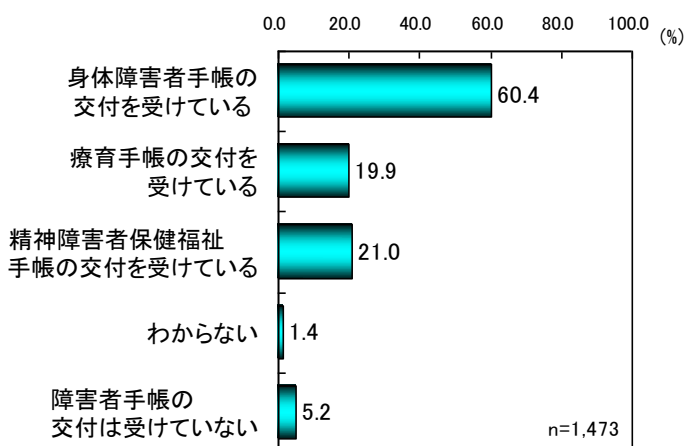


### 2. 回答者の障害者手帳の種類等

#### (1) 障害者手帳の種類別の構成比等

「身体障害者手帳の交付を受けている」が最も多く、回答者全体の60.4%を占めている。以下、回答割合の高い方から順に、「精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている」(21.0%)、「療育手帳の交付を受けている」(19.9%)、「障害者手帳の交付は受けていない」(5.2%)となっている。

身体障害者手帳の交付を受けてい

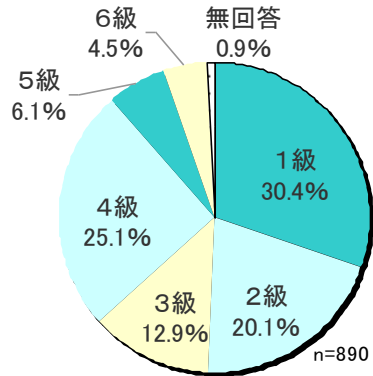


る人の等級をみると、「1級」の 30.4%が最も多く、これに「4級」の 25.1%、「2級」の 20.1%が続いている。「1級」と「2級」を合わせた『重度』の人が 50.5%を占めている。

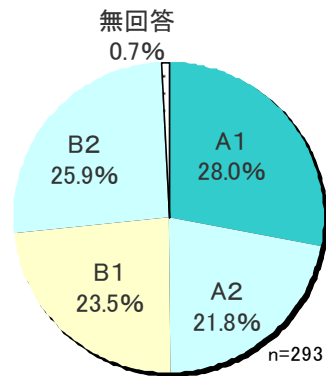
療育手帳の交付を受けている人の判定をみると、「A1」の 28.0%が最も多く、これに「B2」の 25.9%、「B1」の 23.5%が続いている。「A1」と「A2」を合わせた『重度』の人が 49.8%を占めている。

精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人の等級をみると、「2級」の 72.2%が最も多く、これに「1級」の 13.9%、「3級」の 13.3%が続いている。

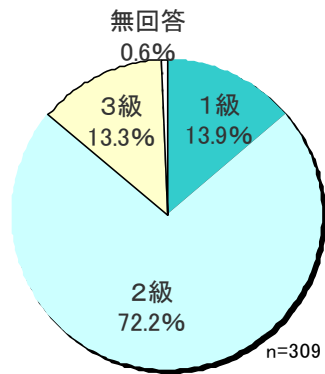
【身体障害者手帳の交付を受けている人の等級】



【療育手帳の交付を受けている人の判定】



【精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人の等級】



## (2)複数の手帳の交付を受けている人の状況

複数の手帳の交付を受けている人の状況は表の通りで、療育手帳の交付を受けている人の 24.6%が身体障害者手帳の交付を受けているほか、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人の 21.0%が身体障害者手帳の交付を受けている。

		問5交付を受けている障害者手帳					
		合計	を身体障害者手帳の交付を受けている	療育手帳の交付を受けている	精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている	わからない	障害者手帳の交付は受けていない
全体		1,473	890	293	309	21	77
		100.0	60.4	19.9	21.0	1.4	5.2
問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	890	72	65	6	0
		100.0	100.0	8.1	7.3	0.7	0.0
	療育手帳	293	72	293	18	0	0
		100.0	24.6	100.0	6.1	0.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳	309	65	18	309	0	0
		100.0	21.0	5.8	100.0	0.0	0.0
わからない		21	6	0	0	21	0
		100.0	28.6	0.0	0.0	100.0	0.0
障害者手帳の交付は受けていない		77	0	0	0	0	77
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

### (3)年代別にみた交付を受けている障害者手帳

『29 歳以下』で「療育手帳の交付を受けている」の割合が高く、30 代、40 代では「精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている」の割合が高くなっている。『50 歳以上』では「身体障害者手帳の交付を受けている」が高くなっている。

	問5交付を受けている障害者手帳					
	合計	を身体障害者手帳の交付を受けている	療育手帳の交付を受けている	精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている	わからない	障害者手帳の交付は受けていない
全体	1,473 100.0	890 60.4	293 19.9	309 21.0	21 1.4	77 5.2
■問3年代	0歳～17歳	105 100.0	20 19.0	94 89.5	3 2.9	0 0.0
	18歳、19歳	16 100.0	3 18.8	12 75.0	1 6.2	0 0.0
	20歳～29歳	81 100.0	15 18.5	48 59.3	25 30.9	1 1.2
	30歳～39歳	123 100.0	43 35.0	46 37.4	51 41.5	1 0.8
	40歳～49歳	141 100.0	47 33.3	33 23.4	65 46.1	0 0.0
	50歳～59歳	208 100.0	124 59.6	23 11.1	62 29.8	2 1.0
	60歳～64歳	165 100.0	115 69.7	10 6.1	37 22.4	2 1.2
	65歳～74歳	358 100.0	295 82.4	17 4.7	40 11.2	9 2.5
	75歳以上	262 100.0	221 84.4	10 3.8	21 8.0	5 1.9
	無回答	14 100.0	7 50.0	0 0.0	4 28.6	0 0.0

### (4)回答者特性別にみた交付を受けている障害者手帳(詳細)

「障がい児」の 89.5%が療育手帳の交付を受けている。「難病」の 51.0%が身体障害者手帳の交付を受けているが、交付を受けていない人も 28.9%と比較的高くなっている。「発達障がいがある」人の 74.1%が療育手帳の交付を受けている。

	問5交付を受けている障害者手帳					
	合計	付身体障害者手帳の交付を受けている	療育手帳の交付を受けている	精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている	わからない	障害者手帳の交付は受けていない
全体	1,473 100.0	890 60.4	293 19.9	309 21.0	21 1.4	77 5.2
■年齢層別	障がい児	105 100.0	20 19.0	94 89.5	3 2.9	0 0.0
	18歳～64歳	734 100.0	347 47.3	172 23.4	241 32.8	7 1.0
	65歳以上	620 100.0	516 83.2	27 4.4	61 9.8	14 2.3
	無回答	14 100.0	7 50.0	0 0.0	4 28.6	0 0.0
■問6難病	かかっている	1,023 100.0	642 62.8	235 23.0	207 20.2	12 1.2
	かかっている	194 100.0	99 51.0	20 10.3	23 11.9	2 1.0
	わからない	137 100.0	80 58.4	22 16.1	51 37.2	4 2.9
	無回答	119 100.0	69 58.0	16 13.4	28 23.5	3 2.5
■問7発達障がい	ない	918 100.0	629 68.5	92 10.0	186 20.3	7 0.8
	ある	170 100.0	27 15.9	126 74.1	33 19.4	1 0.6
	わからない	108 100.0	45 41.7	43 39.8	29 26.9	8 7.4
	無回答	277 100.0	189 68.2	32 11.6	61 22.0	5 1.8

## (5) 回答者特性別にみた身体障害者手帳の等級

「療育手帳交付者」の 56.9% は、身体障害者手帳の「1 級」となっている。「精神障害者保健福祉手帳交付者」の 52.3% は、身体障害者手帳の「2 級」となっている。

	身体障害者手帳の等級							
	合計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	無回答
全体	890	271	179	115	223	54	40	8
	100.0	30.4	20.1	12.9	25.1	6.1	4.5	0.9
■ 問 5 手帳の交付状況								
身体障害者手帳	890	271	179	115	223	54	40	8
	100.0	30.4	20.1	12.9	25.1	6.1	4.5	0.9
療育手帳	72	41	11	10	6	3	1	0
	100.0	56.9	15.3	13.9	8.3	4.2	1.4	0.0
精神障害者保健福祉手帳	65	14	34	10	6	1	0	0
	100.0	21.5	52.3	15.4	9.2	1.5	0.0	0.0
わからない	6	1	3	0	1	1	0	0
	100.0	16.7	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
障害者手帳の交付は受けていない	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (6) 回答者特性別にみた療育手帳の判定

「身体障害者手帳交付者」の 51.4% は、療育手帳の「A1 判定」となっている。同じく「身体障害者手帳の 1～2 級」の 63.5% は、療育手帳の「A1 判定」となっている。

	療育等級の判定					
	合計	A 1	A 2	B 1	B 2	無回答
全体	293	82	64	69	76	2
	100.0	28.0	21.8	23.5	25.9	0.7
■ 問 5 手帳の交付状況						
身体障害者手帳	72	37	13	15	6	1
	100.0	51.4	18.1	20.8	8.3	1.4
療育手帳	293	82	64	69	76	2
	100.0	28.0	21.8	23.5	25.9	0.7
精神障害者保健福祉手帳	18	6	1	2	9	0
	100.0	33.3	5.6	11.1	50.0	0.0
わからない	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者手帳の交付は受けていない	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
身体障害者手帳(計)	72	37	13	15	6	1
	100.0	51.4	18.1	20.8	8.3	1.4
等級						
1～2 級	52	33	7	8	3	1
	100.0	63.5	13.5	15.4	5.8	1.9
3～6 級	20	4	6	7	3	0
	100.0	20.0	30.0	35.0	15.0	0.0
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (7) 回答者特性別にみた精神障害者保健福祉手帳の等級

『65 歳以上』年齢層の 26.2% が、精神障害者保健福祉手帳の「1 級」の交付を受けている。「身体障害者手帳の交付者」と「療育手帳の交付者」の 20% 台が精神障害者保健福祉手帳の「1 級」となっている。

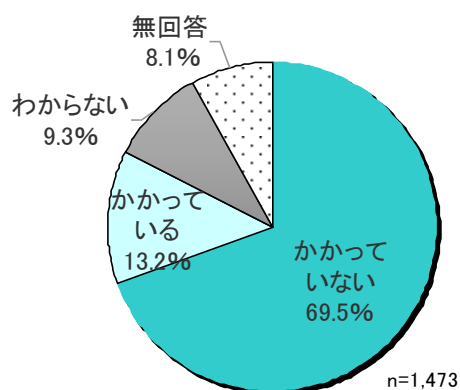
	精神障害者保健福祉手帳の等級				
	合計	1 級	2 級	3 級	無回答
全体	309	43	223	41	2
	100.0	13.9	72.2	13.3	0.6
■ 年齢層別					
障がい児	3	0	3	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
18 歳～64 歳	241	26	180	34	1
	100.0	10.8	74.7	14.1	0.4
65 歳以上	61	16	37	7	1
	100.0	26.2	60.7	11.5	1.6
無回答	4	1	3	0	0
	100.0	25.0	75.0	0.0	0.0
■ 問 5 手帳の交付状況					
身体障害者手帳	65	13	43	8	1
	100.0	20.0	66.2	12.3	1.5
療育手帳	18	4	12	2	0
	100.0	22.2	66.7	11.1	0.0
精神障害者保健福祉手帳	309	43	223	41	2
	100.0	13.9	72.2	13.3	0.6
わからない	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者手帳の交付は受けていない	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 3. 難病と呼ばれる病気にかかっている人

「かかっている」と回答した人は回答者全体の13.2%で、このうちの51.0%が身体障害者手帳の交付を受けている。

年齢構成をみると、『40歳代以上』の年齢層が多く、構成比はいずれも10%台となっている。

このほか障害者手帳の交付を受けていない人の72.7%が難病にかかっている。



		問5手帳					
		合計	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	わからない	障害者手帳の交付は受けていない
問6難病	全体	1,473	890	293	309	21	77
		100.0	60.4	19.9	21.0	1.4	5.2
	かかっていない	1,023	642	235	207	12	15
		100.0	62.8	23.0	20.2	1.2	1.5
	かかっている	194	99	20	23	2	56
		100.0	51.0	10.3	11.9	1.0	28.9
	わからない	137	80	22	51	4	4
		100.0	58.4	16.1	37.2	2.9	2.9
	無回答	119	69	16	28	3	2
		100.0	58.0	13.4	23.5	2.5	1.7

		問6難病				
		合計	かかっていない	かかっている	わからない	無回答
問3年代	全体	1,473	1,023	194	137	119
		100.0	69.5	13.2	9.3	8.1
	0歳～17歳	105	83	12	7	3
		100.0	79.0	11.4	6.7	2.9
	18歳、19歳	16	16	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳～29歳	81	61	8	7	5
		100.0	75.3	9.9	8.6	6.2
	30歳～39歳	123	83	12	19	9
		100.0	67.5	9.8	15.4	7.3
	40歳～49歳	141	99	19	12	11
		100.0	70.2	13.5	8.5	7.8
	50歳～59歳	208	137	39	21	11
		100.0	65.9	18.8	10.1	5.3
	60歳～64歳	165	110	19	19	17
		100.0	66.7	11.5	11.5	10.3
	65歳～74歳	358	256	47	31	24
		100.0	71.5	13.1	8.7	6.7
	75歳以上	262	169	37	21	35
		100.0	64.5	14.1	8.0	13.4
	無回答	14	9	1	0	4
		100.0	64.3	7.1	0.0	28.6
問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	642	99	80	69
		100.0	72.1	11.1	9.0	7.8
	療育手帳	293	235	20	22	16
		100.0	80.2	6.8	7.5	5.5
	精神障害者保健福祉手帳	309	207	23	51	28
		100.0	67.0	7.4	16.5	9.1
	わからない	21	12	2	4	3
		100.0	57.1	9.5	19.0	14.3
	障害者手帳の交付は受けていない	77	15	56	4	2
		100.0	19.5	72.7	5.2	2.6

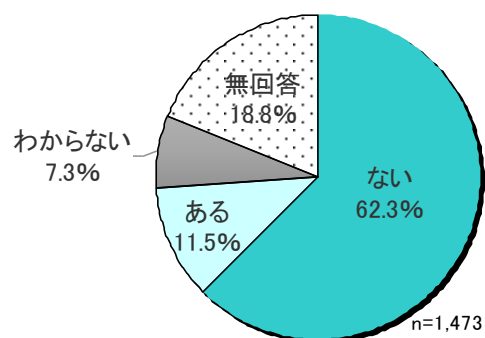
## 4. 発達障がいとして診断されたことがある人

「ある」と回答した人は回答者全体の 11.5% となっている。

手帳の交付状況別にみると、療育手帳の交付を受けている人の 43.0%が「ある」となっており、他に比べて高くなっている。

年齢構成をみると、年齢層が若いほど「ある」とする人の割合が高くなっており、「0～17歳」では 70.5%を占めている。

このほか療育手帳のB判定の 51.7%が発達障がいとして診断されたことが「ある」と回答している。



		問7発達障害				
		合計	ない	ある	わからない	無回答
全体		1,473	918	170	108	277
		100.0	62.3	11.5	7.3	18.8
問5 手帳の 交付 状況	身体障害者手帳	890	629	27	45	189
		100.0	70.7	3.0	5.1	21.2
	療育手帳	293	92	126	43	32
		100.0	31.4	43.0	14.7	10.9
	精神障害者保健福祉手帳	309	186	33	29	61
問3 年代	わからない	21	7	1	8	5
		100.0	33.3	4.8	38.1	23.8
	障害者手帳の交付は 受けていない	77	64	2	4	7
		100.0	83.1	2.6	5.2	9.1
問3 年代	0歳～17歳	105	14	74	14	3
		100.0	13.3	70.5	13.3	2.9
	18歳、19歳	16	3	8	5	0
		100.0	18.8	50.0	31.2	0.0
	20歳～29歳	81	34	34	10	3
		100.0	42.0	42.0	12.3	3.7
	30歳～39歳	123	66	24	12	21
		100.0	53.7	19.5	9.8	17.1
	40歳～49歳	141	94	11	13	23
		100.0	66.7	7.8	9.2	16.3
	50歳～59歳	208	159	6	13	30
療育手帳(計)		100.0	76.4	2.9	6.2	14.4
	60歳～64歳	165	118	1	9	37
		100.0	71.5	0.6	5.5	22.4
	65歳～74歳	358	251	8	19	80
		100.0	70.1	2.2	5.3	22.3
	75歳以上	262	170	3	12	77
		100.0	64.9	1.1	4.6	29.4
	無回答	14	9	1	1	3
		100.0	64.3	7.1	7.1	21.4
		293	92	126	43	32
		100.0	31.4	43.0	14.7	10.9
判定	A1、A2	146	53	51	23	19
		100.0	36.3	34.9	15.8	13.0
	B1、B2	145	39	75	19	12
		100.0	26.9	51.7	13.1	8.3
判定	無回答	2	0	0	1	1
		100.0	0.0	0.0	50.0	50.0



### Ⅲ

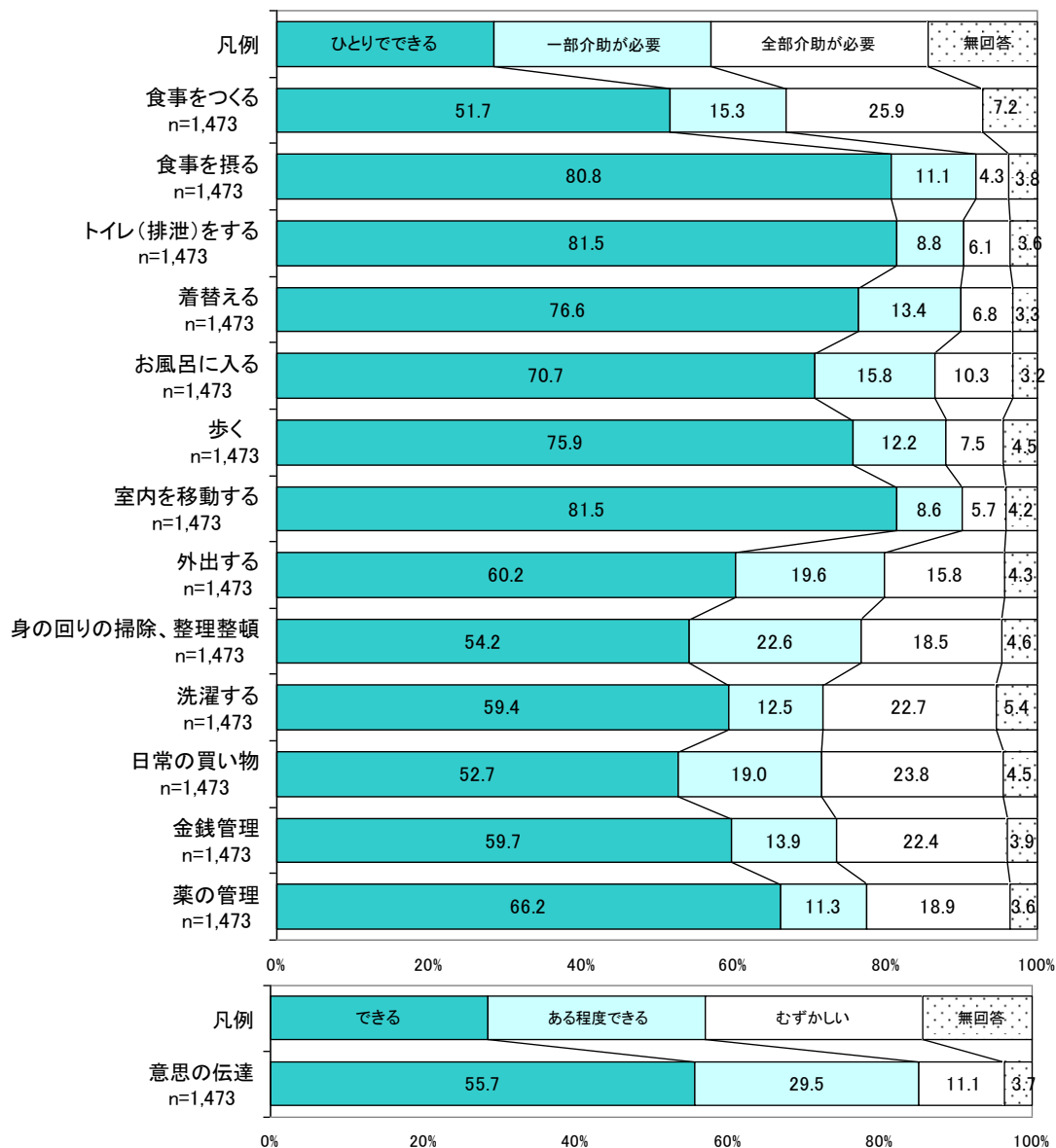
## 日常生活について

### 1. 日常生活動作の状況

問8 あなたは、次にあげる動作がどの程度できますか。①～⑭まで、それぞれの項目についてあてはまるものに1ずつ○をつけてください。

日常生活動作 14 項目の中で「全部介助が必要」の割合が最も高いのは、「食事をつくる」の 25.9%。以下、割合が高い方から、「日常の買物」(23.8%)、「洗濯する」(22.7%)、「金銭管理」(22.4%)の順。「一部介助が必要」の割合が高いのは、「身の回りの掃除、整理整頓」(22.6%)、「外出する」(19.6%)、「日所の買物」(19.6%)の順となっている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要(「意志の伝達」は「むずかしい」)」は「療育手帳交付者」の割合が高い。発達障がい診断を受けた人で「全部介助が必要」の割合が比較的高い項目は、「食事をつくる」、「外出する」、「身の回りの掃除、整理整頓」、「洗濯する」、「日常の買物」、「金銭管理」、「薬の管理」、「意志の伝達」となっている。



## ①食事をつくる

「ひとりでできる」の 51.7%が最も高く、これに「全部介助が必要」の 25.9%、「一部介助が必要」の 15.3%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合が最も高いのは「療育手帳交付者」の 61.1%。発達障がいがある」と診断を受けた人も「全部介助が必要」が 54.7%と高くなっている。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が高くなっているのは、「障がい児」(72.4%)、「療育手帳交付者のA判定」(78.1%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の1級」(62.8%)となっている。

		問8の1食事をつくる				
		合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		1,473	761	225	381	106
		100.0	51.7	15.3	25.9	7.2
問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	526	112	177	75
		100.0	59.1	12.6	19.9	8.4
	療育手帳	293	47	54	179	13
		100.0	16.0	18.4	61.1	4.4
	精神障害者保健福祉手帳	309	143	79	66	21
問7発達障がい		100.0	46.3	25.6	21.4	6.8
	わからない	21	11	2	4	4
		100.0	52.4	9.5	19.0	19.0
	障害者手帳の交付は受けていない	77	59	2	10	6
		100.0	76.6	2.6	13.0	7.8
問7発達障がい	ない	918	568	129	187	34
		100.0	61.9	14.1	20.4	3.7
	ある	170	26	42	93	9
		100.0	15.3	24.7	54.7	5.3
	わからない	108	33	22	40	13
問7発達障がい		100.0	30.6	20.4	37.0	12.0
	無回答	277	134	32	61	50
		100.0	48.4	11.6	22.0	18.1
年齢層別	障がい児	105	11	14	76	4
		100.0	10.5	13.3	72.4	3.8
	18歳～64歳	734	380	141	187	26
		100.0	51.8	19.2	25.5	3.5
	65歳以上	620	365	69	115	71
年齢層別		100.0	58.9	11.1	18.5	11.5
	無回答	14	5	1	3	5
		100.0	35.7	7.1	21.4	35.7
療育手帳(計)		293	47	54	179	13
		100.0	16.0	18.4	61.1	4.4
	A1、A2	146	12	16	114	4
		100.0	8.2	11.0	78.1	2.7
	B1、B2	145	34	38	64	9
判定		100.0	23.4	26.2	44.1	6.2
	無回答	2	1	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳(計)	309	143	79	66	21
		100.0	46.3	25.6	21.4	6.8
等級	1級	43	8	3	27	5
		100.0	18.6	7.0	62.8	11.6
	2～3級	264	134	75	39	16
		100.0	50.8	28.4	14.8	6.1
	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0

## ②食事を摂る

「ひとりでできる」の 80.8%が最も高く、これに「一部介助が必要」の 11.1%、「全部介助が必要」の 4.3%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合が最も高いのは「療育手帳交付者」の 12.6%。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「障がい児」(9.5%)、「身体障害者手帳交付者の 1～2 級」(8.7%)、「療育手帳交付者の A 判定」(23.3%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(11.6%)となっている。

		問8の2食事を摂る				
		合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		1,473	1,190	163	64	56
		100.0	80.8	11.1	4.3	3.8
■問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	731	80	45	34
		100.0	82.1	9.0	5.1	3.8
	療育手帳	293	183	68	37	5
		100.0	62.5	23.2	12.6	1.7
	精神障害者保健福祉手帳	309	262	29	7	11
		100.0	84.8	9.4	2.3	3.6
	わからない	21	13	1	1	6
		100.0	61.9	4.8	4.8	28.6
	障害者手帳の交付は受けていない	77	66	5	2	4
		100.0	85.7	6.5	2.6	5.2
■年齢層別	障がい児	105	62	32	10	1
		100.0	59.0	30.5	9.5	1.0
	18歳～64歳	734	607	75	36	16
		100.0	82.7	10.2	4.9	2.2
	65歳以上	620	511	55	18	36
		100.0	82.4	8.9	2.9	5.8
	無回答	14	10	1	0	3
		100.0	71.4	7.1	0.0	21.4
■等級	身体障害者手帳(計)	890	731	80	45	34
		100.0	82.1	9.0	5.1	3.8
	1～2級	450	331	63	39	17
		100.0	73.6	14.0	8.7	3.8
	3～6級	432	393	17	5	17
		100.0	91.0	3.9	1.2	3.9
	無回答	8	7	0	1	0
		100.0	87.5	0.0	12.5	0.0
■判定	療育手帳(計)	293	183	68	37	5
		100.0	62.5	23.2	12.6	1.7
	A1、A2	146	64	47	34	1
		100.0	43.8	32.2	23.3	0.7
	B1、B2	145	117	21	3	4
		100.0	80.7	14.5	2.1	2.8
	無回答	2	2	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
■等級	精神障害者保健福祉手帳(計)	309	262	29	7	11
		100.0	84.8	9.4	2.3	3.6
	1級	43	28	8	5	2
		100.0	65.1	18.6	11.6	4.7
	2～3級	264	232	21	2	9
		100.0	87.9	8.0	0.8	3.4
	無回答	2	2	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

### ③トイレ(排泄)をする

「ひとりでできる」の 81.5%が最も高く、これに「一部介助が必要」の 8.8%、「全部介助が必要」の 6.1%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合が最も高いのは「療育手帳交付者」の 14.7%。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「障がい児」(15.2%)、「身体障害者手帳交付者の 1～2 級」(12.2%)、「療育手帳交付者の A 判定」(26.7%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(18.6%)となっている。

	問8の3トイレをする				
	合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体	1,473	1,200	130	90	53
	100.0	81.5	8.8	6.1	3.6
■ 問5手帳の交付状況					
身体障害者手帳	890	740	55	64	31
	100.0	83.1	6.2	7.2	3.5
療育手帳	293	184	61	43	5
	100.0	62.8	20.8	14.7	1.7
精神障害者保健福祉手帳	309	268	18	13	10
	100.0	86.7	5.8	4.2	3.2
わからない	21	13	0	2	6
	100.0	61.9	0.0	9.5	28.6
障害者手帳の交付は受けていない	77	66	4	3	4
	100.0	85.7	5.2	3.9	5.2
■ 年齢層別					
障がい児	105	58	30	16	1
	100.0	55.2	28.6	15.2	1.0
18歳～64歳	734	614	60	45	15
	100.0	83.7	8.2	6.1	2.0
65歳以上	620	520	37	28	35
	100.0	83.9	6.0	4.5	5.6
無回答	14	8	3	1	2
	100.0	57.1	21.4	7.1	14.3
身体障害者手帳(計)	890	740	55	64	31
	100.0	83.1	6.2	7.2	3.5
等級					
1～2級	450	336	42	55	17
	100.0	74.7	9.3	12.2	3.8
3～6級	432	398	12	8	14
	100.0	92.1	2.8	1.9	3.2
無回答	8	6	1	1	0
	100.0	75.0	12.5	12.5	0.0
療育手帳(計)	293	184	61	43	5
	100.0	62.8	20.8	14.7	1.7
判定					
A1、A2	146	65	41	39	1
	100.0	44.5	28.1	26.7	0.7
B1、B2	145	117	20	4	4
	100.0	80.7	13.8	2.8	2.8
無回答	2	2	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳(計)	309	268	18	13	10
	100.0	86.7	5.8	4.2	3.2
等級					
1級	43	26	8	8	1
	100.0	60.5	18.6	18.6	2.3
2～3級	264	240	10	5	9
	100.0	90.9	3.8	1.9	3.4
無回答	2	2	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

#### ④着替える

「ひとりでできる」の 76.6%が最も高く、これに「一部介助が必要」の 13.4%、「全部介助が必要」の 6.8%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合が最も高いのは「療育手帳交付者」の 14.7%。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「障がい児」(15.2%)、「身体障害者手帳交付者の 1～2 級」(14.0%)、「療育手帳交付者の A 判定」(24.7%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(20.9%)となっている。

	問8の4着替える				
	合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体	1,473 100.0	1,128 76.6	197 13.4	100 6.8	48 3.3
■問5手帳の交付状況					
身体障害者手帳	890 100.0	682 76.6	110 12.4	71 8.0	27 3.0
療育手帳	293 100.0	176 60.1	70 23.9	43 14.7	4 1.4
精神障害者保健福祉手帳	309 100.0	260 84.1	24 7.8	16 5.2	9 2.9
わからない	21 100.0	15 71.4	0 0.0	2 9.5	4 19.0
障害者手帳の交付は受けていない	77 100.0	64 83.1	6 7.8	3 3.9	4 5.2
■年齢層別					
障がい児	105 100.0	55 52.4	32 30.5	16 15.2	2 1.9
18歳～64歳	734 100.0	585 79.7	87 11.9	47 6.4	15 2.0
65歳以上	620 100.0	479 77.3	77 12.4	36 5.8	28 4.5
無回答	14 100.0	9 64.3	1 7.1	1 7.1	3 21.4
身体障害者手帳(計)	890 100.0	682 76.6	110 12.4	71 8.0	27 3.0
等級					
1～2級	450 100.0	297 66.0	78 17.3	63 14.0	12 2.7
3～6級	432 100.0	380 88.0	30 6.9	7 1.6	15 3.5
無回答	8 100.0	5 62.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0
療育手帳(計)	293 100.0	176 60.1	70 23.9	43 14.7	4 1.4
判定					
A1、A2	146 100.0	63 43.2	47 32.2	36 24.7	0 0.0
B1、B2	145 100.0	112 77.2	22 15.2	7 4.8	4 2.8
無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
精神障害者保健福祉手帳(計)	309 100.0	260 84.1	24 7.8	16 5.2	9 2.9
等級					
1級	43 100.0	23 53.5	10 23.3	9 20.9	1 2.3
2～3級	264 100.0	235 89.0	14 5.3	7 2.7	8 3.0
無回答	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## ⑤お風呂に入る

「ひとりでできる」の 70.7%が最も高く、これに「一部介助が必要」の 15.8%、「全部介助が必要」の 10.3%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合が最も高いのは「療育手帳交付者」の 19.5%。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「障がい児」(21.9%)、「身体障害者手帳交付者の 1～2 級」(19.1%)、「療育手帳交付者の A 判定」(32.2%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(23.3%)となっている。

		問8の5お風呂の入る				
		合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		1,473	1,042	232	152	47
		100.0	70.7	15.8	10.3	3.2
■問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	639	121	102	28
		100.0	71.8	13.6	11.5	3.1
	療育手帳	293	146	86	57	4
		100.0	49.8	29.4	19.5	1.4
	精神障害者保健福祉手帳	309	241	33	24	11
		100.0	78.0	10.7	7.8	3.6
	わからない	21	15	0	2	4
		100.0	71.4	0.0	9.5	19.0
	障害者手帳の交付は受けていない	77	59	8	6	4
		100.0	76.6	10.4	7.8	5.2
■年齢層別	障がい児	105	39	42	23	1
		100.0	37.1	40.0	21.9	1.0
	18歳～64歳	734	552	98	68	16
		100.0	75.2	13.4	9.3	2.2
	65歳以上	620	444	91	58	27
		100.0	71.6	14.7	9.4	4.4
	無回答	14	7	1	3	3
		100.0	50.0	7.1	21.4	21.4
	身体障害者手帳(計)	890	639	121	102	28
		100.0	71.8	13.6	11.5	3.1
■等級	1～2級	450	269	79	86	16
		100.0	59.8	17.6	19.1	3.6
	3～6級	432	365	40	15	12
		100.0	84.5	9.3	3.5	2.8
	無回答	8	5	2	1	0
■判定		100.0	62.5	25.0	12.5	0.0
	療育手帳(計)	293	146	86	57	4
		100.0	49.8	29.4	19.5	1.4
	A1、A2	146	43	56	47	0
		100.0	29.5	38.4	32.2	0.0
■判定	B1、B2	145	102	29	10	4
		100.0	70.3	20.0	6.9	2.8
	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳(計)	309	241	33	24	11
■等級		100.0	78.0	10.7	7.8	3.6
	1級	43	20	12	10	1
		100.0	46.5	27.9	23.3	2.3
	2～3級	264	219	21	14	10
		100.0	83.0	8.0	5.3	3.8
■等級	無回答	2	2	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

## ⑥歩く

「ひとりでできる」の 75.9%が最も高く、これに「一部介助が必要」の 12.2%、「全部介助が必要」の 7.5%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合は「療育手帳交付者」の 11.3%が最も高く、これに「身体障害者手帳交付者」の 10.0%が続く。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「身体障害者手帳交付者の 1～2 級」(17.8%)、「療育手帳交付者の A 判定」(19.9%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(18.6%)となっている。

		問8の6歩く				
		合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
■問5手帳の交付状況	全体	1,473	1,118	179	110	66
		100.0	75.9	12.2	7.5	4.5
	身体障害者手帳	890	623	132	89	46
		100.0	70.0	14.8	10.0	5.2
	療育手帳	293	222	33	33	5
		100.0	75.8	11.3	11.3	1.7
	精神障害者保健福祉手帳	309	261	21	14	13
		100.0	84.5	6.8	4.5	4.2
	わからない	21	15	1	1	4
		100.0	71.4	4.8	4.8	19.0
	障害者手帳の交付は受けていない	77	62	7	4	4
		100.0	80.5	9.1	5.2	5.2
	身体障害者手帳(計)	890	623	132	89	46
		100.0	70.0	14.8	10.0	5.2
	1～2級	450	269	75	80	26
		100.0	59.8	16.7	17.8	5.8
	3～6級	432	349	57	7	19
		100.0	80.8	13.2	1.6	4.4
	無回答	8	5	0	2	1
		100.0	62.5	0.0	25.0	12.5
等級	療育手帳(計)	293	222	33	33	5
		100.0	75.8	11.3	11.3	1.7
	A1、A2	146	87	29	29	1
		100.0	59.6	19.9	19.9	0.7
	B1、B2	145	133	4	4	4
		100.0	91.7	2.8	2.8	2.8
	無回答	2	2	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳(計)	309	261	21	14	13
		100.0	84.5	6.8	4.5	4.2
判定	1級	43	28	4	8	3
		100.0	65.1	9.3	18.6	7.0
	2～3級	264	231	17	6	10
		100.0	87.5	6.4	2.3	3.8
	無回答	2	2	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
等級	1級	43	28	4	8	3
		100.0	65.1	9.3	18.6	7.0
	2～3級	264	231	17	6	10
		100.0	87.5	6.4	2.3	3.8
	無回答	2	2	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

## ⑦室内を移動する

「ひとりでできる」の 81.5%が最も高く、これに「一部介助が必要」の 8.6%、「全部介助が必要」の 5.7%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合は「療育手帳交付者」の 9.9%が最も高く、これに「身体障害者手帳交付者」の 7.1%が続く。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「身体障害者手帳交付者の1～2級」(12.4%)、「療育手帳交付者のA判定」(17.1%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の1級」(18.6%)となっている。

	問8の7室内を移動する				
	合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体	1,473 100.0	1,201 81.5	126 8.6	84 5.7	62 4.2
■問5手帳の交付状況					
身体障害者手帳	890 100.0	704 79.1	86 9.7	63 7.1	37 4.2
療育手帳	293 100.0	227 77.5	31 10.6	29 9.9	6 2.0
精神障害者保健福祉手帳	309 100.0	267 86.4	15 4.9	15 4.9	12 3.9
わからない	21 100.0	14 66.7	1 4.8	1 4.8	5 23.8
障害者手帳の交付は受けていない	77 100.0	65 84.4	6 7.8	2 2.6	4 5.2
身体障害者手帳(計)	890 100.0	704 79.1	86 9.7	63 7.1	37 4.2
等級					
1～2級	450 100.0	310 68.9	61 13.6	56 12.4	23 5.1
3～6級	432 100.0	388 89.8	24 5.6	6 1.4	14 3.2
無回答	8 100.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0
療育手帳(計)	293 100.0	227 77.5	31 10.6	29 9.9	6 2.0
判定					
A1、A2	146 100.0	90 61.6	29 19.9	25 17.1	2 1.4
B1、B2	145 100.0	135 93.1	2 1.4	4 2.8	4 2.8
無回答	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
精神障害者保健福祉手帳(計)	309 100.0	267 86.4	15 4.9	15 4.9	12 3.9
等級					
1級	43 100.0	28 65.1	6 14.0	8 18.6	1 2.3
2～3級	264 100.0	237 89.8	9 3.4	7 2.7	11 4.2
無回答	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



## ⑧外出する

「ひとりでできる」の 60.2%が最も高く、これに「一部介助が必要」の 19.6%、「全部介助が必要」の 15.8%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合は「療育手帳交付者」の 32.4%が最も高く、これに「身体障害者手帳交付者」の 15.3%が続く。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「障がい児」(29.5%)、「身体障害者手帳交付者の 1～2 級」(23.6%)、「療育手帳交付者の A 判定」(53.4%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(39.5%)、「発達障がいの診断を受けた人」(24.1%)となっている。

	問8の8外出する				
	合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体	1,473	887	289	233	64
	100.0	60.2	19.6	15.8	4.3
■ 問5手帳の交付状況					
身体障害者手帳	890	561	153	136	40
	100.0	63.0	17.2	15.3	4.5
療育手帳	293	107	85	95	6
	100.0	36.5	29.0	32.4	2.0
精神障害者保健福祉手帳	309	201	64	32	12
	100.0	65.0	20.7	10.4	3.9
わからない	21	12	0	4	5
	100.0	57.1	0.0	19.0	23.8
障害者手帳の交付は受けていない	77	57	7	9	4
	100.0	74.0	9.1	11.7	5.2
■ 年齢層別					
障がい児	105	29	43	31	2
	100.0	27.6	41.0	29.5	1.9
18歳～64歳	734	464	143	109	18
	100.0	63.2	19.5	14.9	2.5
65歳以上	620	386	103	89	42
	100.0	62.3	16.6	14.4	6.8
無回答	14	8	0	4	2
	100.0	57.1	0.0	28.6	14.3
身体障害者手帳(計)	890	561	153	136	40
	100.0	63.0	17.2	15.3	4.5
等級					
1～2級	450	231	92	106	21
	100.0	51.3	20.4	23.6	4.7
3～6級	432	325	61	28	18
	100.0	75.2	14.1	6.5	4.2
無回答	8	5	0	2	1
	100.0	62.5	0.0	25.0	12.5
療育手帳(計)	293	107	85	95	6
	100.0	36.5	29.0	32.4	2.0
判定					
A1、A2	146	25	42	78	1
	100.0	17.1	28.8	53.4	0.7
B1、B2	145	81	43	16	5
	100.0	55.9	29.7	11.0	3.4
無回答	2	1	0	1	0
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳(計)	309	201	64	32	12
	100.0	65.0	20.7	10.4	3.9
等級					
1級	43	16	8	17	2
	100.0	37.2	18.6	39.5	4.7
2～3級	264	183	56	15	10
	100.0	69.3	21.2	5.7	3.8
無回答	2	2	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
■ 問6難病					
かかっている	1,023	651	198	148	26
	100.0	63.6	19.4	14.5	2.5
かかっている	194	112	40	37	5
	100.0	57.7	20.6	19.1	2.6
わからない	137	67	31	30	9
	100.0	48.9	22.6	21.9	6.6
無回答	119	57	20	18	24
	100.0	47.9	16.8	15.1	20.2
■ 問7発達障がい					
ない	918	631	152	116	19
	100.0	68.7	16.6	12.6	2.1
ある	170	66	60	41	3
	100.0	38.8	35.3	24.1	1.8
わからない	108	44	25	31	8
	100.0	40.7	23.1	28.7	7.4
無回答	277	146	52	45	34
	100.0	52.7	18.8	16.2	12.3

## ⑨身の回りの掃除、整理整頓

「ひとりでできる」の 54.2%が最も高く、これに「一部介助が必要」の 22.6%、「全部介助が必要」の 18.5%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合は「療育手帳交付者」の 41.6%が最も高く、これに「身体障害者手帳交付者」の 16.3%が続く。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「障がい児」(41.9%)、「身体障害者手帳交付者の 1～2 級」(25.3%)、「療育手帳交付者の A 判定」(63.7%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(34.9%)、「発達障がいの診断を受けた人」(34.1%)となっている。

		問8の9身の回りの掃除、整理整頓				
		合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		1,473	799	333	273	68
		100.0	54.2	22.6	18.5	4.6
■問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	529	170	145	46
		100.0	59.4	19.1	16.3	5.2
	療育手帳	293	70	93	122	8
		100.0	23.9	31.7	41.6	2.7
	精神障害者保健福祉手帳	309	159	92	42	16
		100.0	51.5	29.8	13.6	5.2
■問7発達障がい	わからない	21	10	3	3	5
		100.0	47.6	14.3	14.3	23.8
	障害者手帳の交付は受けていない	77	57	8	8	4
		100.0	74.0	10.4	10.4	5.2
■年齢層別	障がい児	12	19	40	44	2
		11.4	18.1	38.1	41.9	1.9
	18歳～64歳	499	399	180	138	17
		68.0	54.4	24.5	18.8	2.3
	65歳以上	458	373	113	88	46
		73.9	60.2	18.2	14.2	7.4
■等級	無回答	6	8	0	3	3
		42.9	57.1	0.0	21.4	21.4
	身体障害者手帳(計)	890	529	170	145	46
		100.0	59.4	19.1	16.3	5.2
	重度(1～2級)	450	208	100	114	28
■判定		100.0	46.2	22.2	25.3	6.2
	軽度(3～6級)	432	316	70	28	18
		100.0	73.1	16.2	6.5	4.2
	無回答	8	5	0	3	0
		100.0	62.5	0.0	37.5	0.0
■療育手帳(計)		293	70	93	122	8
		100.0	23.9	31.7	41.6	2.7
	A1、A2	146	17	33	93	3
		100.0	11.6	22.6	63.7	2.1
	B1、B2	145	52	60	28	5
■精神障害者保健福祉手帳(計)		100.0	35.9	41.4	19.3	3.4
	無回答	2	1	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳(計)	309	159	92	42	16
		100.0	51.5	29.8	13.6	5.2
■等級	重度(1級)	43	13	12	15	3
		100.0	30.2	27.9	34.9	7.0
	軽度(2～3級)	264	144	80	27	13
		100.0	54.5	30.3	10.2	4.9
	無回答	2	2	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
■問7発達障がい	ない	918	589	179	133	17
		100.0	64.2	19.5	14.5	1.9
	ある	170	40	68	58	4
		100.0	23.5	40.0	34.1	2.4
	わからない	108	36	36	28	8
■問7発達障がい		100.0	33.3	33.3	25.9	7.4
	無回答	277	134	50	54	39
		100.0	48.4	18.1	19.5	14.1

## ⑩洗濯する

「ひとりでできる」の 59.4%が最も高く、これに「全部介助が必要」の 22.7%、「一部介助が必要」の 12.5%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合は「療育手帳交付者」の 51.5%が最も高く、これに「身体障害者手帳交付者」の 19.1%が続く。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「身体障害者手帳交付者の 1～2 級」(28.9%)、「療育手帳交付者の A 判定」(69.2%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(41.9%)、「発達障がい診断を受けた人」(48.2%)となっている。

		問8の12金銭管理				
		合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		1,473	880	205	330	58
		100.0	59.7	13.9	22.4	3.9
■問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	625	92	138	35
		100.0	70.2	10.3	15.5	3.9
	療育手帳	293	49	56	180	8
		100.0	16.7	19.1	61.4	2.7
	精神障害者保健福祉手帳	309	162	82	53	12
		100.0	52.4	26.5	17.2	3.9
	わからない	21	13	0	4	4
		100.0	61.9	0.0	19.0	19.0
	障害者手帳の交付は受けていない	77	61	2	10	4
		100.0	79.2	2.6	13.0	5.2
■判定	療育手帳(計)	293	49	56	180	8
		100.0	16.7	19.1	61.4	2.7
	A1、A2	146	12	13	120	1
		100.0	8.2	8.9	82.2	0.7
	B1、B2	145	36	43	59	7
		100.0	24.8	29.7	40.7	4.8
	無回答	2	1	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳(計)	309	162	82	53	12
		100.0	52.4	26.5	17.2	3.9
■等級	1級	43	13	9	19	2
		100.0	30.2	20.9	44.2	4.7
	2～3級	264	148	72	34	10
		100.0	56.1	27.3	12.9	3.8
	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
■問7発達障がい	ない	918	655	109	138	16
		100.0	71.4	11.9	15.0	1.7
	ある	170	28	40	98	4
		100.0	16.5	23.5	57.6	2.4
	わからない	108	39	21	41	7
		100.0	36.1	19.4	38.0	6.5
	無回答	277	158	35	53	31
		100.0	57.0	12.6	19.1	11.2

## ⑪日常の買い物

「ひとりでできる」の 52.7%が最も高く、これに「全部介助が必要」の 23.8%、「一部介助が必要」の 19.0%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合は「療育手帳交付者」の 51.5%が最も高く、これに「身体障害者手帳交付者」の 20.6%が続く。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「身体障害者手帳交付者の 1～2 級」(30.2%)、「療育手帳交付者の A 判定」(71.9%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(46.5%)、「発達障がい診断を受けた人」(49.4%)となっている。

		問8の11日常の買い物				
		合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		1,473	776	280	351	66
		100.0	52.7	19.0	23.8	4.5
■問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	502	161	183	44
		100.0	56.4	18.1	20.6	4.9
	療育手帳	293	75	61	151	6
		100.0	25.6	20.8	51.5	2.0
	精神障害者保健福祉手帳	309	174	75	48	12
		100.0	56.3	24.3	15.5	3.9
	わからない	21	11	2	4	4
		100.0	52.4	9.5	19.0	19.0
	障害者手帳の交付は受けていない	77	56	5	12	4
		100.0	72.7	6.5	15.6	5.2
■等級	身体障害者手帳(計)	890	502	161	183	44
		100.0	56.4	18.1	20.6	4.9
	1～2級	450	206	84	136	24
		100.0	45.8	18.7	30.2	5.3
	3～6級	432	291	76	45	20
		100.0	67.4	17.6	10.4	4.6
	無回答	8	5	1	2	0
		100.0	62.5	12.5	25.0	0.0
	療育手帳(計)	293	75	61	151	6
		100.0	25.6	20.8	51.5	2.0
■判定	A1、A2	146	13	26	105	2
		100.0	8.9	17.8	71.9	1.4
	B1、B2	145	61	35	45	4
		100.0	42.1	24.1	31.0	2.8
	無回答	2	1	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳(計)	309	174	75	48	12
		100.0	56.3	24.3	15.5	3.9
	1級	43	15	6	20	2
		100.0	34.9	14.0	46.5	4.7
■等級	2～3級	264	158	68	28	10
		100.0	59.8	25.8	10.6	3.8
	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
■問7発達障がい	ない	918	570	163	167	18
		100.0	62.1	17.8	18.2	2.0
	ある	170	41	41	84	4
		100.0	24.1	24.1	49.4	2.4
	わからない	108	37	22	41	8
		100.0	34.3	20.4	38.0	7.4
	無回答	277	128	54	59	36
		100.0	46.2	19.5	21.3	13.0

## ⑫金銭管理

「ひとりでできる」の 59.7%が最も高く、これに「全部介助が必要」の 22.4%、「一部介助が必要」の 13.9%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合は「療育手帳交付者」の 61.4%が最も高く、これに「精神障害者保健福祉手帳交付者」の 17.2%が続く。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「療育手帳交付者のA判定」(82.2%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(44.2%)、「発達障がい診断を受けた人」(57.6%)となっている。

		問8の12金銭管理				
		合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		1,473	880	205	330	58
		100.0	59.7	13.9	22.4	3.9
■問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	625	92	138	35
		100.0	70.2	10.3	15.5	3.9
	療育手帳	293	49	56	180	8
		100.0	16.7	19.1	61.4	2.7
	精神障害者保健福祉手帳	309	162	82	53	12
		100.0	52.4	26.5	17.2	3.9
	わからない	21	13	0	4	4
		100.0	61.9	0.0	19.0	19.0
	障害者手帳の交付は受けていない	84	67	2	11	4
		100.0	79.8	2.4	13.1	4.8
■判定	療育手帳(計)	293	49	56	180	8
		100.0	16.7	19.1	61.4	2.7
	A1、A2	146	12	13	120	1
		100.0	8.2	8.9	82.2	0.7
	B1、B2	145	36	43	59	7
		100.0	24.8	29.7	40.7	4.8
	無回答	2	1	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳(計)	309	162	82	53	12
		100.0	52.4	26.5	17.2	3.9
■等級	1級	43	13	9	19	2
		100.0	30.2	20.9	44.2	4.7
	2～3級	264	148	72	34	10
		100.0	56.1	27.3	12.9	3.8
■問7発達障がい	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	ない	918	655	109	138	16
		100.0	71.4	11.9	15.0	1.7
■問7発達障がい	ある	170	28	40	98	4
		100.0	16.5	23.5	57.6	2.4
	わからない	108	39	21	41	7
		100.0	36.1	19.4	38.0	6.5
■問7発達障がい	無回答	277	158	35	53	31
		100.0	57.0	12.6	19.1	11.2

### ⑬薬の管理

「ひとりでできる」の 66.2%が最も高く、これに「全部介助が必要」の 18.9%、「一部介助が必要」の 11.3%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「全部介助が必要」の割合が最も高いのは「療育手帳交付者」の 55.3%。

このほか上記以外で「全部介助が必要」の割合が比較的高くなっているのは、「療育手帳交付者のA判定」(76.7%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の 1 級」(44.2%)、「発達障がい診断を受けた人」(54.1%)となっている。

		問8の13薬の管理				
		合計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		1,473	975	167	278	53
		100.0	66.2	11.3	18.9	3.6
■問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	669	76	113	32
		100.0	75.2	8.5	12.7	3.6
	療育手帳	293	69	56	162	6
		100.0	23.5	19.1	55.3	2.0
	精神障害者保健福祉手帳	309	209	48	40	12
		100.0	67.6	15.5	12.9	3.9
	わからない	21	13	0	4	4
		100.0	61.9	0.0	19.0	19.0
	障害者手帳の交付は受けていない	77	60	4	9	4
		100.0	77.9	5.2	11.7	5.2
■判定	療育手帳(計)	293	69	56	162	6
		100.0	23.5	19.1	55.3	2.0
	A1、A2	146	13	20	112	1
		100.0	8.9	13.7	76.7	0.7
	B1、B2	145	55	36	49	5
		100.0	37.9	24.8	33.8	3.4
	無回答	2	1	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳(計)	309	209	48	40	12
		100.0	67.6	15.5	12.9	3.9
■等級	1級	43	18	4	19	2
		100.0	41.9	9.3	44.2	4.7
	2～3級	264	190	43	21	10
		100.0	72.0	16.3	8.0	3.8
	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
■問6難病	かかっている	1,023	696	109	199	19
		100.0	68.0	10.7	19.5	1.9
	かかっている	194	138	25	28	3
		100.0	71.1	12.9	14.4	1.5
	わからない	137	75	20	32	10
■問7発達障がい		100.0	54.7	14.6	23.4	7.3
	無回答	119	66	13	19	21
		100.0	55.5	10.9	16.0	17.6
	ない	918	710	85	109	14
		100.0	77.3	9.3	11.9	1.5
■問7発達障がい	ある	170	42	33	92	3
		100.0	24.7	19.4	54.1	1.8
	わからない	108	48	16	36	8
		100.0	44.4	14.8	33.3	7.4
	無回答	277	175	33	41	28
		100.0	63.2	11.9	14.8	10.1

## ⑭スムーズな意思の伝達(コミュニケーション)

「できる」の 55.7%が最も高く、これに「ある程度できる」の 29.5%、「むずかしい」の 11.1%が続く。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「むずかしい」の割合は「療育手帳交付者」の 30.0%が最も高く、これに「精神障害者保健福祉手帳交付者」の 12.0%が続く。

このほか上記以外で「むずかしい」の割合が比較的高くなっているのは、「障がい児」(30.5%)、「療育手帳交付者のA判定」(49.3%)、「精神障害者保健福祉手帳交付者の1級」(34.9%)、「発達障がいの診断を受けた人」(28.8%)となっている。

		意思の伝達(コミュニケーション)				
		合計	できる	ある程度できる	むずかしい	無回答
■問5 手帳の交付状況	全体	1,473	821	434	164	54
		100.0	55.7	29.5	11.1	3.7
	身体障害者手帳	890	597	184	71	38
		100.0	67.1	20.7	8.0	4.3
	療育手帳	293	46	150	88	9
		100.0	15.7	51.2	30.0	3.1
	精神障害者保健福祉手帳	309	128	131	37	13
		100.0	41.4	42.4	12.0	4.2
	わからない	21	9	6	3	3
		100.0	42.9	28.6	14.3	14.3
■問6 年齢層別	障害者手帳の交付は受けていない	77	65	5	4	3
		100.0	84.4	6.5	5.2	3.9
	障がい児	105	15	57	32	1
		100.0	14.3	54.3	30.5	1.0
	18歳～64歳	734	391	237	90	16
		100.0	53.3	32.3	12.3	2.2
	65歳以上	620	409	136	41	34
		100.0	66.0	21.9	6.6	5.5
	無回答	14	6	4	1	3
		100.0	42.9	28.6	7.1	21.4
■問7 判定	療育手帳(計)	293	46	150	88	9
		100.0	15.7	51.2	30.0	3.1
	重度(A1、A2)	146	11	59	72	4
		100.0	7.5	40.4	49.3	2.7
	中軽度(B1、B2)	145	34	90	16	5
		100.0	23.4	62.1	11.0	3.4
	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	精神障害者保健福祉手帳(計)	309	128	131	37	13
		100.0	41.4	42.4	12.0	4.2
■問8 等級	重度(1級)	43	11	16	15	1
		100.0	25.6	37.2	34.9	2.3
	軽度(2～3級)	264	116	114	22	12
		100.0	43.9	43.2	8.3	4.5
	無回答	2	1	1	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
■問9 発達障がい	ない	918	620	216	65	17
		100.0	67.5	23.5	7.1	1.9
	ある	170	26	92	49	3
		100.0	15.3	54.1	28.8	1.8
	わからない	108	28	47	26	7
		100.0	25.9	43.5	24.1	6.5
	無回答	277	147	79	24	27
		100.0	53.1	28.5	8.7	9.7



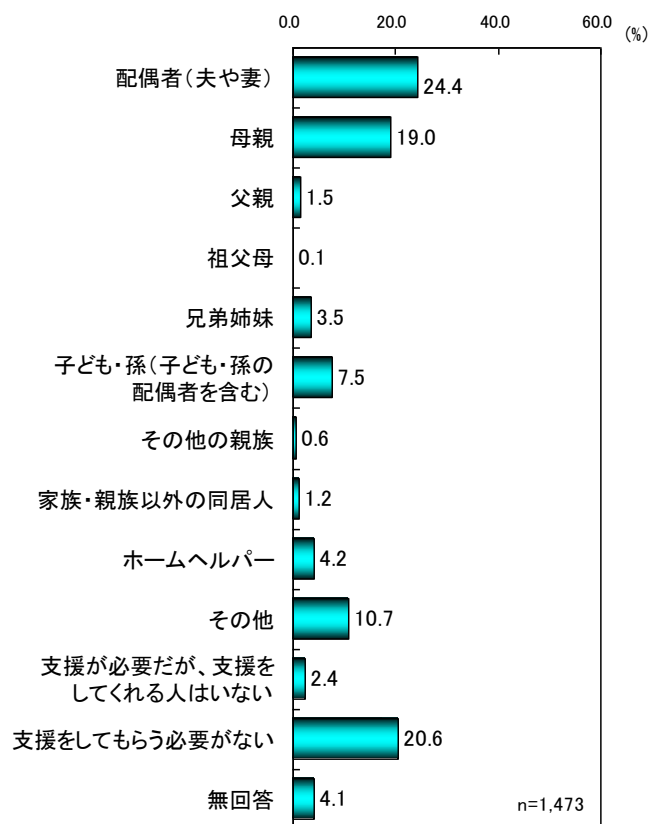
## 2. 主な介助者

問9 あなたの身の回りの支援(世話や介助)を行っているのは、主にどなたですか。(〇は1つ)

「配偶者」の 24.4%が最も高く、これに「支援をしてもらう必要がない」の 20.6%、「母親」の 19.0%が続いている。

この結果を年齢階層別にみると、「障がい児」は「母親」の割合が高く、「65 歳以上」で「配偶者」、「子ども・孫」の回答割合が高くなっている。

交付手帳の種類別では、「身体障害者手帳交付者」は「配偶者」の割合が比較的高く、「療育手帳交付者」では「母親」の割合が 57.0%と高くなっている。「母親」は発達障がいの診断を受けた人でも 61.8%となっている。「難病にかかっている人」では「配偶者」の回答割合が高くなっている。



		問9主に身の回りの支援を行っている人														
		合計	配偶者（夫や妻）	母親	父親	祖父母	兄弟姉妹	含む）子ども・孫の配偶者を	その他の親族	同居人・親族以外の	ホームヘルパー	その他	支援を必要としない	支援が必要だが、支援をしてもらえる	必要がない	支援をしてもらえない
■年齢層別	全体	1,473	359	280	22	2	52	110	9	18	62	158	36	304	61	
		100.0	24.4	19.0	1.5	0.1	3.5	7.5	0.6	1.2	4.2	10.7	2.4	20.6	4.1	
	障がい児	105	2	81	3	1	0	1	0	3	0	11	0	3	0	
		100.0	1.9	77.1	2.9	1.0	0.0	1.0	0.0	2.9	0.0	10.5	0.0	2.9	0.0	
	18歳～64歳	734	128	194	17	1	26	29	5	7	22	95	22	161	27	
		100.0	17.4	26.4	2.3	0.1	3.5	4.0	0.7	1.0	3.0	12.9	3.0	21.9	3.7	
	65歳以上	620	223	4	1	0	26	79	4	8	40	51	14	138	32	
	100.0	36.0	0.6	0.2	0.0	4.2	12.7	0.6	1.3	6.5	8.2	2.3	22.3	5.2		
	無回答	14	6	1	1	0	0	1	0	0	1	0	2	2		
		100.0	42.9	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	14.3	
■問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	296	77	5	1	34	87	6	10	47	67	20	203	37	
		100.0	33.3	8.7	0.6	0.1	3.8	9.8	0.7	1.1	5.3	7.5	2.2	22.8	4.2	
	療育手帳	293	11	167	8	2	10	6	2	4	5	56	1	15	6	
		100.0	3.8	57.0	2.7	0.7	3.4	2.0	0.7	1.4	1.7	19.1	0.3	5.1	2.0	
	精神障害者保健福祉手帳	309	39	74	9	0	13	14	2	5	16	53	19	48	17	
		100.0	12.6	23.9	2.9	0.0	4.2	4.5	0.6	1.6	5.2	17.2	6.1	15.5	5.5	
	わからない	21	4	2	0	0	1	2	0	0	3	4	0	2	3	
	100.0	19.0	9.5	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0	0.0	14.3	19.0	0.0	9.5	14.3		
	障害者手帳の交付は受けていない	77	16	3	1	0	1	8	0	0	3	4	2	37	2	
		100.0	20.8	3.9	1.3	0.0	1.3	10.4	0.0	0.0	3.9	5.2	2.6	48.1	2.6	
■問6難病	かかっている	1,023	246	210	14	2	31	69	8	13	40	113	21	233	23	
		100.0	24.0	20.5	1.4	0.2	3.0	6.7	0.8	1.3	3.9	11.0	2.1	22.8	2.2	
	かかっている	194	51	25	3	0	6	25	1	1	9	14	6	47	6	
		100.0	26.3	12.9	1.5	0.0	3.1	12.9	0.5	0.5	4.6	7.2	3.1	24.2	3.1	
	わからない	137	35	25	4	0	9	8	0	2	9	17	6	12	10	
		100.0	25.5	18.2	2.9	0.0	6.6	5.8	0.0	1.5	6.6	12.4	4.4	8.8	7.3	
	無回答	119	27	20	1	0	6	8	0	2	4	14	3	12	22	
	100.0	22.7	16.8	0.8	0.0	5.0	6.7	0.0	1.7	3.4	11.8	2.5	10.1	18.5		
■問7発達障がい	ない	918	245	113	11	1	33	78	5	12	41	86	21	253	19	
		100.0	26.7	12.3	1.2	0.1	3.6	8.5	0.5	1.3	4.5	9.4	2.3	27.6	2.1	
	ある	170	11	105	4	1	3	2	1	2	1	24	6	8	2	
		100.0	6.5	61.8	2.4	0.6	1.8	1.2	0.6	1.2	0.6	14.1	3.5	4.7	1.2	
	わからない	108	15	36	3	0	6	4	1	1	7	19	3	9	4	
		100.0	13.9	33.3	2.8	0.0	5.6	3.7	0.9	0.9	6.5	17.6	2.8	8.3	3.7	
	無回答	277	88	26	4	0	10	26	2	3	13	29	6	34	36	
	100.0	31.8	9.4	1.4	0.0	3.6	9.4	0.7	1.1	4.7	10.5	2.2	12.3	13.0		



# IV

# 外出について

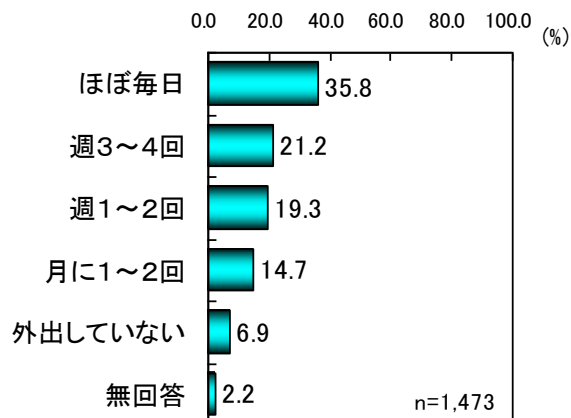
## 1. 過去 1 ヶ月間の外出頻度

問10 あなたは、過去1ヶ月間にどのくらい外出しましたか。(○は1つ)

「ほぼ毎日」の 35.8%が最も高い。以下、割合が高い方から、「週 3～4 回」(21.2%)、「週 1～2 回」(19.3%)、「月に 1～2 回」(14.7%)の順となっている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「ほぼ毎日」は「療育手帳交付者」の 46.8%が最も高い。発達障がいの診断を受けた人でも「ほぼ毎日」の割合が高く 52.9%となっている。

年齢階層別では、「ほぼ毎日」は「障がい児」の 63.8%が最も高く、年代に上がるにつれ外出の頻度が少なくなっている。

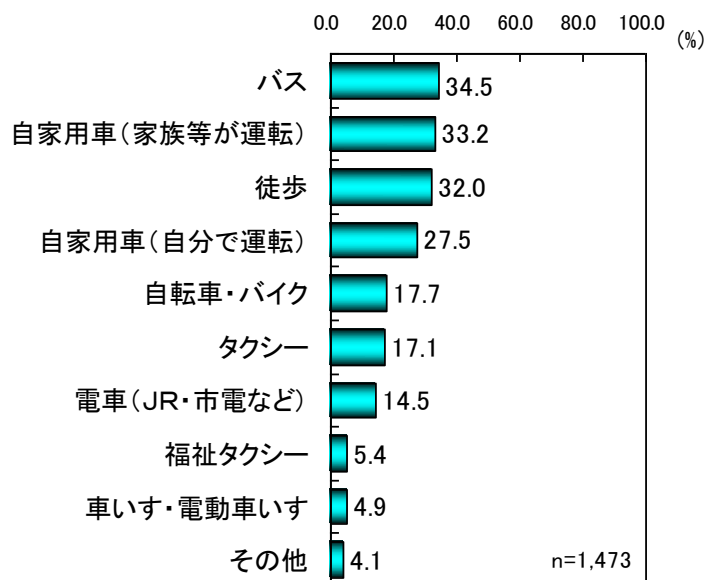


		問10過去1ヶ月の外出の頻度						
		合計	ほぼ毎日	週3～4回	週1～2回	月に1～2回	外出していない	無回答
■ 年齢階層別	全体	1,473	527	313	284	216	101	32
		100.0	35.8	21.2	19.3	14.7	6.9	2.2
	障がい児	105	67	13	13	9	1	2
		100.0	63.8	12.4	12.4	8.6	1.0	1.9
	18歳～64歳	734	307	152	121	106	39	9
		100.0	41.8	20.7	16.5	14.4	5.3	1.2
65歳以上		620	148	146	147	101	58	20
		100.0	23.9	23.5	23.7	16.3	9.4	3.2
無回答		14	5	2	3	0	3	1
		100.0	35.7	14.3	21.4	0.0	21.4	7.1
■ 問5 手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	291	205	181	138	55	20
		100.0	32.7	23.0	20.3	15.5	6.2	2.2
	療育手帳	293	137	50	37	51	14	4
		100.0	46.8	17.1	12.6	17.4	4.8	1.4
	精神障害者保健福祉手帳	309	87	69	69	48	29	7
		100.0	28.2	22.3	22.3	15.5	9.4	2.3
わからない		21	4	8	4	3	1	1
		100.0	19.0	38.1	19.0	14.3	4.8	4.8
障害者手帳の交付は受けていない		77	31	17	16	3	8	2
		100.0	40.3	22.1	20.8	3.9	10.4	2.6
■ 問6 難病	かかっていない	1,023	390	219	196	148	55	15
		100.0	38.1	21.4	19.2	14.5	5.4	1.5
	かかっている	194	58	46	42	23	19	6
		100.0	29.9	23.7	21.6	11.9	9.8	3.1
	わからない	137	42	25	23	27	16	4
無回答		100.0	30.7	18.2	16.8	19.7	11.7	2.9
		119	37	23	23	18	11	7
■ 問7 発達障がい		100.0	31.1	19.3	19.3	15.1	9.2	5.9
	ない	918	340	211	174	121	60	12
		100.0	37.0	23.0	19.0	13.2	6.5	1.3
	ある	170	90	23	21	26	6	4
		100.0	52.9	13.5	12.4	15.3	3.5	2.4
わからない		108	33	21	22	19	10	3
		100.0	30.6	19.4	20.4	17.6	9.3	2.8
無回答		277	64	58	67	50	25	13
		100.0	23.1	20.9	24.2	18.1	9.0	4.7

## 2. 外出するときの移動手段 ※複数回答

問11 外出するときの移動手段はなんですか。(〇はいくつでも)

「バス」、「自家用車(家族等が運転)」、「徒歩」が 30%台で高くなっている。以下、割合が高い方から、「自家用車(自分で運転)」(27.5%)、「自転車・バイク」(17.7%)、「タクシー」(17.1%)の順となっている。



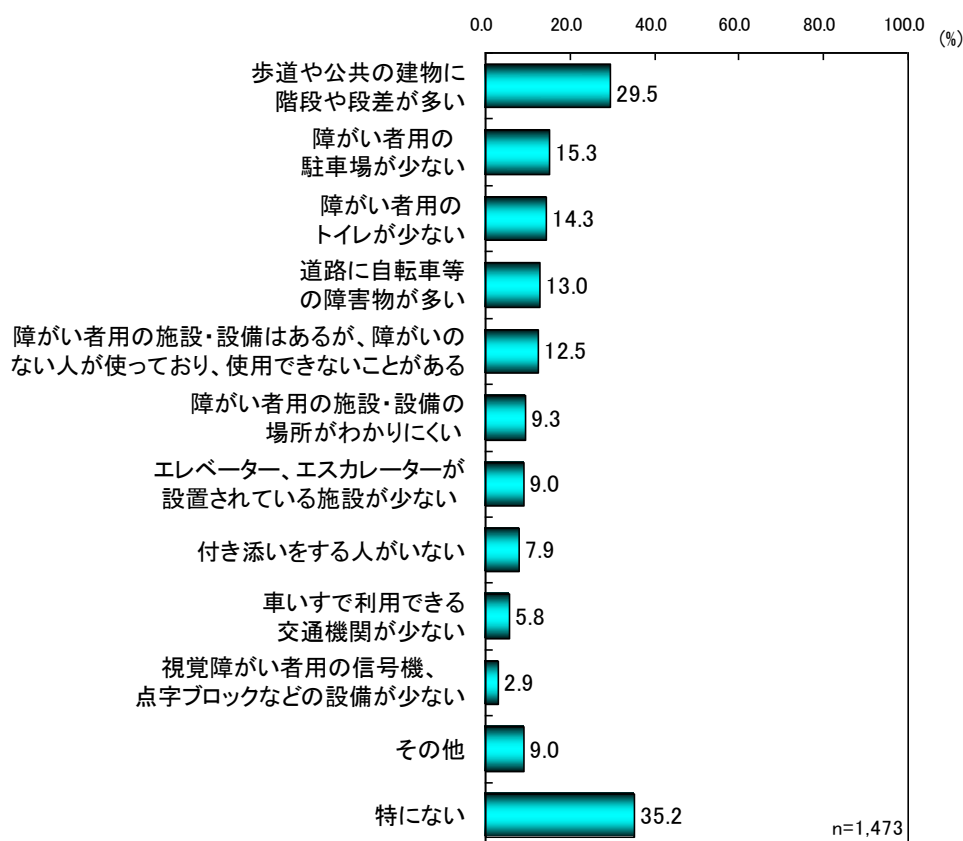
交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた外出するときの移動手段は、以下の通り。

	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=890)	「自家用車(自分で運転)」 (34.7%)	「バス」 (32.4%)	「自家用車(家族等が運転)」 (30.2%)
療育手帳 (n=293)	「自家用車(家族等が運転)」 (53.9%)	「徒歩」 (35.2%)	「バス」 (30.7%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=309)	「バス」 (48.9%)	「徒歩」 (37.2%)	「自転車・バイク」 (29.1%)
難病にかかっている (n=194)	「自家用車(自分で運転)」 (35.6%)	「自家用車(家族等が運転)」 (35.6%)	「徒歩」 (32.0%)
発達障がいの診断を受けた (n=170)	「自家用車(家族等が運転)」 (58.8%)	「徒歩」 (39.4%)	「バス」 (28.8%)

### 3. 外出するときに不便を感じること ※複数回答

問12 外出するときに、あなたはどのようなことに不便を感じる人が多いですか。(〇はいくつでも)

「特にない」の 35.2%が最も高い。以下、割合が高い方から、「歩道や公共の建物に階段や段差が多い」(29.5%)、「障がい者用の駐車場が少ない」(15.3%)、「障がい者用のトイレが少ない」(14.3%)の順となっている。



交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた外出するときに不便を感じることは、以下の通り。

	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=890)	「歩道や公共の建物に階段や段差が多い」(38.4%)	「特にない」(29.4%)	「障がい者用の駐車場が少ない」(20.3%)
療育手帳 (n=293)	「特にない」(30.4%)	「歩道や公共の建物に階段や段差が多い」(21.8%)	「障がい者用のトイレが少ない」(15.4%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=309)	「特にない」(43.0%)	「歩道や公共の建物に階段や段差が多い」(17.2%)	「障がい者用のトイレが少ない」(15.4%)
難病にかかっている (n=194)	「歩道や公共の建物に階段や段差が多い」(38.4%)	「特にない」(29.4%)	「道路に自転車等の障害物が多い」(11.3%)
発達障がいの診断を受けた (n=170)	「特にない」(32.9%)	「歩道や公共の建物に階段や段差が多い」(18.8%)	「障がい者用の駐車場が少ない」(13.5%)

## 1. 余暇活動や社会活動の内容と今後の意向

問13 あなたは、次のような活動を行っていますか。(〇はいくつでも)

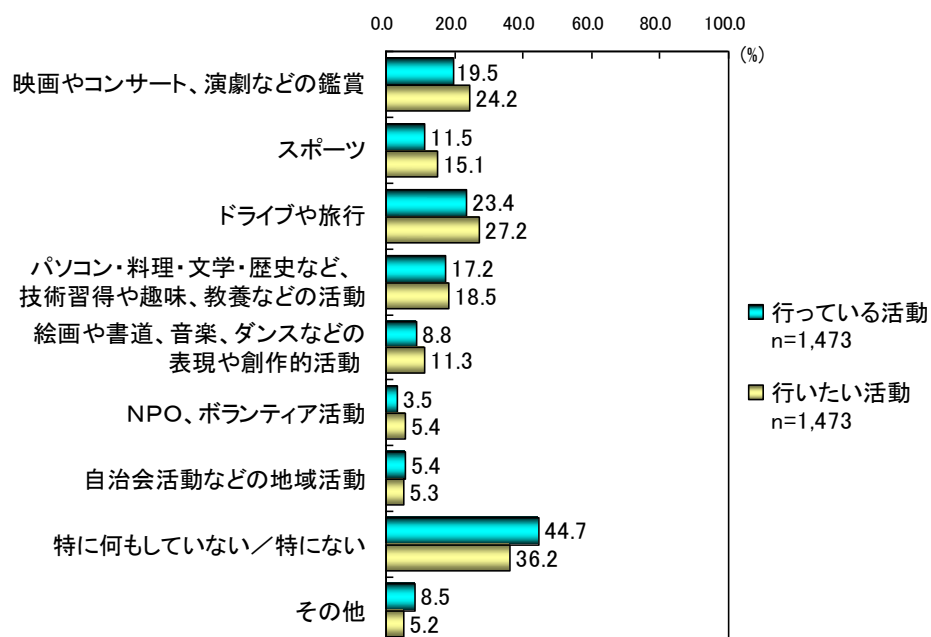
問14 あなたは、今後、どのような活動を行いたいと思いますか。(〇はいくつでも)

### (1)活動している内容

「特に何もしていない」の44.7%が最も高い。以下、割合が高い方から、「ドライブや旅行」(23.4%)、「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(19.5%)、「パソコン・料理・文学・歴史など、技術習得や趣味、教養などの活動」(17.2%)の順となっている。

### (2)今後、活動したい内容

「特にない」の36.2%が最も高い。以下、割合が高い方から、「ドライブや旅行」(27.2%)、「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(24.2%)、「パソコン・料理・文学・歴史など、技術習得や趣味、教養などの活動」(18.5%)の順となっている。



## ■活動している内容

交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた活動の内容は、以下の通り。

	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=890)	「特になにもしていない」 (45.5%)	「ドライブや旅行」(23.0%)	「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(18.8%)
療育手帳 (n=293)	「特になにもしていない」 (45.1%)	「ドライブや旅行」(29.0%)	「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(19.5%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=309)	「特になにもしていない」 (45.0%)	「パソコン・料理・文学・歴史など、技術習得や趣味、教養などの活動」(20.1%)	「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(18.1%)
難病にかかっている (n=194)	「特になにもしていない」 (40.7%)	「ドライブや旅行」(33.0%)	「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(25.3%)
発達障がいの診断を受けた (n=170)	「特になにもしていない」 (43.5%)	「ドライブや旅行」(27.6%)	「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(23.5%)

## ■今後、活動したい内容

交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた今後、活動したい内容は、以下の通り。

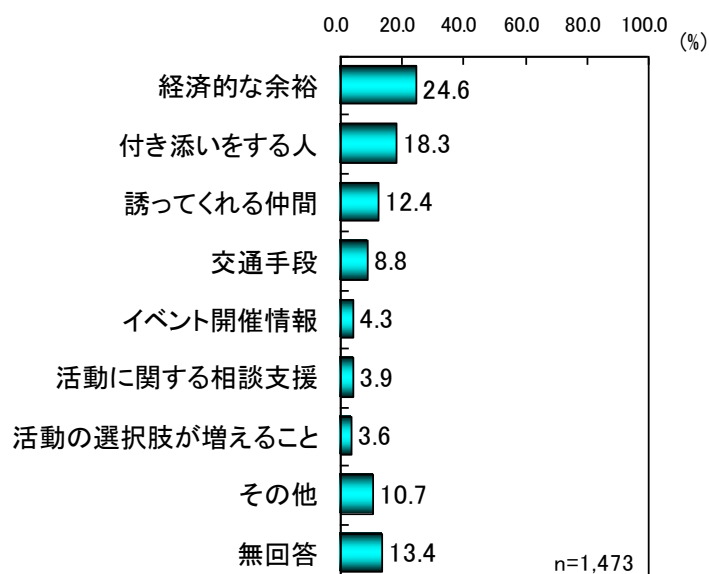
	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=890)	「特にない」(38.8%)	「ドライブや旅行」(27.5%)	「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(22.8%)
療育手帳 (n=293)	「ドライブや旅行」(31.1%)	「特にない」(27.3%)	「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(25.6%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=309)	「特にない」(34.3%)	「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(29.8%)	「ドライブや旅行」(27.2%)
難病にかかっている (n=194)	「ドライブや旅行」(34.5%)	「特にない」(30.9%)	「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(28.4%)
発達障がいの診断を受けた (n=170)	「ドライブや旅行」(32.9%)	「映画やコンサート、演劇などの鑑賞」(31.2%)	「特にない」(26.5%)

## 2. 余暇活動や社会活動を行う際に必要なこと

問15 余暇活動や社会的活動を行うには、主に何が必要だと思いますか。(〇は1つ)

「経済的な余裕」の 24.6%が最も高く、これに「付き添いをする人」の 18.3%、「誘ってくれる仲間」の 12.4%が続いている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「療育手帳交付者」では「付き添いをする人」の割合が 41.3%と高くなっている。「付き添いをする人」は「発達障がい診断を受けた人」でも 37.1%で比較的高くなっている。



		問15余暇活動や社会的活動に必要なと思うこと									
		合計	付き添いをする人	交通手段	イベント開催情報	活動の選択肢が増えること	誘ってくれる仲間	経済的な余裕	活動に関する相談支援	その他	無回答
全体		1,473	270	129	64	53	183	362	57	158	197
		100.0	18.3	8.8	4.3	3.6	12.4	24.6	3.9	10.7	13.4
問5 手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	134	87	37	30	100	232	30	104	136
		100.0	15.1	9.8	4.2	3.4	11.2	26.1	3.4	11.7	15.3
	療育手帳	293	121	14	9	11	35	32	11	28	32
		100.0	41.3	4.8	3.1	3.8	11.9	10.9	3.8	9.6	10.9
	精神障害者保健福祉手帳	309	40	35	8	9	45	90	14	36	32
		100.0	12.9	11.3	2.6	2.9	14.6	29.1	4.5	11.7	10.4
問6 難病	わからない	21	4	0	3	1	3	1	1	3	5
		100.0	19.0	0.0	14.3	4.8	14.3	4.8	4.8	14.3	23.8
問7 発達障がい	障害者手帳の交付は受けていない	77	7	5	8	3	12	24	5	6	7
		100.0	9.1	6.5	10.4	3.9	15.6	31.2	6.5	7.8	9.1
	かかっていない	1,023	186	92	47	42	134	257	41	107	117
		100.0	18.2	9.0	4.6	4.1	13.1	25.1	4.0	10.5	11.4
	かかっている	194	34	15	13	8	24	52	10	23	15
		100.0	17.5	7.7	6.7	4.1	12.4	26.8	5.2	11.9	7.7
問7 発達障がい	わからない	137	30	16	2	0	12	36	4	18	19
		100.0	21.9	11.7	1.5	0.0	8.8	26.3	2.9	13.1	13.9
	無回答	119	20	6	2	3	13	17	2	10	46
		100.0	16.8	5.0	1.7	2.5	10.9	14.3	1.7	8.4	38.7
	ない	918	135	93	43	32	124	248	42	99	102
		100.0	14.7	10.1	4.7	3.5	13.5	27.0	4.6	10.8	11.1
問7 発達障がい	ある	170	63	10	6	12	23	27	7	16	6
		100.0	37.1	5.9	3.5	7.1	13.5	15.9	4.1	9.4	3.5
	わからない	108	23	5	3	3	8	24	5	17	20
		100.0	21.3	4.6	2.8	2.8	7.4	22.2	4.6	15.7	18.5
	無回答	277	49	21	12	6	28	63	3	26	69
		100.0	17.7	7.6	4.3	2.2	10.1	22.7	1.1	9.4	24.9

# VI

## 就労状況（仕事）について

### 1. 現在の就労状況と就労意向

★問16～問18は、18歳以上の方(在学中の方を除く)におたずねします。

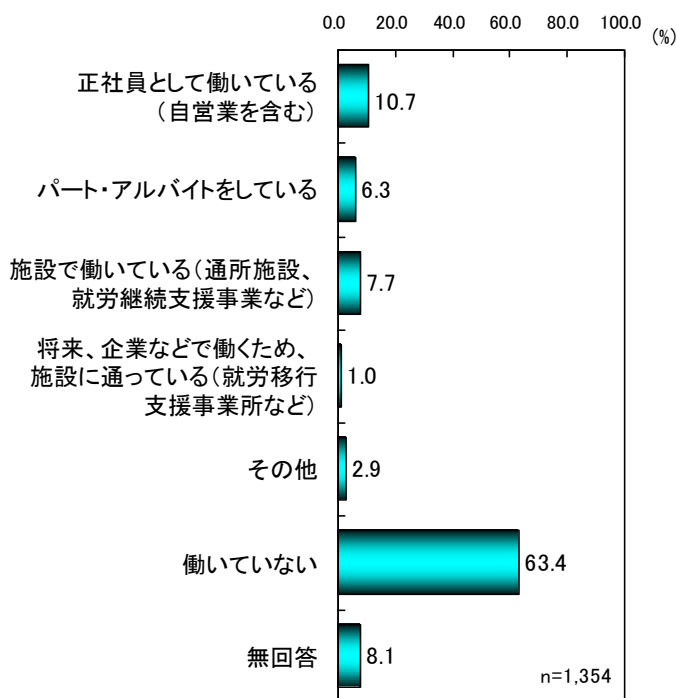
問16 あなたは、現在、働いていますか。(○は1つ)

#### (1)現在の就労状況

「働いていない」の63.4%が最も高い。以下、「正社員として働いている(自営業を含む)」(10.7%)、「施設で働いている(通所施設、就労継続支援事業など)」(7.7%)の順となっている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「働いていない」は「療育手帳交付者」の割合が47.7%で最も低く、その分、「施設で働いている(通所施設、就労継続支援事業など)」が26.6%と高くなっている。「施設で働いている(通所施設、就労継続支援事業など)」は、発達障がい診断者でも26.3%と高くなっている。「難病にかかっている人」では「正社員」

の回答割合が他に比べて高く17.1%となっている。



		問16就労状況							
		合計	正社員として働いている(自営業を含む)	パート・アルバイトをしている	施設で働いている(通所施設、就労継続支援事業など)	将来、企業などで働くため、施設に通っている(就労移行支援事業所など)	その他	働いていない	無回答
全体		1,354	145	85	104	13	39	859	109
		100.0	10.7	6.3	7.7	1.0	2.9	63.4	8.1
問5 手帳の交付状況	身体障害者手帳	863	109	46	25	1	26	582	74
		100.0	12.6	5.3	2.9	0.1	3.0	67.4	8.6
	療育手帳	199	12	18	53	3	3	95	15
		100.0	6.0	9.0	26.6	1.5	1.5	47.7	7.5
	精神障害者保健福祉手帳	302	5	18	36	9	8	205	21
問6 難病		100.0	1.7	6.0	11.9	3.0	2.6	67.9	7.0
	わからない	21	0	1	1	0	1	15	3
		100.0	0.0	4.8	4.8	0.0	4.8	71.4	14.3
	障害者手帳の交付は受けていない	77	20	7	0	0	3	43	4
		100.0	26.0	9.1	0.0	0.0	3.9	55.8	5.2
問7 発達障がい	かかっている	931	109	67	77	8	25	590	55
		100.0	11.7	7.2	8.3	0.9	2.7	63.4	5.9
	かかっている	181	31	12	9	0	5	113	11
		100.0	17.1	6.6	5.0	0.0	2.8	62.4	6.1
	わからない	130	1	4	11	4	6	89	15
問8 発達障がい		100.0	0.8	3.1	8.5	3.1	4.6	68.5	11.5
	無回答	112	4	2	7	1	3	67	28
		100.0	3.6	1.8	6.2	0.9	2.7	59.8	25.0
	ない	895	114	57	59	7	24	587	47
		100.0	12.7	6.4	6.6	0.8	2.7	65.6	5.3
問9 発達障がい	ある	95	6	10	25	3	5	41	5
		100.0	6.3	10.5	26.3	3.2	5.3	43.2	5.3
	わからない	93	6	4	6	1	3	62	11
		100.0	6.5	4.3	6.5	1.1	3.2	66.7	11.8
	無回答	271	19	14	14	2	7	169	46
		100.0	7.0	5.2	5.2	0.7	2.6	62.4	17.0



年齢階層別では、「18歳～64歳」の15.0%が「正社員として働いている(自営業を含む)」、13.6%が「施設で働いている(通所施設、就労継続支援事業など)」、9.3%が「パート・アルバイトをしている」となっている。

		問16就労状況						
		合計	正社員として働いている(自営業を含む)	パート・アルバイトをしている	事業所施設で働いている(就労継続支援通所施設など)	所(就労移行支援事業所)など	その他	働いていない
全体		1,354	145	85	104	13	39	859
		100.0	10.7	6.3	7.7	1.0	2.9	63.4
■年齢階層別	障がい児	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18歳～64歳	734	110	68	100	12	16	391
		100.0	15.0	9.3	13.6	1.6	2.2	53.3
	65歳以上	620	35	17	4	1	23	468
		100.0	5.6	2.7	0.6	0.2	3.7	75.5
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

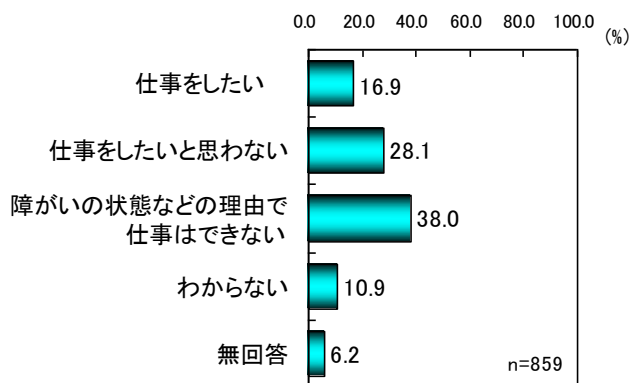
## (2) 今後の就労意向

★問16で「6. 働いていない」と回答した方におたずねします。

問17 あなたは、今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)

「障がいの状態などの理由で仕事はできない」の38.0%が最も高く、これに「仕事をしたいと思わない」の28.1%、「仕事をしたい」の16.9%が続いている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「仕事をしたい」は「精神障害者保健福祉手帳交付者」の30.7%が最も高い。「仕事をしたい」は発達障がいの診断を受けた人でも26.8%で比較的高くなっている。



		問17今後の就労希望				
		合計	仕事をしたい	仕事をしたいと思わない	障がいの状態などの理由で仕事はできない	わからない
全体		859	145	241	326	94
		100.0	16.9	28.1	38.0	10.9
■問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	582	75	178	229	56
		100.0	12.9	30.6	39.3	9.6
	療育手帳	95	9	13	49	19
		100.0	9.5	13.7	51.6	20.0
	精神障害者保健福祉手帳	205	63	34	75	24
		100.0	30.7	16.6	36.6	11.7
■問6難病	わからない	15	4	3	5	3
		100.0	26.7	20.0	33.3	20.0
	障害者手帳の交付は受けていない	43	6	21	9	5
		100.0	14.0	48.8	20.9	11.6
■問7発達障がい	かかっていない	590	101	178	218	61
		100.0	17.1	30.2	36.9	10.3
	かかっている	113	20	32	46	13
		100.0	17.7	28.3	40.7	11.5
	わからない	89	17	14	36	17
		100.0	19.1	15.7	40.4	19.1
■問7発達障がい	無回答	67	7	17	26	3
		100.0	10.4	25.4	38.8	4.5
■問7発達障がい	ない	587	98	183	208	65
		100.0	16.7	31.2	35.4	11.1
	ある	41	11	1	21	7
		100.0	26.8	2.4	51.2	17.1
	わからない	62	12	10	25	13
		100.0	19.4	16.1	40.3	21.0
■問7発達障がい	無回答	169	24	47	72	9
		100.0	14.2	27.8	42.6	5.3



年齢階層別では、「18歳～64歳」の28.1%が「仕事をしたい」と回答している。「65歳以上」では「仕事をしたいとは思わない」の回答が最も高く40.0%となっている。

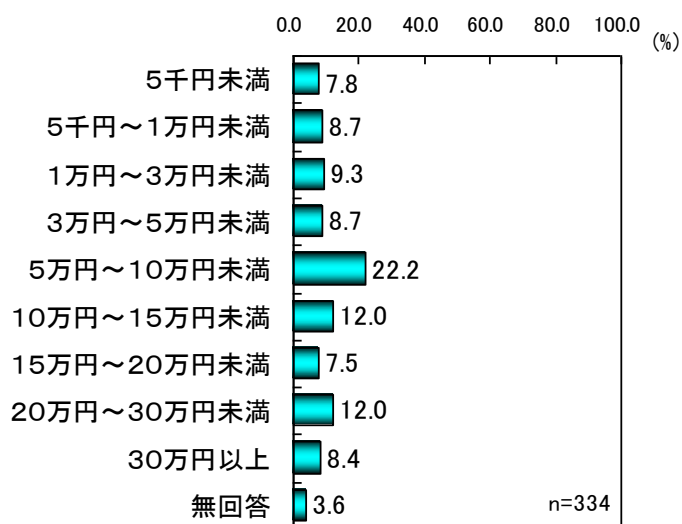
		問17今後の就労希望				
		合計	仕事をしたい	仕事をしたいと思わない	はどのくらいの理由で仕事な	わからない
						無回答
全体		859	145	241	326	94
		100.0	16.9	28.1	38.0	6.2
■年齢階層別	障がい児	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18歳～64歳	391	110	54	160	54
		100.0	28.1	13.8	40.9	13.8
	65歳以上	468	35	187	166	40
		100.0	7.5	40.0	35.5	8.5
無回答		0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 2. 仕事で得る平均月収

★問16-2と問16-3は、問16で、「1. 正社員として働いている」、「2. パート・アルバイトをしている」、「3. 施設で働いている」のいずれかと回答した方におたずねします

問16-2 あなたが仕事で得る月収は平均しておよそいくらぐらいですか。(〇は1つ)

「5万円～10万円」の22.2%が最も高く、これに「10万円～15万円」と「20万円～30万円」の12.0%が続いている。



この結果を交付手帳の種類別等にみると、「身体障害者手帳交付者」と「難病にかかっている人」では『10 万円以上』の割合が比較的高く、「療育手帳交付者」と「精神障害者保健福祉手帳交付者」、「発達障がい診断を受けた人」では『10 万円未満』の割合が比較的高くなっている。

		問16の2平均月収										
		合計	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円～30万円未満	30万円以上	無回答
■問5手帳の交付状況	全体	334 100.0	26 7.8	29 8.7	31 9.3	29 8.7	74 22.2	40 12.0	25 7.5	40 12.0	28 8.4	12 3.6
	身体障害者手帳	180 100.0	6 3.3	10 5.6	10 5.6	14 7.8	31 17.2	28 15.6	20 11.1	32 17.8	22 12.2	7 3.9
	療育手帳	83 100.0	12 14.5	18 21.7	15 18.1	8 9.6	22 26.5	3 3.6	1 1.2	1 1.2	0 0.0	3 3.6
	精神障害者保健福祉手帳	59 100.0	8 13.6	4 6.8	12 20.3	10 16.9	18 30.5	3 5.1	1 1.7	1 1.7	0 0.0	2 3.4
	わからない	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	障害者手帳の交付は受けていない	27 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 18.5	6 22.2	3 11.1	8 29.6	5 18.5	0 0.0
	■問6難病	かかっている	253 100.0	23 9.1	22 8.7	27 10.7	18 7.1	55 21.7	25 9.9	21 8.3	30 11.9	21 8.3
かかっている		52 100.0	2 3.8	2 3.8	2 3.8	4 7.7	9 17.3	13 25.0	4 7.7	9 17.3	7 13.5	0 0.0
わからない		16 100.0	0 0.0	4 25.0	1 6.2	2 12.5	7 43.8	0 0.0	0 0.0	1 6.2	0 0.0	1 6.2
無回答		13 100.0	1 7.7	1 7.7	1 7.7	5 38.5	3 23.1	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
■問7発達障がい		ない	230 100.0	13 5.7	13 5.7	19 8.3	20 8.7	46 20.0	31 13.5	17 7.4	38 16.5	25 10.9
	ある	41 100.0	5 12.2	11 26.8	2 4.9	3 7.3	13 31.7	4 9.8	0 0.0	1 2.4	0 0.0	2 4.9
	わからない	16 100.0	1 6.2	2 12.5	4 25.0	1 6.2	3 18.8	0 0.0	3 18.8	1 6.2	0 0.0	1 6.2
	無回答	47 100.0	7 14.9	3 6.4	6 12.8	5 10.6	12 25.5	5 10.6	5 10.6	0 0.0	3 6.4	1 2.1

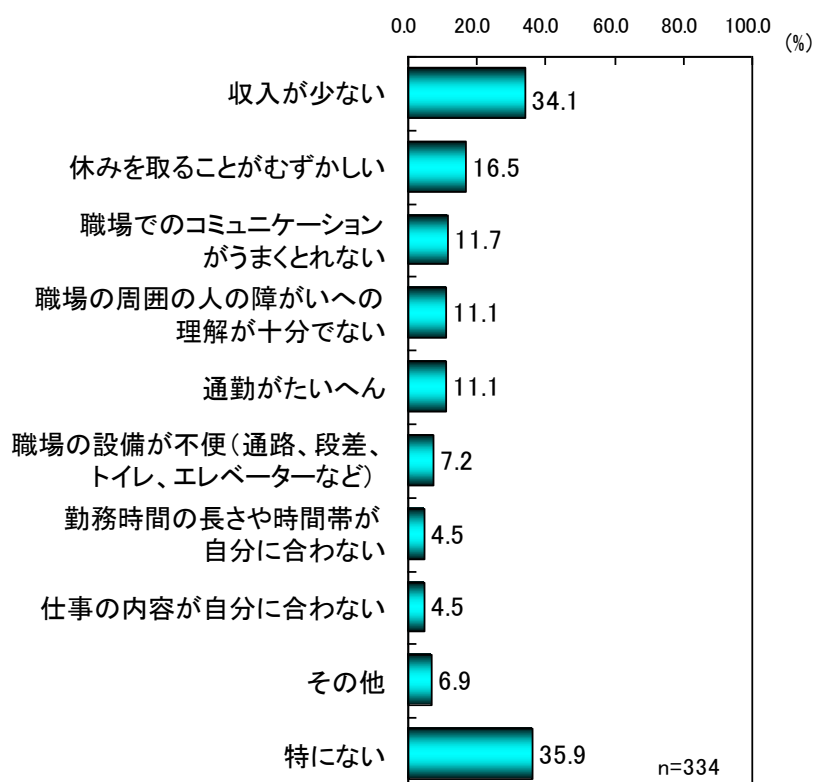
年齢階層別にみると、「18 歳～64 歳」では『10 万円未満』の割合が比較的高く、「65 歳以上」で『10 万円以上』の割合が高くなっている。

		問16の2平均月収										
		合計	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円～30万円未満	30万円以上	無回答
■年齢階層別	全体	334 100.0	26 7.8	29 8.7	31 9.3	29 8.7	74 22.2	40 12.0	25 7.5	40 12.0	28 8.4	12 3.6
	障がい児	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	18歳～64歳	278 100.0	22 7.9	25 9.0	27 9.7	25 9.0	65 23.4	27 9.7	18 6.5	35 12.6	23 8.3	11 4.0
	65歳以上	56 100.0	4 7.1	4 7.1	4 7.1	4 7.1	9 16.1	13 23.2	7 12.5	5 8.9	5 8.9	1 1.8
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

### 3. 仕事のことで悩んでいること困っていること ※複数回答

問16-3 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。(〇はいつでも)

「特にない」の 35.9%が最も高く、これに「収入が少ない」の 34.1%が続く。以下、割合が高い方から、「休みをとることがむずかしい」(16.5%)、「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」(11.7%)、「職場の周囲の人の障がいへの理解が十分でない」(11.1%)、「通勤がたいへん」(同)の順となっている。



交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた仕事のことで悩んでいることと困っていることは、以下の通り。

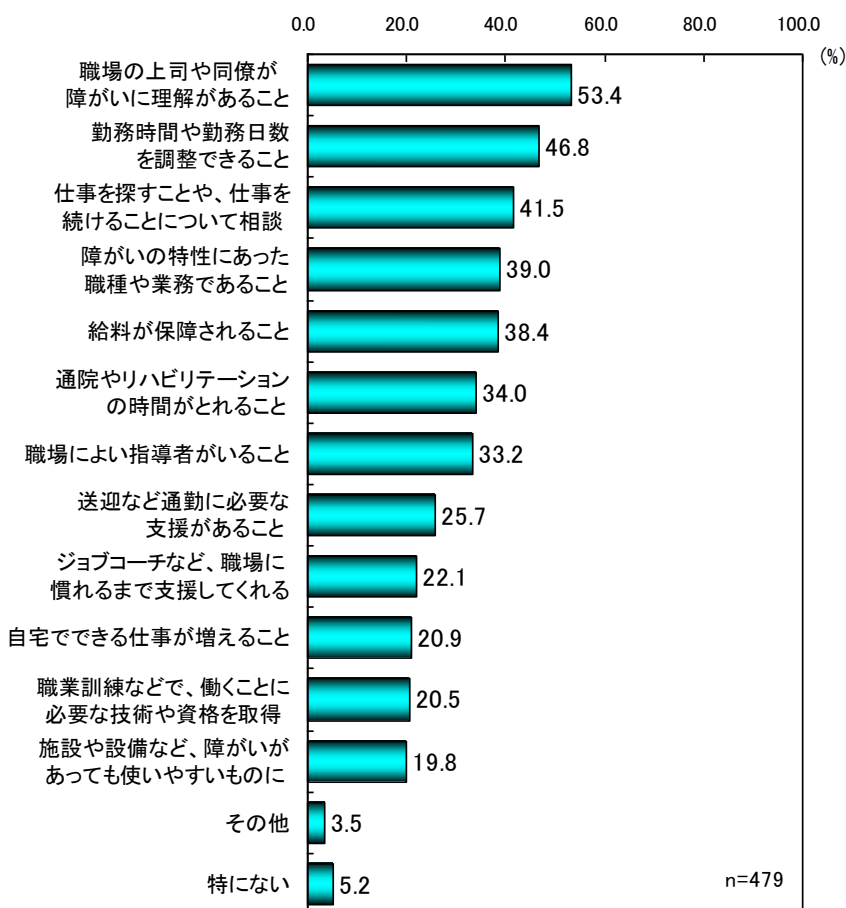
	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=180)	「特にない」(37.2%)	「収入が少ない」(33.3%)	「休みをとることがむずかしい」(16.7%)
療育手帳 (n=83)	「収入が少ない」(32.5%)	「特にない」(31.3%)	「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」(24.1%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=59)	「収入が少ない」(47.5%)	「特にない」(28.8%)	「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」(25.4%)
難病にかかっている (n=52)	「収入が少ない」(40.4%)	「特にない」(32.7%)	「休みをとることがむずかしい」(23.1%)
発達障がいの診断を受けた (n=41)	「収入が少ない」(51.2%)	「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」(36.6%)	「職場の周囲の人の障がいへの理解が十分でない」(22.0%)

## 4. 障がい者が働くにあたって大切なこと ※複数回答

★18歳以上の方で、現在働いている、あるいは、今後働きたいと思う方におたずねします。

問18 あなたは、障がい者が働くにあたって、どのようなことが大切だと思いますか。

「職場の上司や同僚が障がいに理解があること」の 53.4%が最も高い。以下、割合が高い方から、「勤務時間や勤務日数を調整できること」(46.8%)、「仕事を探すことや、仕事を続けることについて相談できる場所があること」(41.5%)、「障がいの特性にあった職種や業務であること」(39.0%)の順となっている。



交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた、障がい者が働くにあたって大切なことは、以下の通り。

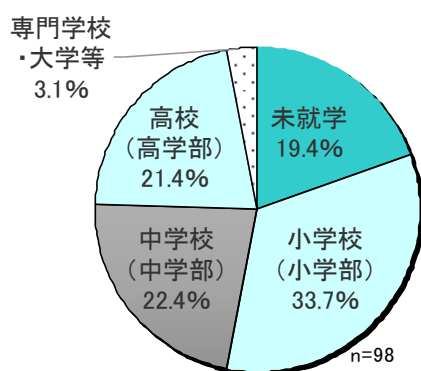
	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=255)	「職場の上司や同僚が障がいに理解があること」(49.4%)	「勤務時間や勤務日数を調整できること」(44.3%)	「給料が保障されること」(34.9%) 「障がいの特性にあった職種や業務であること」(同)
療育手帳 (n=92)	「職場により指導者がいること」(50.0%)	「仕事を探すことや、仕事を続けることについて相談できる場所があること」(46.7%)	「障がいの特性にあった職種や業務であること」(43.5%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=122)	「職場の上司や同僚が障がいに理解があること」(65.6%)	「勤務時間や勤務日数を調整できること」(60.7%)	「仕事を探すことや、仕事を続けることについて相談できる場所があること」(56.6%)
難病にかかっている (n=72)	「職場の上司や同僚が障がいに理解があること」(65.3%)	「勤務時間や勤務日数を調整できること」(51.4%)	「通院やリハビリテーションの時間がとれること」(50.0%)
発達障がいの診断を受けた (n=52)	「職場の上司や同僚が障がいに理解があること」(65.4%)	「職場により指導者がいること」(61.5%)	「障がいの特性にあった職種や業務であること」(57.7%) 「仕事を探すことや、仕事を続けることについて相談できる場所があること」(同)

## 1. 障がいのある子どもたちの通園・通学先

★現在、幼稚園・保育園や学校に通っている方におたずねします。

問19 通園・通学先を教えてください。(○は1つ)

回答者は98人で、「小学校(小学部)」の33.7%が最も高く、これに「中学校(中学部)」の22.4%、「高校(高学部)」の21.4%が続く。



	度数	%
未就学	19	19.4
1. 保育園	6	6.1
2. 幼稚園	6	6.1
3. 通園施設	6	6.1
4. その他	1	1.0
小学校(小学部)	33	33.7
5. 通常学級	3	3.1
6. 特別支援学級	22	22.4
7. 特別支援学校	8	8.2
中学校(中学部)	22	22.4
8. 通常学級	2	2.0
9. 特別支援学級	9	9.2
10. 特別支援学校	11	11.2
高校(高学部)	21	21.4
11. 高等学校	2	2.0
12. 特別支援学校	19	19.4
専門学校・大学等	3	3.1
13. 専門学校	2	2.0
14. 大学・大学院	1	1.0
15. 職業訓練校	0	0.0
16. その他	0	0.0
合計	98	100.0

学級や学校の種類別の分布は、以下の通り。

□小学校(小学部)

「特別支援学級」(66.7%)、「特別支援学校」(24.2%)、「通常学級」(9.1%)

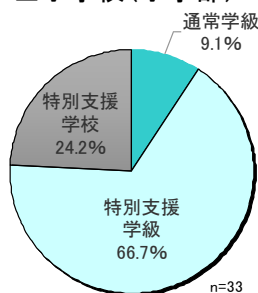
□中学校(中学部)

「特別支援学校」(50.0%)、「特別支援学級」(40.9%)、「通常学級」(9.1%)

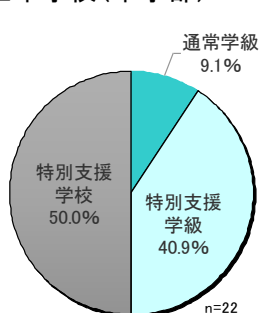
□高校(高学部)

「特別支援学校」(90.5%)、「高等学校」(9.5%)

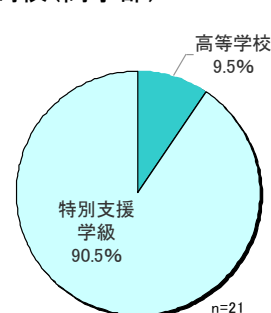
□小学校(小学部)



□中学校(中学部)



□高校(高学部)

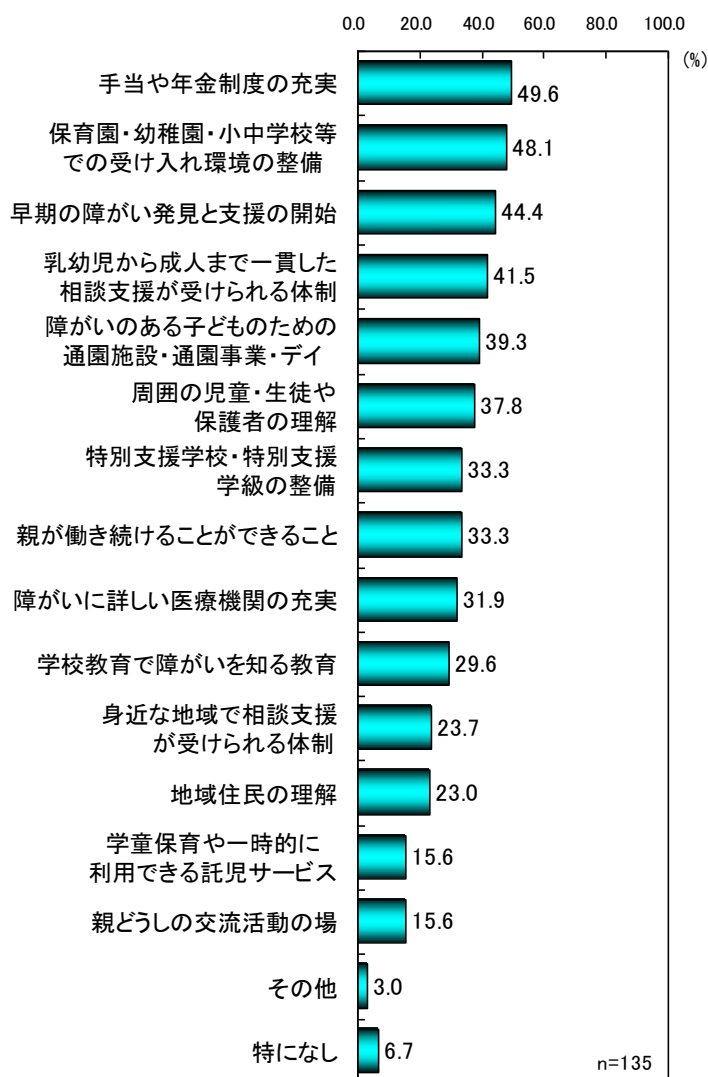


## 2. 障がいのある子どもたちが暮らしやすくなるために必要だと思うこと ※複数回答(5つまで選択可)

★障がいのあるお子様(18歳未満)がいらっしゃる保護者の方のみお答えください

問20 障がいのある子どもたちが暮らしやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

「手当や年金制度の充実」の49.6%が最も高い。以下、割合が高い方から、「保育園・幼稚園・小中学校等での受け入れ環境の整備」(48.1%)、「早期の障がい発見と支援の開始」(44.4%)、「乳幼児から成人まで一貫した相談支援が受けられる体制」(41.5%)の順となっている。



交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた障がいのある子どもたちが暮らしやすくなるために必要だと思うことは、以下の通り。

	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=43)	「保育園・幼稚園・小中学校等での受け入れ環境の整備」(48.8%)	「障がいのある子どもたちのための通園施設・通園事業・デイサービスの充実」(39.5%)	「障がいに詳しい医療機関の充実」(37.2%) 「親が働き続けることができること」(同)
療育手帳 (n=97)	「保育園・幼稚園・小中学校等での受け入れ環境の整備」(54.6%)	「乳幼児から成人まで一貫した相談支援が受けられる体制」(48.5%)	「早期の障がい発見と支援の開始」(47.4%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=13)	「年金や年金制度の充実」(61.5%)	「障がいに詳しい医療機関の充実」(46.2%)	「親同士の交流活動の場」(23.1%)
難病にかかっている (n=14)	「保育園・幼稚園・小中学校等での受け入れ環境の整備」(71.4%) 「年金や年金制度の充実」(同)		「障がいのある子どもたちのための通園施設・通園事業・デイサービスの充実」(57.1%)
発達障がいの診断を受けた (n=75)	「保育園・幼稚園・小中学校等での受け入れ環境の整備」(56.0%)	「早期の障がい発見と支援の開始」(54.7%)	「障がいのある子どもたちのための通園施設・通園事業・デイサービスの充実」(45.3%) 「特別支援学校・特別支援学級の整備」(同)

## VIII

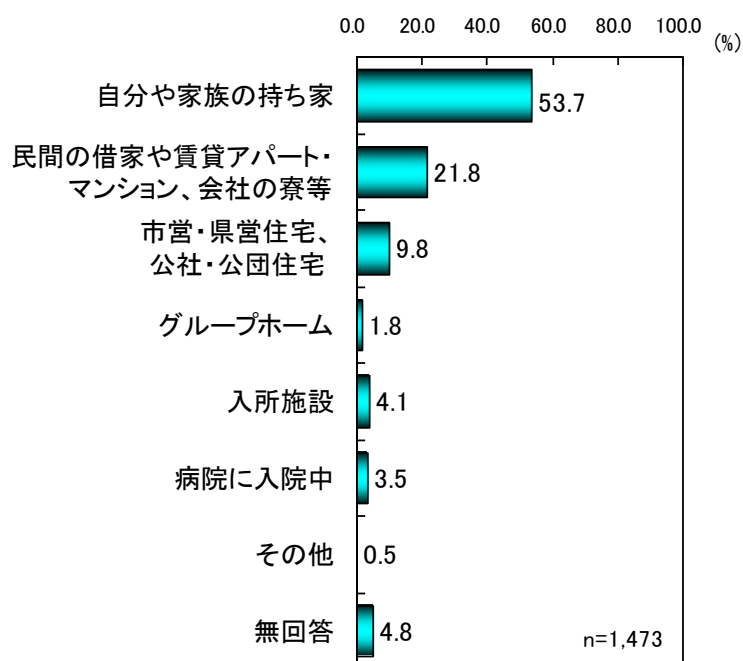
## 住まいや暮らしについて

## 1. 住まい

問21 あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。(医療機関に1年以上入院されている方は、「6. 病院に入院中」を選んでください。)(〇は1つ)

「自分の家族の持ち家」の 53.7%が最も高く、これに「民間の借家や賃貸アパート・マンション、会社の寮等」の 21.8%、「市営・県営住宅、公社・公団住宅」の 9.8%が続いている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「療育手帳交付者」では「入所施設」の割合が 12.6%で比較的高くなっている。「精神障害者保健福祉手帳交付者」では「民間の借家や賃貸アパート・マンション、会社の寮等」が 30.4%、「病院に入院中」が 8.7%で比較的高くなっている。



		問21現在のお住まい							
		合計	自分や家族の持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンション	市営・県営住宅、公社・公団住宅	グループホーム	入所施設	病院に入院中	その他
全体		1,473	791	321	145	26	61	51	7
		100.0	53.7	21.8	9.8	1.8	4.1	3.5	0.5
問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	527	165	93	5	25	22	4
		100.0	59.2	18.5	10.4	0.6	2.8	2.5	0.4
	療育手帳	293	135	67	24	15	37	5	2
		100.0	46.1	22.9	8.2	5.1	12.6	1.7	0.7
	精神障害者保健福祉手帳	309	107	94	42	10	4	27	4
		100.0	34.6	30.4	13.6	3.2	1.3	8.7	1.3
問5手帳の交付状況	わからない	21	11	3	2	0	1	3	0
		100.0	52.4	14.3	9.5	0.0	4.8	14.3	0.0
問5手帳の交付状況	障害者手帳の交付は受けていない	77	46	18	4	1	5	2	0
		100.0	59.7	23.4	5.2	1.3	6.5	2.6	0.0



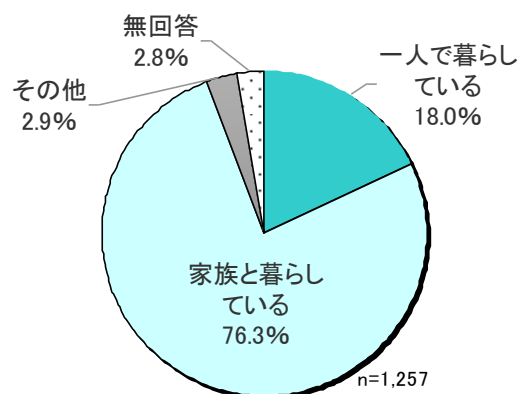
## 2. 家族等の同居の有無(施設入所及び病院入院中以外)

★問21で「1. 自分や家族の持ち家」、「2. 民間の借家や賃貸アパート・マンション、会社の寮等」、「3. 市営・県営住宅、公社・公団住宅」のいずれかと回答した方におたずねします。

問21-2 あなたは現在どのように暮らしていますか。

「家族と暮らしている」の 76.3%が最も高く、これに「一人で暮らしている」の 18.0%が続いている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「精神障害者保健福祉手帳交付者」では「一人で暮らしている」が 30.5%で比較的高くなっている。「療育手帳交付者」と「発達障がい」の診断を受けた人では「家族と暮らしている」の割合が高く9割を超えている。



		問21の2現在の暮らし				
		合計	一人で暮らしている	家族と暮らしている	その他	無回答
全体		1,257	226	959	37	35
		100.0	18.0	76.3	2.9	2.8
問5 手帳の 交付 状況	身体障害者手帳	785	147	590	23	25
		100.0	18.7	75.2	2.9	3.2
	療育手帳	226	9	207	5	5
		100.0	4.0	91.6	2.2	2.2
	精神障害者保健福祉手帳	243	74	151	9	9
		100.0	30.5	62.1	3.7	3.7
問6 難病	わからない	16	5	9	2	0
		100.0	31.2	56.2	12.5	0.0
問7 発達障がい	障害者手帳の交付は受けていない	68	11	56	1	0
		100.0	16.2	82.4	1.5	0.0
	かかっている	887	149	691	25	22
		100.0	16.8	77.9	2.8	2.5
	かかっている	172	34	130	4	4
		100.0	19.8	75.6	2.3	2.3
問7 発達障がい	わからない	106	25	74	5	2
		100.0	23.6	69.8	4.7	1.9
	無回答	92	18	64	3	7
		100.0	19.6	69.6	3.3	7.6
	ない	804	162	594	26	22
		100.0	20.1	73.9	3.2	2.7
問7 発達障がい	ある	145	7	134	3	1
		100.0	4.8	92.4	2.1	0.7
	わからない	85	15	64	3	3
		100.0	17.6	75.3	3.5	3.5
	無回答	223	42	167	5	9
		100.0	18.8	74.9	2.2	4.0



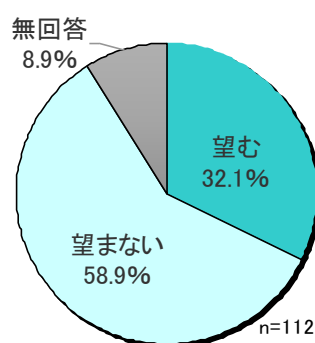
### 3. 地域での生活意向(施設入所及び病院入院中の人)

★問21で「5. 入所施設」または「6. 病院に入院中」と回答した方におたずねします。

問22 病院を退院または施設を退所して、地域で生活することを望みますか。(○は1つ)

「望まない」の 58.9%が最も高く、これに「望む」の 32.1%が続いている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「望む」は「身体障害者手帳交付者」の 34.0%が最も高くなっている。一方、「望まない」は「療育手帳交付者」の 66.7%が最も高くなっている。



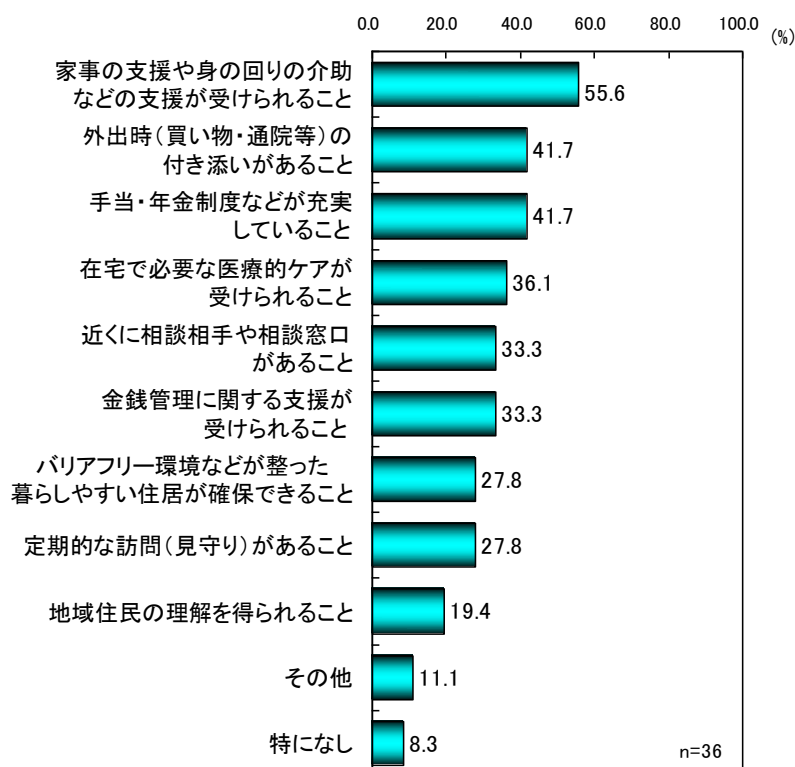
		問22地域での生活			
		合計	望む	望まない	無回答
全体		112	36	66	10
		100.0	32.1	58.9	8.9
■ 問5 手帳 の 交 付 状 況	身体障害者手帳	47	16	26	5
		100.0	34.0	55.3	10.6
	療育手帳	42	12	28	2
		100.0	28.6	66.7	4.8
	精神障害者保健福祉手帳	31	9	16	6
■ 問5 手帳 の 交 付 状 況		100.0	29.0	51.6	19.4
	わからない	4	1	3	0
		100.0	25.0	75.0	0.0
■ 問5 手帳 の 交 付 状 況	障害者手帳の交付は受けていない	7	3	4	0
		100.0	42.9	57.1	0.0

## 4. 在宅で生活するための必要な条件（施設入所及び病院入院中の 人） ※複数回答

★問22で「1. 望む」と回答した方におたずねします。

問22-2 在宅で生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「家事の支援や身の回りの介助などの支援が受けられること」の 55.6%が最も高い。以下、割合が高い方から、「外出時の付き添いがあること」(41.7%)、「手当・年金制度などが充実していること」(同)、「在宅に必要な医療的ケアが受けられること」(36.1%)の順となっている。



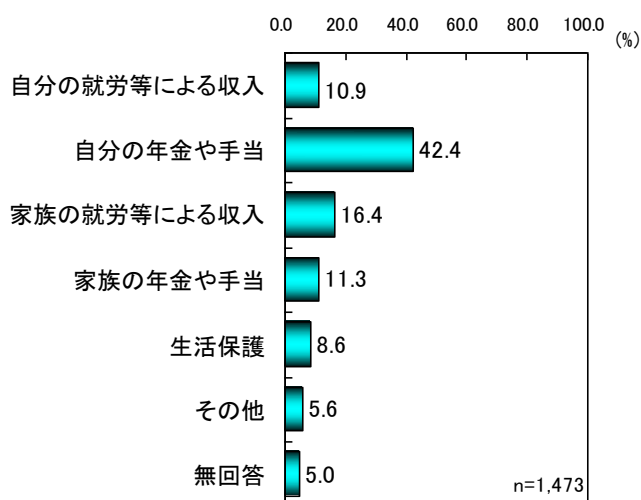
交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた在宅で生活するための必要な条件は、以下の通り。

	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=16)	「家事の支援や身の回りの介助などの支援が受けられること」(50.0%)	「バリアフリー環境などが整った暮らしやすい住居が確保できること」(37.5%) 「在宅に必要な医療的ケアが受けられること」(同) 「外出時の付き添いがあること」(同)	
療育手帳 (n=12)	「家事の支援や身の回りの介助などの支援が受けられること」(58.3%)	「外出時の付き添いがあること」(41.7%) 「手当・年金制度などが充実していること」(同)	
精神障害者保健福祉手帳 (n=9)	「家事の支援や身の回りの介助などの支援が受けられること」(66.7%)	「外出時の付き添いがあること」(44.4%) 「近くに相談相手や相談窓口があること」(同) 「手当・年金制度などが充実していること」(同) 「金銭管理に関する支援が受けられること」(同)	

## 5. 主な生活の収入源

問23 あなたの生活費は、主に、次のどれによってまかなわれていますか。(〇は1つ)

「自分の年金や手当」の42.4%が最も高く、これに「家族の就労等による収入」の16.4%、「家族の年金や手当」の11.3%、「自分の就労等による収入」の10.9%が続いている。



この結果を交付手帳の種類別等にとみると、以下の収入源が比較的高くなっている。

	第1位	第2位
身体障害者手帳 (n=890)	「自分の年金や手当」 (48.3%)	「自分の就労等による収入」 (13.0%)
療育手帳 (n=293)	「家族の就労等による収入」 (42.0%)	「自分の年金や手当」 (29.7%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=309)	「自分の年金や手当」 (38.8%)	「生活保護」(22.0%)
難病にかかっている (n=194)	「自分の年金や手当」 (39.7%)	「家族の就労等による収入」 (21.6%)
発達障がいの診断を受けた (n=170)	「家族の就労等による収入」 (54.14%)	「自分の年金や手当」 (17.6%)

## IX

## 障害福祉サービスについて

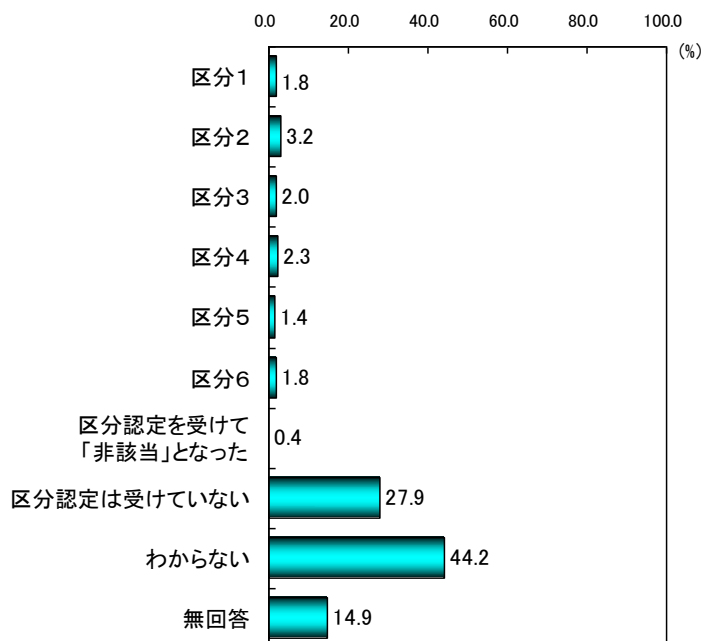
## 1. 区分認定の有無

問24 あなたは「障害支援区分」の認定を受けていますか。(○は1つ)

「わからない」の44.2%が最も高く、これに「区分認定は受けていない」の27.9%が続いている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「療育手帳交付者」では区分認定を受けている人が比較的多くなっている。「精神障害者保健福祉手帳交付者」は「わからない」が60.5%を占め、極めて高くなっている。

認定区分を受けている人は「発達障がい」の診断を受けた人でも比較的高く、「区分認定は受けていない」は「難病にかかっている人」で多くなっている。



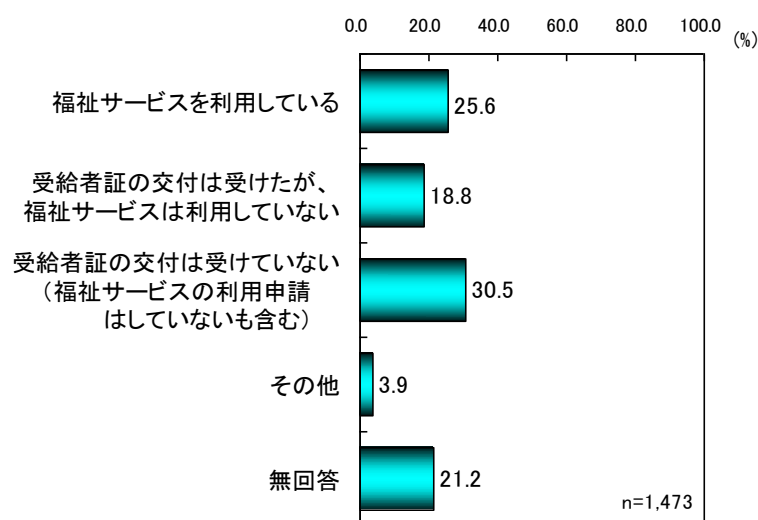
		問24障害者支援区分の認定状況										
		合計	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	な て 「 分 認 定 を 受 け た 非 該 当 」 と	て 区 分 認 定 は 受 け て い な い	わ か ら な い	無 回 答
問5 手帳の 交付 状況	全体	1,473 100.0	26 1.8	47 3.2	30 2.0	34 2.3	21 1.4	27 1.8	6 0.4	411 27.9	651 44.2	220 14.9
	身体障害者手帳	890 100.0	19 2.1	27 3.0	13 1.5	16 1.8	7 0.8	21 2.4	2 0.2	265 29.8	367 41.2	153 17.2
	療育手帳	293 100.0	3 1.0	16 5.5	18 6.1	22 7.5	17 5.8	16 5.5	1 0.3	51 17.4	115 39.2	34 11.6
	精神障害者保健福祉手帳	309 100.0	3 1.0	7 2.3	4 1.3	2 0.6	0 0.0	1 0.3	1 0.3	59 19.1	187 60.5	45 14.6
	わからない	21 100.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8	15 71.4	3 14.3
	障害者手帳の交付は 受けていない	77 100.0	1 1.3	0 0.0	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 1.3	1 68.8	53 22.1	4 5.2
問6 難病	かかっている	1,023 100.0	18 1.8	29 2.8	20 2.0	23 2.2	17 1.7	19 1.9	3 0.3	307 30.0	451 44.1	136 13.3
	かかっている	194 100.0	6 3.1	6 3.1	4 2.1	5 2.6	2 1.0	5 2.6	0 0.0	74 38.1	67 34.5	25 12.9
	わからない	137 100.0	2 1.5	5 3.6	5 3.6	2 1.5	2 1.5	3 2.2	1 0.7	10 7.3	88 64.2	19 13.9
	無回答	119 100.0	0 0.0	7 5.9	1 0.8	4 3.4	0 0.0	0 0.0	2 1.7	20 16.8	45 37.8	40 33.6
問7 発達障 がい	ない	918 100.0	18 2.0	23 2.5	17 1.9	13 1.4	11 1.2	12 1.3	2 0.2	303 33.0	399 43.5	120 13.1
	ある	170 100.0	2 1.2	10 5.9	5 2.9	11 6.5	4 2.4	5 2.9	2 1.2	31 18.2	84 49.4	16 9.4
	わからない	108 100.0	4 3.7	4 3.7	4 3.7	4 3.7	2 1.9	3 2.8	1 0.9	11 10.2	66 61.1	9 8.3
	無回答	277 100.0	2 0.7	10 3.6	4 1.4	6 2.2	4 1.4	7 2.5	1 0.4	66 23.8	102 36.8	75 27.1

## 2. 障がい者向け福祉サービスの利用状況

問25 あなたは、現在、障がい者向けの福祉サービスを利用していますか。(○は1つ)

「受給者証の交付は受けていない」の 30.5%が最も高く、これに「福祉サービスを利用している」の 25.6%、「受給者証の交付は受けたが、福祉サービスは利用していない」の 18.8%が続いている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「療育手帳交付者」では「福祉サービスを利用している」が 48.5%となっており、他の交付者と比べて高くなっている。「福祉サービスを利用している」は「発達障がいの診断を受けた人」でも比較的高く 44.1%となっている。



		問25福祉サービスの利用状況					
		合計	い福 る祉 サ ー ビ ス を 利 用 し て	しが受 て、給 い福者 な祉証 いサの ー交 ビ付 スは は受 利け 用た	含利い受 む用な給 ～申い者 請(証 は福の し社交 てサ付 いーは なビ受 いスけ ものて	そ 他	無 回 答
全体		1,473	377	277	450	57	312
		100.0	25.6	18.8	30.5	3.9	21.2
問5 手帳の 交付 状況	身体障害者手帳	890	197	172	293	33	195
		100.0	22.1	19.3	32.9	3.7	21.9
	療育手帳	293	142	47	44	14	46
		100.0	48.5	16.0	15.0	4.8	15.7
	精神障害者保健福祉手帳	309	87	66	74	13	69
		100.0	28.2	21.4	23.9	4.2	22.3
問7 発達 障が い	わからない	21	4	5	1	3	8
		100.0	19.0	23.8	4.8	14.3	38.1
	障害者手帳の交付は受けていない	77	5	8	49	1	14
		100.0	6.5	10.4	63.6	1.3	18.2
問7 発達 障が い	ない	918	203	172	337	30	176
		100.0	22.1	18.7	36.7	3.3	19.2
	ある	170	75	33	35	7	20
		100.0	44.1	19.4	20.6	4.1	11.8
	わからない	108	30	23	17	12	26
		100.0	27.8	21.3	15.7	11.1	24.1
問7 発達 障が い	無回答	277	69	49	61	8	90
		100.0	24.9	17.7	22.0	2.9	32.5

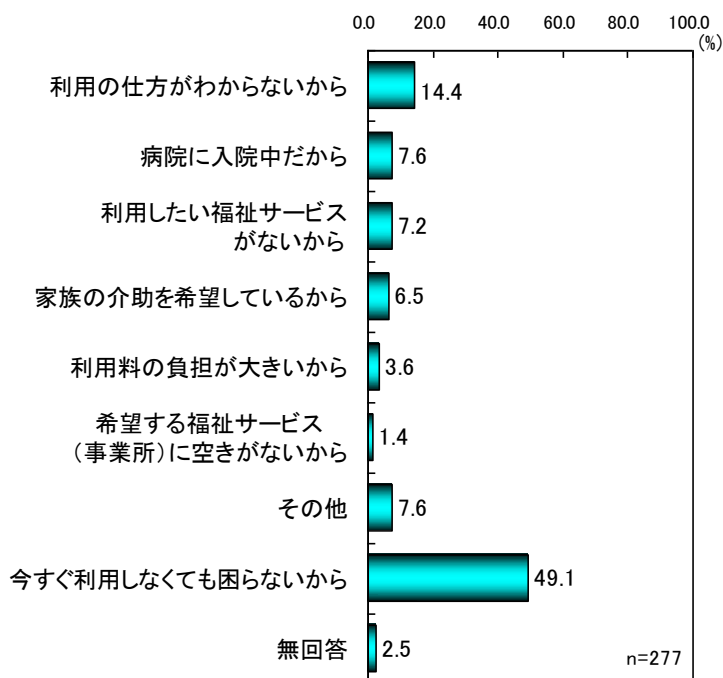
### 3. 福祉サービスを利用していない主な理由

★問25で「2. 受給者証の交付は受けたが、福祉サービスは利用していない」と回答した方におたずねします。

問25-2 現在、福祉サービスを利用していないのは、主にどのような理由からですか。

「今すぐ利用しなくても困らないから」の 49.1%が最も高く、これに「利用の仕方がわからないから」の 14.4%、「病院に入院中だから」の 7.6%、「利用したいサービスがないから」の 7.2%が続いている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「療育手帳交付者」で「利用したい福祉サービスがないから」が 14.9%で最も高い。「精神障害者保健福祉手帳交付者」では「利用の仕方がわからないから」が最も高く、「利用したい福祉サービスがないから」、「病院に入院中だから」の割合も高くなっている。「発達障がい診断を受けた人」では「利用したいサービスがないから」、「希望する福祉サービスに空きがないから」の割合が高くなっている。



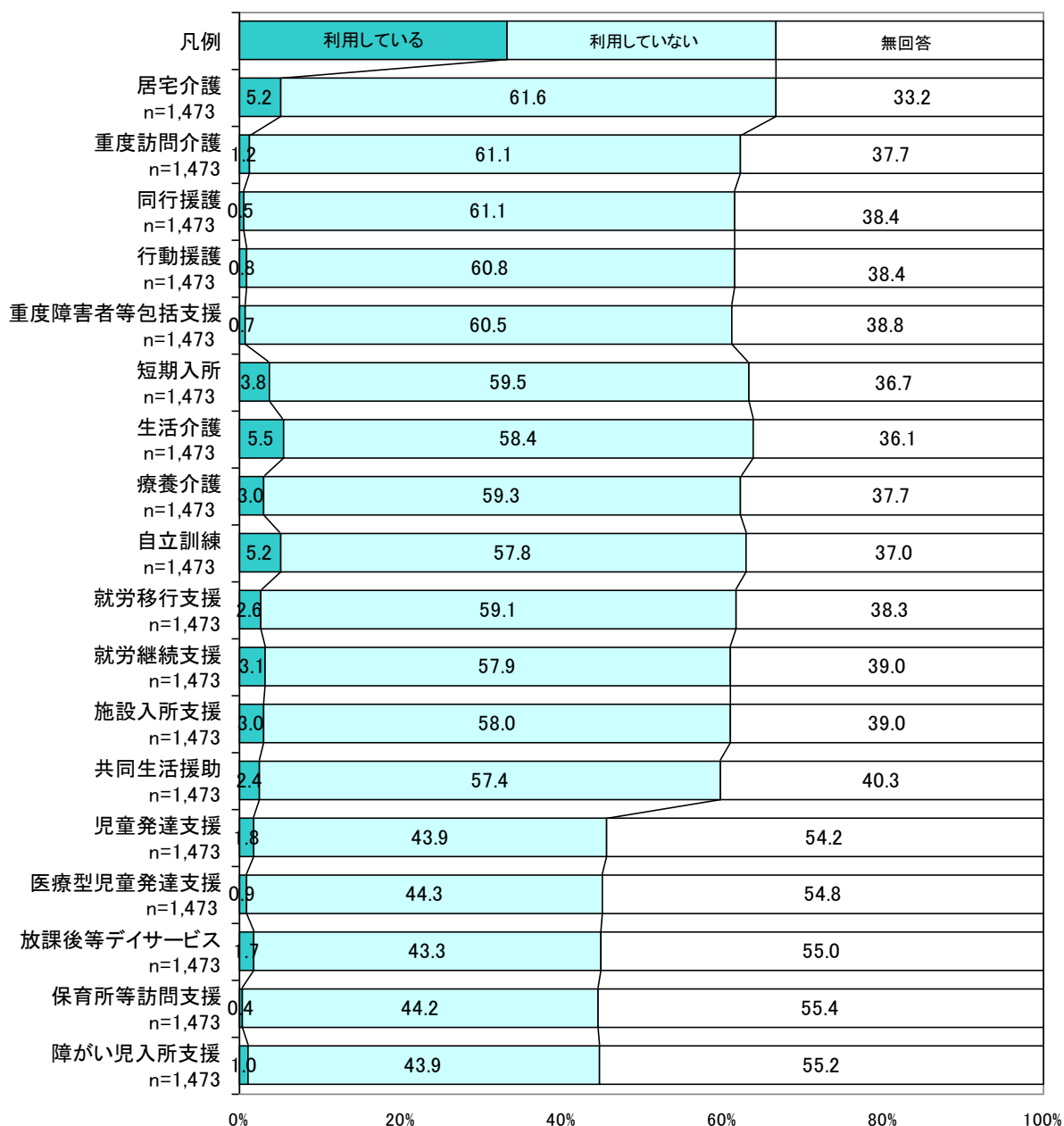
		問25の2福祉サービスを利用していない理由									
		合計	病院に入院中だから	家族の介助を希望しているから	希望する福祉サービス(事業所)に空きがないから	利用料の負担が大きいから	利用の仕方がわからないから	利用料の負担が大きいから	その他	今すぐ利用しなくても困らないから	無回答
全体		277	21	18	4	20	40	10	21	136	7
		100.0	7.6	6.5	1.4	7.2	14.4	3.6	7.6	49.1	2.5
問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	172	11	15	1	6	25	5	13	91	5
		100.0	6.4	8.7	0.6	3.5	14.5	2.9	7.6	52.9	2.9
	療育手帳	47	1	4	2	7	5	1	9	18	0
		100.0	2.1	8.5	4.3	14.9	10.6	2.1	19.1	38.3	0.0
	精神障害者保健福祉手帳	66	9	1	1	9	13	4	3	25	1
		100.0	13.6	1.5	1.5	13.6	19.7	6.1	4.5	37.9	1.5
問7発達障がい	わからない	5	2	0	0	1	1	0	0	1	0
		100.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	障害者手帳の交付は受けていない	8	0	0	0	0	1	1	1	4	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	50.0	12.5
問7発達障がい	ない	172	9	10	0	11	21	7	12	97	5
		100.0	5.2	5.8	0.0	6.4	12.2	4.1	7.0	56.4	2.9
	ある	33	1	0	4	6	5	0	6	11	0
		100.0	3.0	0.0	12.1	18.2	15.2	0.0	18.2	33.3	0.0
	わからない	23	4	3	0	2	5	1	1	7	0
		100.0	17.4	13.0	0.0	8.7	21.7	4.3	4.3	30.4	0.0
問7発達障がい	無回答	49	7	5	0	1	9	2	2	21	2
		100.0	14.3	10.2	0.0	2.0	18.4	4.1	4.1	42.9	4.1

## 4. 障害福祉サービスの利用状況と今後の利用意向

問26 次の障がい福祉サービスについて、あなたの利用状況と利用意向を教えてください。

### (1) 利用状況

「利用している」割合が高い方から、「生活介護」(5.5%)、「居宅介護」(5.2%)、「自立訓練」(同)、「短期入所」(3.8%)の順となっている。



年齢階層別、交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみたサービスの利用状況は、以下の通り。

# ■年齢階層別

順位	障がい児 (n=105)		18歳～64歳 (n=734)		65歳以上 (n=620)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	児童発達支援	19.0	生活介護	8.4	居宅介護	6.0
2	放課後等デイサービス	15.2	就労継続支援	5.7	重度訪問介護	1.0
3	短期入所	8.6	自立訓練	5.4	同行援護	0.3
4	障害児入所支援	7.6	居宅介護	4.9	行動援護	0.5
5	医療型児童発達支援	3.8	就労移行支援	4.8	重度障害者等包括支援	0.5
6	居宅介護	2.9	施設入所支援	4.5	短期入所	2.7
7	自立訓練	2.9	短期入所	4.1	生活介護	3.1
8	重度障害者等包括支援	1.9	共同生活援護	3.8	療養介護	3.1
9	重度訪問介護	1.0	療養介護	3.3	自立訓練	5.5
10	療養介護	1.0	重度訪問介護	1.4	就労移行支援	0.5
11	施設入所支援	1.0	行動援護	1.2	就労継続支援	0.3
12	保育所等訪問支援	1.0	重度障害者等包括支援	0.8	施設入所支援	1.6
13	同行援護	0.0	同行援護	0.5	共同生活援護	1.1
14	行動援護	0.0	放課後等デイサービス		児童発達支援	
15	生活介護	0.0	医療型児童発達支援		医療型児童発達支援	
16	就労移行支援	0.0	児童発達支援		放課後等デイサービス	
17	就労継続支援	0.0	障害児入所支援		保育所等訪問支援	
18	共同生活援護	0.0	保育所等訪問支援		障害児入所支援	

# ■交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別

順位	身体障害者手帳 (n=890)		療育手帳 (n=293)		精神障害者保健福祉手帳 (n=309)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	居宅介護	7.0	生活介護	15.7	就労移行支援	6.1
2	自立訓練	5.5	短期入所	11.6	就労継続支援	5.8
3	生活介護	4.9	施設入所支援	8.9	居宅介護	5.5
4	短期入所	3.5	児童発達支援	7.2	自立訓練	4.9
5	療養介護	3.4	放課後等デイサービス	7.2	療養介護	4.5
6	施設入所支援	2.1	就労継続支援	5.8	共同生活援護	2.9
7	重度訪問介護	1.8	共同生活援護	5.5	生活介護	2.3
8	共同生活援護	1.6	自立訓練	5.1	施設入所支援	1.6
9	就労移行支援	1.5	居宅介護	4.4	行動援護	1.3
10	重度障害者等包括支援	1.2	障害児入所支援	3.4	短期入所	1.3
11	就労継続支援	1.2	療養介護	3.1	医療型児童発達支援	0.6
12	医療型児童発達支援	1.2	就労移行支援	2.4	重度訪問介護	0.3
13	行動援護	1.0	医療型児童発達支援	2.0	児童発達支援	0.3
14	児童発達支援	1.0	重度訪問介護	1.7	保育所等訪問支援	0.3
15	放課後等デイサービス	0.9	重度障害者等包括支援	1.4	同行援護	0.0
16	同行援護	0.7	行動援護	0.7	重度障害者等包括支援	0.0
17	障害児入所支援	0.6	保育所等訪問支援	0.7	放課後等デイサービス	0.0
18	保育所等訪問支援	0.4	同行援護	0.0	障害児入所支援	0.0

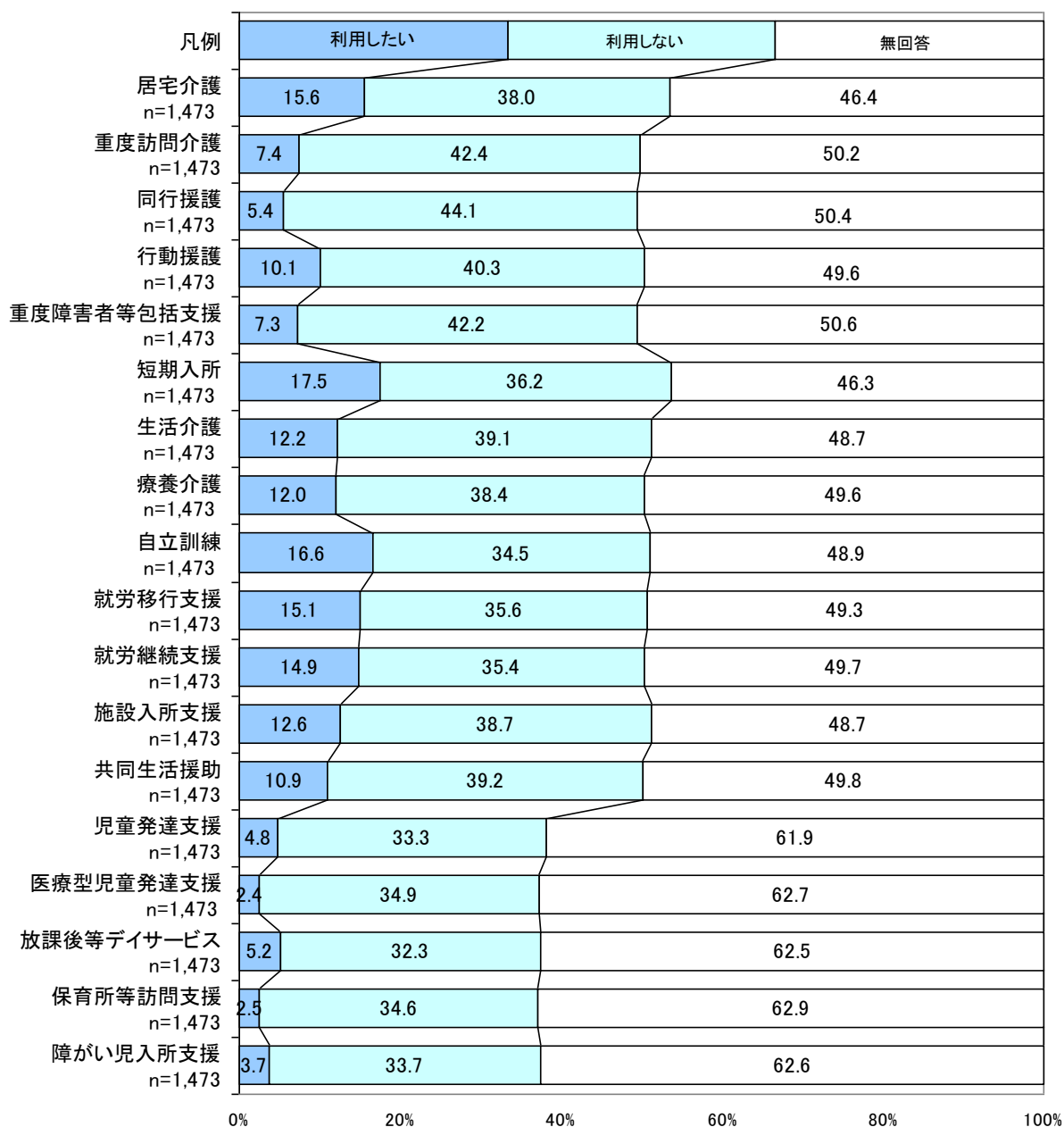
  

順位	難病 (n=194)		発達障がい (n=170)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	居宅介護	7.2	短期入所	10.6
2	生活介護	6.7	児童発達支援	10.6
3	自立訓練	6.7	放課後等デイサービス	8.2
4	重度訪問介護	3.1	生活介護	7.6
5	短期入所	2.6	就労継続支援	5.9
6	就労移行支援	2.6	施設入所支援	5.9
7	療養介護	2.1	自立訓練	4.1
8	同行援護	1.5	就労移行支援	4.1
9	施設入所支援	1.5	障害児入所支援	4.1
10	重度障害者等包括支援	1.0	共同生活援護	3.5
11	就労継続支援	1.0	療養介護	2.9
12	共同生活援護	0.5	重度訪問介護	1.8
13	児童発達支援	0.5	行動援護	1.8
14	医療型児童発達支援	0.5	居宅介護	1.2
15	放課後等デイサービス	0.5	医療型児童発達支援	1.2
16	障害児入所支援	0.5	保育所等訪問支援	1.2
17	行動援護	0.0	同行援護	0.6
18	保育所等訪問支援	0.0	重度障害者等包括支援	0.6



## (2) 今後の利用意向

「利用したい」割合が高い方から、「短期入所」(17.5%)、「自立訓練」(16.6%)、「居宅介護」(15.6%)、「就労移行支援」(15.1%)、「就労継続支援」(14.9%)の順となっている。



年齢階層別、交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみたサービスの利用意向は、以下の通り。

■年齢階層別

順位	障がい児 (n=105)		18歳～64歳 (n=734)		65歳以上 (n=620)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	就労移行支援	58.1	就労継続支援	18.4	居宅介護	18.5
2	就労継続支援	58.1	就労移行支援	18.0	短期入所	18.5
3	放課後等デイサービス	50.5	自立訓練	14.7	自立訓練	13.5
4	自立訓練	49.5	短期入所	14.2	療養介護	12.6
5	児童発達支援	46.7	居宅介護	12.7	施設入所支援	11.9
6	短期入所	35.2	生活介護	12.3	生活介護	11.5
7	障害児入所支援	29.5	施設入所支援	11.4	重度訪問介護	8.5
8	行動援護	27.6	療養介護	11.0	重度障害者等包括支援	8.4
9	共同生活援護	24.8	共同生活援護	10.9	共同生活援護	8.4
10	施設入所支援	23.8	行動援護	10.6	同行援護	6.8
11	保育所等訪問支援	18.1	重度障害者等包括支援	6.1	行動援護	6.6
12	居宅介護	17.1	重度訪問介護	6.0	就労移行支援	4.5
13	生活介護	15.2	同行援護	4.5	就労継続支援	3.7
14	療養介護	13.3	障害児入所支援		医療型児童発達支援	
15	医療型児童発達支援	11.4	放課後等デイサービス		児童発達支援	
16	重度訪問介護	10.5	児童発達支援		放課後等デイサービス	
17	重度障害者等包括支援	7.6	医療型児童発達支援		保育所等訪問支援	
18	同行援護	2.9	保育所等訪問支援		障害児入所支援	

■交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別

順位	身体障害者手帳 (n=890)		療育手帳 (n=293)		精神障害者保健福祉手帳 (n=309)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	居宅介護	18.4	就労継続支援	32.4	就労継続支援	23.9
2	短期入所	17.4	就労移行支援	29.7	就労移行支援	23.0
3	自立訓練	13.6	短期入所	29.0	自立訓練	17.8
4	療養介護	12.7	自立訓練	28.7	療養介護	13.9
5	生活介護	11.9	施設入所支援	23.9	行動援護	13.3
6	施設入所支援	11.0	共同生活援護	23.5	居宅介護	12.6
7	重度訪問介護	8.8	生活介護	21.8	短期入所	11.0
8	重度障害者等包括支援	8.8	行動援護	21.2	共同生活援護	9.4
9	就労移行支援	8.7	放課後等デイサービス	18.1	施設入所支援	9.1
10	共同生活援護	8.0	児童発達支援	17.1	生活介護	8.4
11	就労継続支援	7.4	居宅介護	14.7	重度障害者等包括支援	5.5
12	行動援護	6.7	障害児入所支援	11.9	重度訪問介護	4.9
13	同行援護	6.4	療養介護	11.6	同行援護	4.5
14	放課後等デイサービス	3.0	重度訪問介護	8.2	児童発達支援	2.6
15	医療型児童発達支援	2.8	重度障害者等包括支援	7.8	放課後等デイサービス	2.3
16	児童発達支援	2.5	保育所等訪問支援	7.2	障害児入所支援	2.3
17	障害児入所支援	2.5	医療型児童発達支援	4.4	医療型児童発達支援	1.9
18	保育所等訪問支援	1.9	同行援護	3.8	保育所等訪問支援	1.6

順位	難病 (n=194)		発達障がい (n=170)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	居宅介護	22.2	就労移行支援	43.5
2	自立訓練	21.6	就労継続支援	43.5
3	短期入所	19.6	自立訓練	35.9
4	就労移行支援	16.0	短期入所	30.6
5	生活介護	15.5	施設入所支援	25.9
6	療養介護	14.4	行動援護	24.7
7	就労継続支援	13.9	共同生活援護	24.7
8	施設入所支援	13.4	児童発達支援	22.9
9	重度訪問介護	12.9	放課後等デイサービス	22.9
10	重度障害者等包括支援	10.8	生活介護	17.1
11	共同生活援護	9.8	障害児入所支援	16.5
12	同行援護	8.2	療養介護	14.7
13	行動援護	8.2	居宅介護	12.4
14	児童発達支援	4.1	重度訪問介護	8.8
15	医療型児童発達支援	4.1	重度障害者等包括支援	8.8
16	放課後等デイサービス	4.1	保育所等訪問支援	7.6
17	障害児入所支援	3.6	同行援護	4.7
18	保育所等訪問支援	1.0	医療型児童発達支援	4.7

### (3)利用状況と今後の利用意向の比較

利用状況と今後の利用意向を比較して、今後の利用意向の方が 10 ポイント以上高くなっている障害福祉サービスは、「短期入所」(+13.7 ポイント)、「就労移行支援」(+12.5 ポイント)、「就労継続支援(雇用型・非雇用型)」(+11.8 ポイント)、「自立訓練」(+11.4 ポイント)、「居宅介護(ホームヘルプ)」(+10.4 ポイント)。

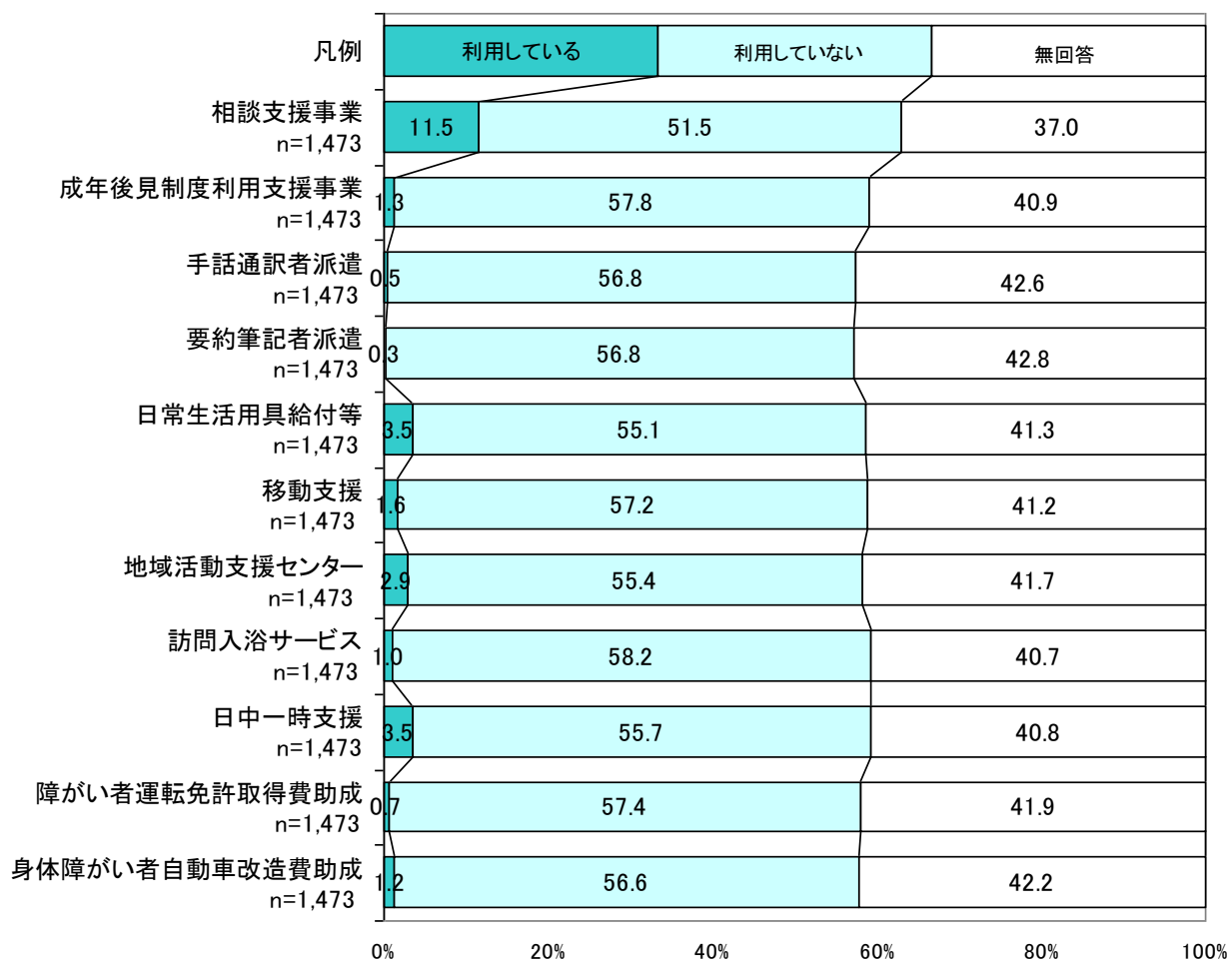
	利用している (a)	利用したい (b)	(b)-(a)
居宅介護(ホームヘルプ)	5.2	15.6	10.4
重度訪問介護	1.2	7.4	6.2
同行援護	0.5	5.4	4.9
行動援護	0.8	10.1	9.3
重度障害者等包括支援	0.7	7.3	6.6
短期入所(ショートステイ)	3.8	17.5	13.7
生活介護	5.5	12.2	6.7
療養介護	3.0	12.0	9.0
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	5.2	16.6	11.4
就労移行支援	2.6	15.1	12.5
就労継続支援(雇用型・非雇用型)	3.1	14.9	11.8
施設入所支援	3.0	12.6	9.6
共同生活援助(グループホーム)	2.4	10.9	8.5
児童発達支援	1.8	4.8	3.0
医療型児童発達支援	0.9	2.4	1.5
放課後等デイサービス	1.7	5.2	3.5
保育所等訪問支援	0.4	2.5	2.1
障がい児入所支援(福祉型・医療型)	1.0	3.7	2.7

## 5. 地域生活支援事業の利用状況と今後の利用意向

問27 次の地域生活支援事業について、あなたの利用状況と利用意向を教えてください

### (1) 利用状況

「利用している」割合が高い方から、「相談支援事業」(11.5%)、「日常生活用具給付等」(3.5%)、「日中一時支援」(同)、「地域活動支援センター」(2.9%)の順となっている。



年齢階層別、交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた地域生活支援事業の利用状況は、以下の通り。

### ■年齢階層別

順位	障がい児(n=105)		18歳～64歳(n=734)		65歳以上(n=620)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	相談支援事業	28.6	相談支援事業	14.4	相談支援事業	5.3
2	日中一時支援	21.0	日常生活用具給付等	4.2	日常生活用具給付等	2.6
3	日常生活用具給付等	4.8	地域活動支援センター	4.1	地域活動支援センター	1.9
4	移動支援	1.9	日中一時支援	3.1	成年後見制度利用支援	1.1
5	地域活動支援センター	1.0	移動支援	2.0	移動支援	1.1
6	身体障がい者自動車改造費免除	1.0	成年後見制度利用支援	1.6	身体障がい者自動車改造費免除	1.1
7	成年後見制度利用支援	0.0	身体障がい者自動車改造費免除	1.4	訪問入浴サービス	1.0
8	手話通訳者派遣	0.0	訪問入浴サービス	1.2	日中一時支援	1.0
9	要約筆記者派遣	0.0	障がい者運転免許取得費助成	0.7	障がい者運転免許取得費助成	0.8
10	訪問入浴サービス	0.0	手話通訳者派遣	0.5	手話通訳者派遣	0.6
11	障がい者運転免許取得費助成	0.0	要約筆記者派遣	0.3	要約筆記者派遣	0.5

### ■交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別

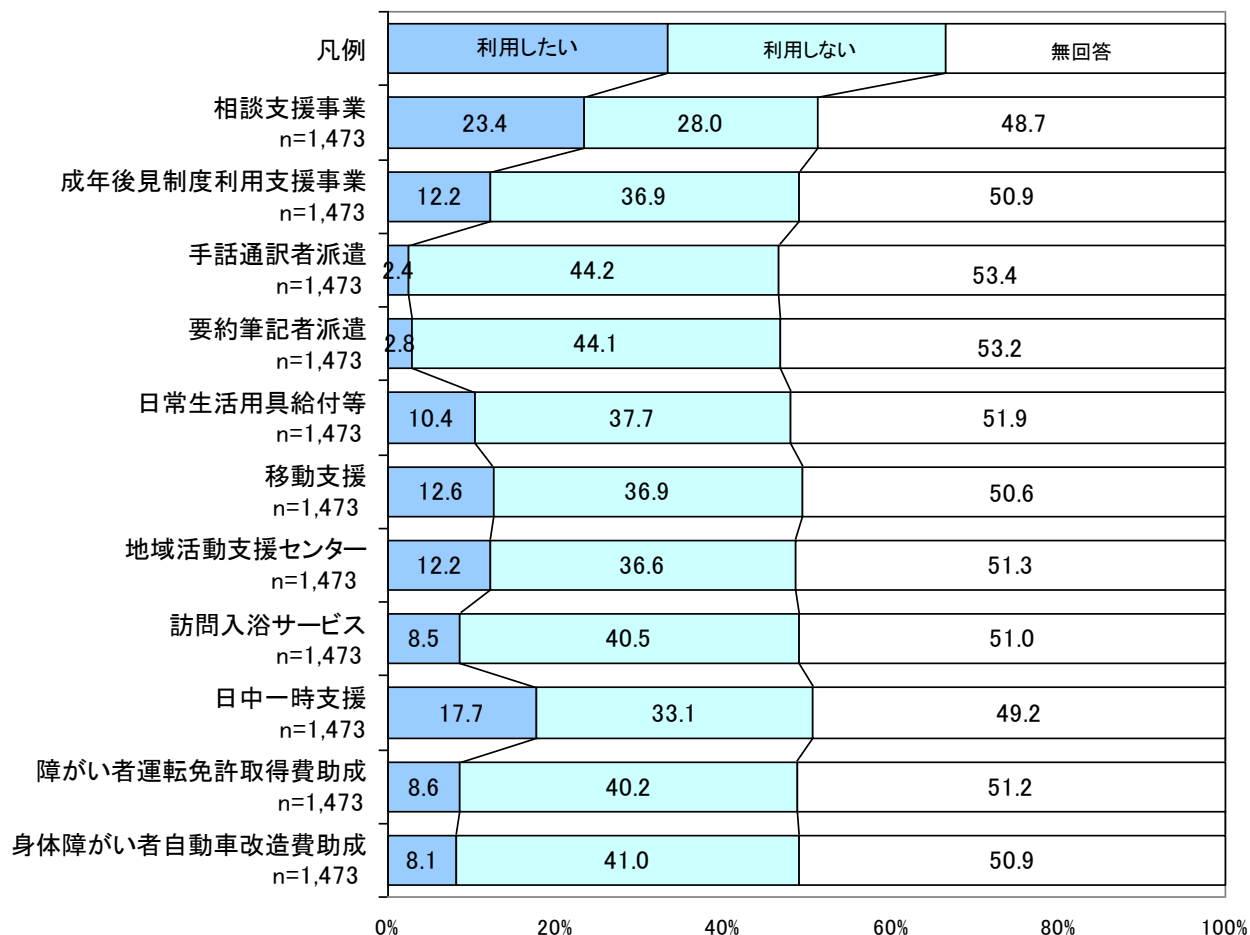
順位	身体障害者手帳(n=890)		療育手帳(n=293)		精神障害者保健福祉手帳(n=309)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	相談支援事業	8.0	相談支援事業	29.0	相談支援事業	13.9
2	日常生活用具給付等	5.5	日中一時支援	14.0	地域活動支援センター	5.5
3	日中一時支援	2.4	日常生活用具給付等	4.1	成年後見制度利用支援	1.9
4	地域活動支援センター	2.2	成年後見制度利用支援	2.4	移動支援	1.6
5	移動支援	1.9	移動支援	2.4	訪問入浴サービス	1.0
6	身体障がい者自動車改造費免除	1.7	地域活動支援センター	2.4	日中一時支援	1.0
7	訪問入浴サービス	1.3	訪問入浴サービス	1.4	日常生活用具給付等	0.6
8	成年後見制度利用支援	1.0	身体障がい者自動車改造費免除	1.0	手話通訳者派遣	0.0
9	手話通訳者派遣	0.9	手話通訳者派遣	0.3	要約筆記者派遣	0.0
10	障がい者運転免許取得費助成	0.9	障がい者運転免許取得費助成	0.3	障がい者運転免許取得費助成	0.0
11	要約筆記者派遣	0.6	要約筆記者派遣	0.0	身体障がい者自動車改造費免除	0.0

順位	難病(n=194)		発達障がい(n=170)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	相談支援事業	8.8	相談支援事業	27.1
2	日常生活用具給付等	4.1	日中一時支援	15.9
3	移動支援	2.1	日常生活用具給付等	2.9
4	地域活動支援センター	2.1	移動支援	2.4
5	訪問入浴サービス	1.0	地域活動支援センター	1.8
6	日中一時支援	1.0	訪問入浴サービス	1.8
7	身体障がい者自動車改造費免除	0.5	成年後見制度利用支援	1.2
8	成年後見制度利用支援	0.0	身体障がい者自動車改造費免除	1.2
9	手話通訳者派遣	0.0	手話通訳者派遣	0.6
10	要約筆記者派遣	0.0	障がい者運転免許取得費助成	0.6
11	障がい者運転免許取得費助成	0.0	要約筆記者派遣	0.0

## (2)今後の利用意向

「利用したい」割合が高い方から、「相談支援事業」(23.4%)、「日中一時支援」(17.7%)、「移動支援」(12.6%)、「成年後見制度利用支援事業」(12.2%)、「地域活動支援センター」(同)の順となっている。



年齢階層別、交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた地域生活支援事業の利用意向は、以下の通り。

### ■年齢階層別

順位	障がい児 (n=105)		18歳～64歳 (n=734)		65歳以上 (n=620)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	相談支援事業	61.0	相談支援事業	25.5	日中一時支援	14.7
2	日中一時支援	57.1	日中一時支援	14.6	相談支援事業	14.5
3	成年後見制度利用支援	51.4	成年後見制度利用支援	13.8	移動支援	11.0
4	障がい者運転免許取得費助成	37.1	地域活動支援センター	13.4	訪問入浴サービス	10.8
5	地域活動支援センター	33.3	移動支援	12.7	日常生活用具給付等	9.7
6	移動支援	21.0	日常生活用具給付等	10.6	地域活動支援センター	7.1
7	身体障がい者自動車改造費免除	17.1	身体障がい者自動車改造費免除	8.6	身体障がい者自動車改造費免除	6.0
8	日常生活用具給付等	12.4	障がい者運転免許取得費助成	8.3	障がい者運転免許取得費助成	4.2
9	訪問入浴サービス	9.5	訪問入浴サービス	6.4	成年後見制度利用支援	3.7
10	手話通訳者派遣	2.9	要約筆記者派遣	2.9	要約筆記者派遣	2.7
11	要約筆記者派遣	1.9	手話通訳者派遣	2.0	手話通訳者派遣	2.6

■ 交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別

順位	身体障害者手帳(n=890)		療育手帳(n=293)		精神障害者保健福祉手帳(n=309)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	相談支援事業	16.9	相談支援事業	45.7	相談支援事業	27.2
2	日中一時支援	15.8	成年後見制度利用支援	39.9	地域活動支援センター	15.5
3	日常生活用具給付等	12.6	日中一時支援	35.8	日中一時支援	11.7
4	移動支援	12.1	地域活動支援センター	22.2	成年後見制度利用支援	10.7
5	訪問入浴サービス	10.2	移動支援	18.8	移動支援	10.7
6	身体障がい者自動車改造費免除	9.7	障がい者運転免許取得費助成	17.1	障がい者運転免許取得費助成	10.4
7	地域活動支援センター	8.5	日常生活用具給付等	10.2	日常生活用具給付等	7.4
8	障がい者運転免許取得費助成	6.1	訪問入浴サービス	7.8	身体障がい者自動車改造費免除	6.1
9	成年後見制度利用支援	5.5	身体障がい者自動車改造費免除	6.8	訪問入浴サービス	5.5
10	要約筆記者派遣	3.3	手話通訳者派遣	1.7	要約筆記者派遣	3.2
11	手話通訳者派遣	3.0	要約筆記者派遣	1.4	手話通訳者派遣	1.6

順位	難病(n=194)		発達障がい(n=170)	
	サービス名	(%)	サービス名	(%)
1	相談支援事業	22.7	相談支援事業	51.2
2	日中一時支援	16.0	成年後見制度利用支援	44.7
3	移動支援	15.5	日中一時支援	43.5
4	訪問入浴サービス	13.9	地域活動支援センター	27.1
5	日常生活用具給付等	12.9	障がい者運転免許取得費助成	24.7
6	身体障がい者自動車改造費免除	11.3	移動支援	20.6
7	地域活動支援センター	10.8	身体障がい者自動車改造費免除	10.6
8	障がい者運転免許取得費助成	6.7	日常生活用具給付等	9.4
9	成年後見制度利用支援	6.2	訪問入浴サービス	6.5
10	要約筆記者派遣	2.1	要約筆記者派遣	2.4
11	手話通訳者派遣	1.5	手話通訳者派遣	1.8

### (3) 利用状況と今後の利用意向の比較

利用状況と今後の利用意向を比較して、今後の利用意向の方が 10 ポイント以上高くなっている地域生活支援事業は、「日中一時支援」(+14.2 ポイント)、「相談支援事業」(+11.9 ポイント)、「移動支援事業」(+11.0 ポイント)、「成年後見制度利用支援事業」(+10.9 ポイント)。

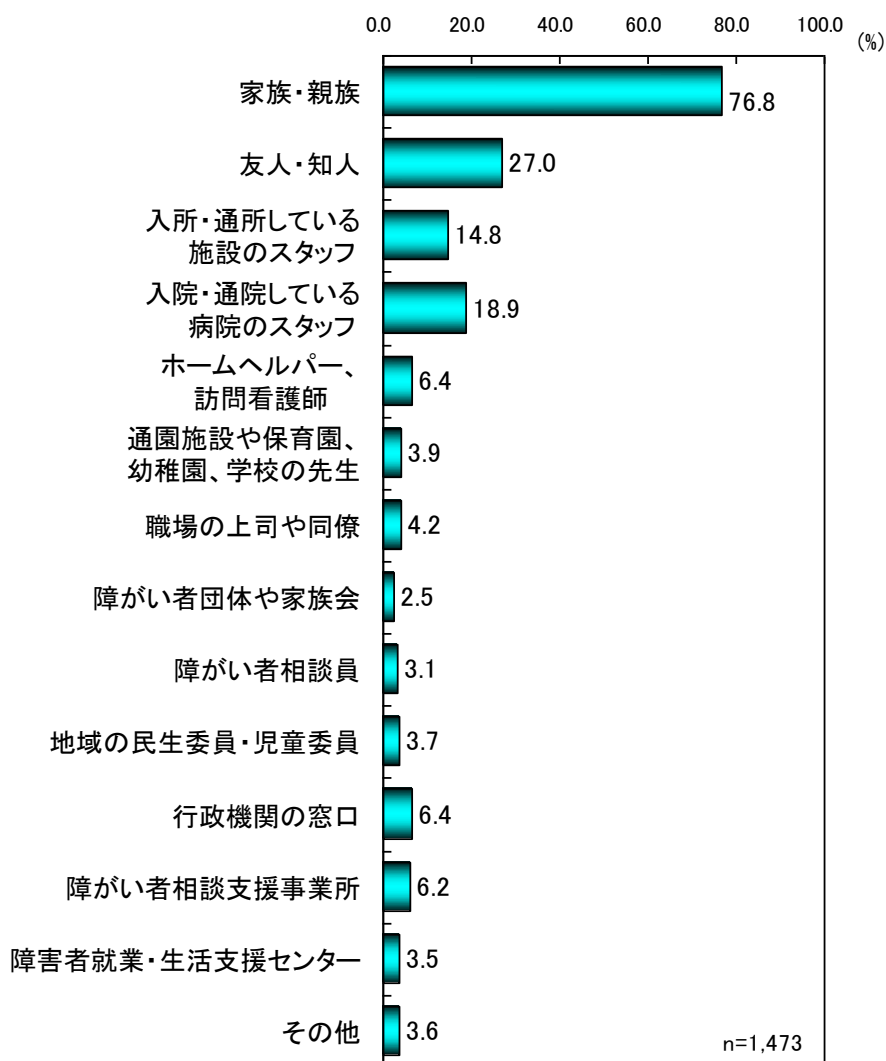
	利用している (a)	利用したい (b)	(b)-(a)
相談支援事業	11.5	23.4	11.9
成年後見制度利用支援事業	1.3	12.2	10.9
手話通訳者派遣	0.5	2.4	1.9
要約筆記者派遣	0.3	2.8	2.5
日常生活用具給付等	3.5	10.4	6.9
移動支援	1.6	12.6	11.0
地域活動支援センター	2.9	12.2	9.3
訪問入浴サービス	1.0	8.5	7.5
日中一時支援	3.5	17.7	14.2
障がい者運転免許取得費助成	0.7	8.6	7.9
身体障がい者自動車改造費助成	1.2	8.1	6.9



## 1. 気軽に相談できる人や窓口について

問28 あなたが困ったときに、気軽に相談できる人や窓口がありますか。(〇はいくつでも)

「家族・親族」の76.8%が最も高い。以下、割合が高い方から、「友人・知人」(27.0%)、「入院・通院している病院のスタッフ」(18.9%)、「入院・通所している施設のスタッフ」(14.8%)の順となっている。



交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた気軽に相談できる人や窓口は、以下の通り。

	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=890)	「家族・親族」(78.9%)	「友人・知人」(27.0%)	「入院・通院している病院のスタッフ」(14.9%)
療育手帳 (n=293)	「家族・親族」(77.8%)	「入院・通所している施設のスタッフ」(36.9%)	「友人・知人」(20.1%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=309)	「家族・親族」(64.1%)	「入院・通院している病院のスタッフ」(40.8%)	「友人・知人」(25.2%)
難病にかかっている (n=194)	「家族・親族」(83.0%)	「友人・知人」(32.0%)	「入院・通院している病院のスタッフ」(25.8%)
発達障がいの診断を受けた (n=170)	「家族・親族」(79.4%)	「入院・通所している施設のスタッフ」(26.5%)	「通園施設や保育園、幼稚園、学校の先生」(21.8%)

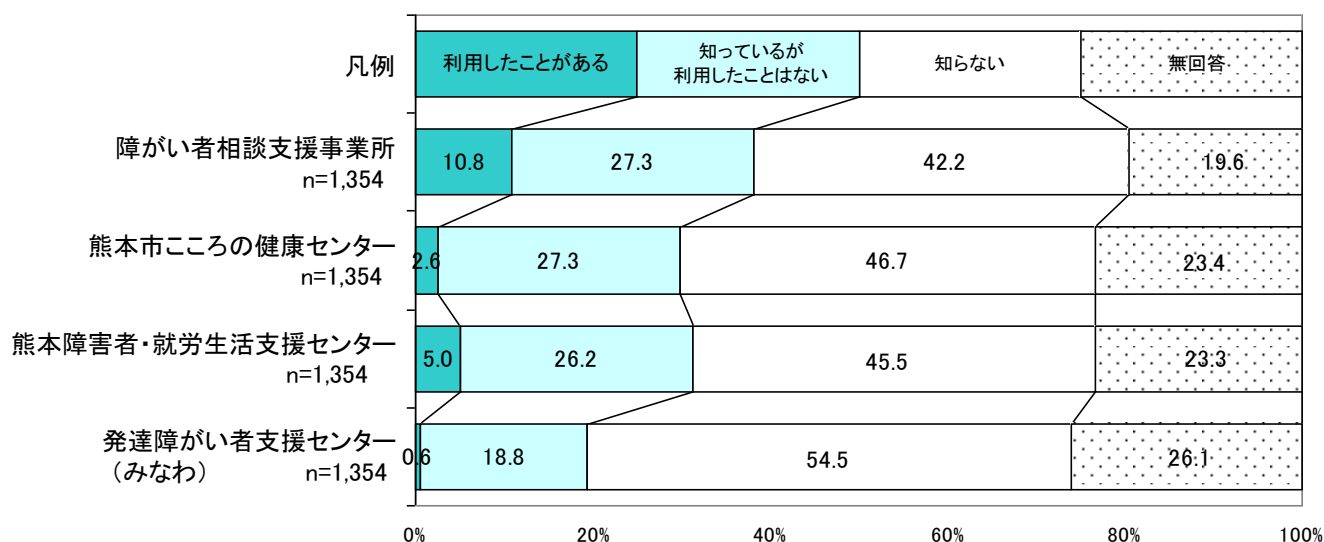


## 2. 相談機関の認知度

★18歳以上の方のみにおたずねします。

問29 次の相談機関を知っていますか。また、利用したことがありますか。

「利用したことがある」の割合をみると、「障がい者相談支援事業所」の10.8%が最も高く、これに「熊本障害者・就労生活支援センター」の5.0%、「熊本市こころの健康センター」の2.6%が続く。



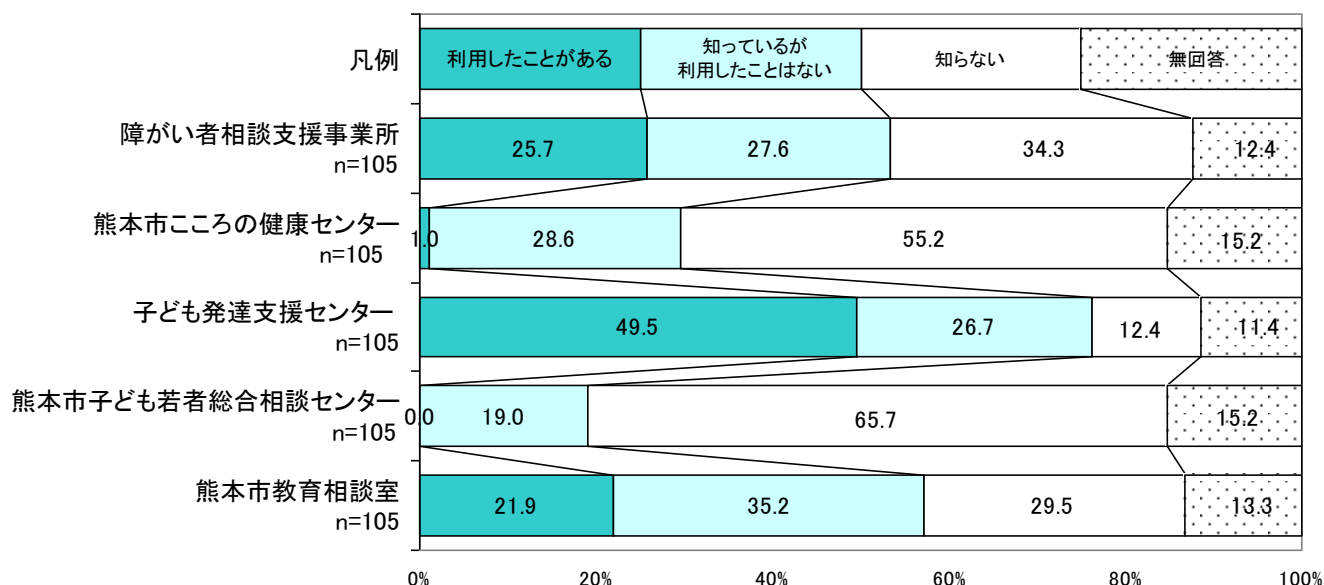
交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた相談機関の認知度(「利用したことがある」+「知っているが、利用したことはない」)は、以下の通り。

	障がい者相談支援事業所	熊本市こころの健康センター	熊本障害者・就労生活支援センター	発達障がい者支援センター(みなわ)
身体障害者手帳 (n=863)	37.2%	30.1%	29.6%	20.3%
療育手帳 (n=199)	47.7%	21.6%	30.6%	18.6%
精神障害者保健福祉手帳 (n=302)	35.7%	32.4%	33.7%	15.6%
難病にかかっている (n=181)	39.8%	29.3%	31.5%	20.4%
発達障がいの診断を受けた (n=95)	52.6%	32.7%	41.0%	32.7%

★ 障がいのあるお子様(18歳未満)がいらっしゃる保護者の方におたずねします。

問29-2 次の相談機関を知っていますか。また、利用したことがありますか。

「利用したことがある」の割合をみると、「子ども発達支援センター」の49.5%が最も高い。以下、割合が高い方から「障がい者相談支援事業所」(25.7%)、「熊本市教育相談室」(21.9%)、「熊本市こころの健康センター」(1.0%)の順となっている。「熊本市子ども若者総合相談センター」は皆無。



交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた相談機関の認知度(「利用したことがある」+「知っているが、利用したことはない」)は、以下の通り。

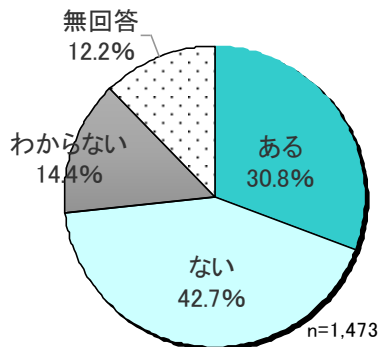
	障がい者 相談支援事業所	熊本市こころの 健康センター	子ども 発達支援センター	熊本市子ども若者 総合相談センター	熊本市教育相談室
身体障害者手帳 (n=20)	65.0%	35.0%	70.0%	20.0%	55.0%
療育手帳 (n=94)	55.3%	28.8%	77.7%	19.1%	56.3%
精神障害者保健福祉手帳 (n=3)	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%
難病にかかっている (n=12)	58.4%	33.3%	75.0%	16.7%	75.0%
発達障がいの診断を受けた (n=74)	54.0%	31.1%	81.1%	21.6%	67.6%

## 1. 差別を受けた経験

問30 あなたは、障がいがあることで差別を受けたと感じたこと、あるいは、嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つ)

「ない」の 42.7%が最も高く、これに「ある」の 30.8%が続いている。

この結果を交付手帳の種類別等にとみると、「ある」は「発達障がいの診断を受けた人」57.1%、「療育手帳交付者」48.1%、「精神障害者保健福祉手帳交付者」44.0%となっており、「身体障害者手帳交付者」の 24.0%と比べ極めて高くなっている。



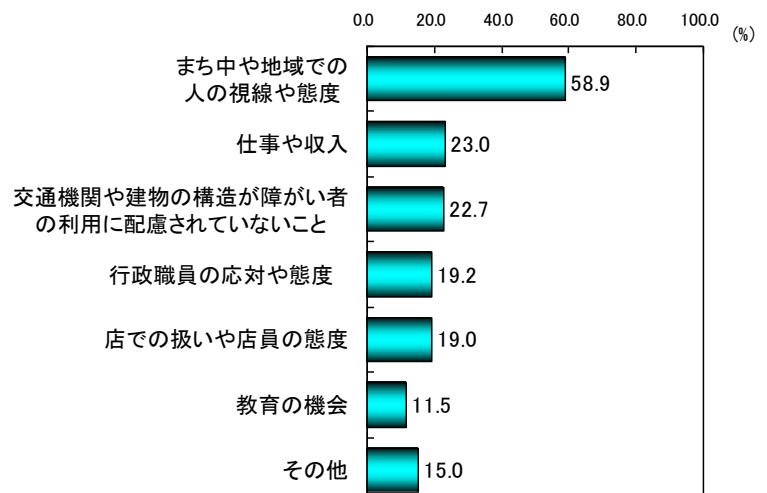
		問30差別				
		合計	ある	ない	わからない	無回答
問5手帳の交付状況	全体	1,473	453	629	212	179
		100.0	30.8	42.7	14.4	12.2
	身体障害者手帳	890	214	467	94	115
		100.0	24.0	52.5	10.6	12.9
	療育手帳	293	141	59	71	22
		100.0	48.1	20.1	24.2	7.5
	精神障害者保健福祉手帳	309	136	84	58	31
		100.0	44.0	27.2	18.8	10.0
	わからない	21	5	9	4	3
		100.0	23.8	42.9	19.0	14.3
問7発達障がい	障害者手帳の交付は受けていない	77	8	46	8	15
		100.0	10.4	59.7	10.4	19.5
	ない	918	246	461	109	102
		100.0	26.8	50.2	11.9	11.1
	ある	170	97	28	39	6
問7発達障がい		100.0	57.1	16.5	22.9	3.5
	わからない	108	38	29	28	13
		100.0	35.2	26.9	25.9	12.0
	無回答	277	72	111	36	58
		100.0	26.0	40.1	13.0	20.9

## 2. 差別を受けた具体的な場面 ※複数回答

★問30で「1. ある」と回答した方におたずねします。

問30-2 具体的に、どんな場面でしたか。(○はいくつでも)

「まち中や地域での人の視線や態度」の 58.9%が最も高く、これに「仕事や収入」の 23.0%、「交通機関や建物の構造が障がい者の利用に配慮されていないこと」の 22.7%が続いている。



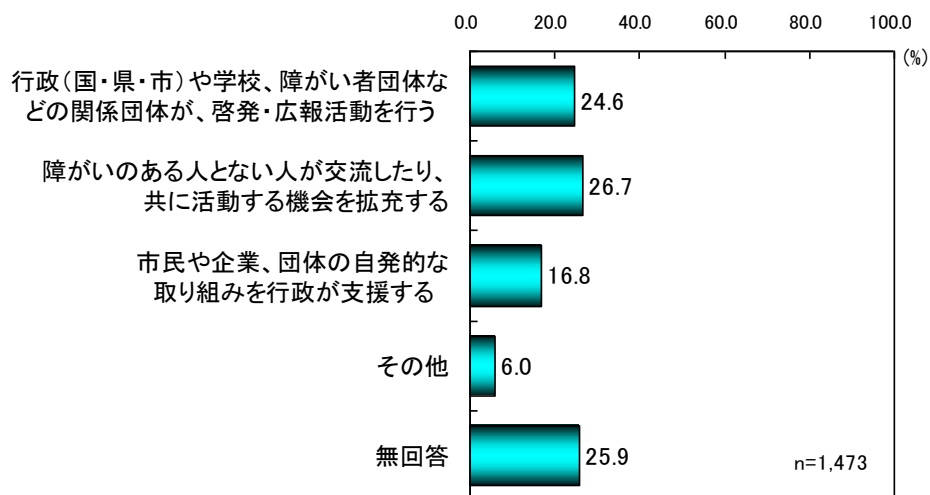
交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた差別を受けた具体的な場面は、以下の通り。

	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=214)	「まち中や地域での人の視線や態度」(58.4%)	「交通機関や建物の構造が障がい者の利用に配慮されていないこと」(36.0%)	「仕事や収入」(22.0%)
療育手帳 (n=141)	「まち中や地域での人の視線や態度」(70.9%)	「店での扱いや店員の態度」(23.4%)	「教育の機会」(22.0%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=136)	「まち中や地域での人の視線や態度」(51.5%)	「仕事や収入」(33.8%)	「行政職員の対応や態度」(24.3%)
難病にかかっている (n=60)	「まち中や地域での人の視線や態度」(50.0%)	「仕事や収入」(23.3%)	「交通機関や建物の構造が障がい者の利用に配慮されていないこと」(23.3%)
発達障がいの診断を受けた (n=97)	「まち中や地域での人の視線や態度」(67.0%)	「教育の機会」(28.9%)	「店での扱いや店員の態度」(24.7%)

### 3. 障がいのある人への差別などを減らすために効果的だと思うこと

問31 あなたは、障がいのある人への差別や偏見を減らしたり、障がいへの理解を深めるためには、どのような取り組みが最も効果的だと思いますか。(〇は1つ)

「障がいのある人となない人が交流したり、共に活動する機会を拡充する」の 26.7%が最も高く、これに「行政(国・県・市)や学校、障がい者団体などの関係団体が啓発・広報活動を行う」の 24.6%、「市民や企業、団体の自発的な取り組みを行政が支援する」の 16.8%が続く。



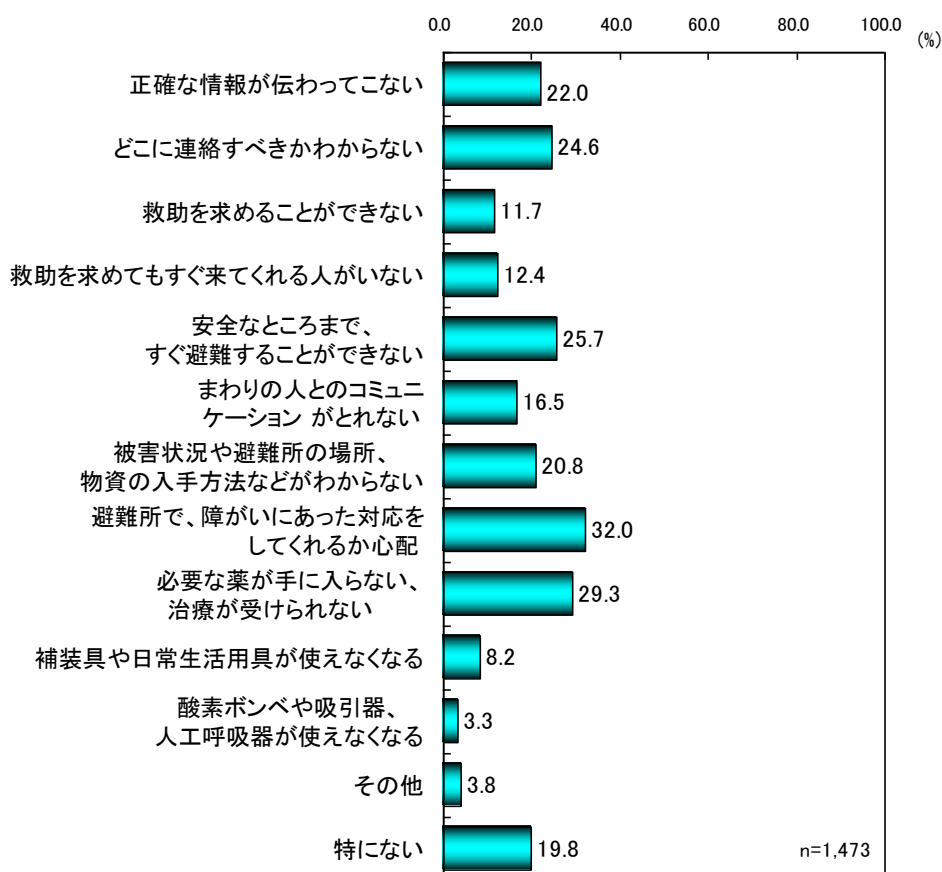
この結果を交付手帳の種類別等にみると、「障がいのある人となない人が交流したり、共に活動する機会を拡充する」は「療育手帳交付者」、「発達障がいの診断を受けた人」で高くなっている。「市民や企業、団体の自発的な取り組みを行政が支援する」は「難病にかかっている人」で比較的高くなっている。

		問31障がい者への理解を深める効果的な取り組み						
		合計	発 ・広 報活 動を 行 う 啓	行政や 学校の 関係団 体が、 者啓	障がい のある 人とな い活 動人	的市 な取 り組 み、 行政 の自 支	その他	無 回 答
■問5手帳の交付状況	全体	1,473 100.0	362 24.6	394 26.7	248 16.8	88 6.0	381 25.9	
	身体障害者手帳	890 100.0	232 26.1	190 21.3	152 17.1	47 5.3	269 30.2	
	療育手帳	293 100.0	59 20.1	123 42.0	44 15.0	15 5.1	52 17.7	
	精神障害者保健福祉手帳	309 100.0	75 24.3	88 28.5	44 14.2	25 8.1	77 24.9	
	わからない	21 100.0	4 19.0	2 9.5	2 9.5	2 9.5	11 52.4	
	障害者手帳の交付は受けていない	77 100.0	17 22.1	21 27.3	23 29.9	3 3.9	13 16.9	
	かかっている	1,023 100.0	262 25.6	297 29.0	168 16.4	61 6.0	235 23.0	
	わからない	137 100.0	34 24.8	29 21.2	23 16.8	10 7.3	41 29.9	
	無回答	119 100.0	23 19.3	18 15.1	11 9.2	5 4.2	62 52.1	
■問7発達障がい	ない	918 100.0	238 25.9	243 26.5	166 18.1	53 5.8	218 23.7	
	ある	170 100.0	50 29.4	60 35.3	30 17.6	9 5.3	21 12.4	
	わからない	108 100.0	19 17.6	30 27.8	11 10.2	13 12.0	35 32.4	
	無回答	277 100.0	55 19.9	61 22.0	41 14.8	13 4.7	107 38.6	

## 4. 地震や台風等の大きな災害が起きた場合の心配事 ※複数回答

問32 地震や台風等の大きな災害が起きた場合、どのようなことが心配ですか。(〇はいくつでも)

「避難所で、障がいにあった対応をしてくれるか心配」の32.0%が最も高く、これに「必要な薬が手に入らない、治療が受けられない」の29.3%、「安全なところまで、すぐ避難することができない」の25.7%、「どこに連絡すべきかわからない」の24.6%が続いている。



交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた心配事は、以下の通り。

	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=214)	「避難所で、障がいにあった対応をしてくれるか心配」 (29.7%)	「安全なところまで、すぐ避難することができない」(26.9%)	「必要な薬が手に入らない、治療が受けられない」 (25.7%)
療育手帳 (n=141)	「避難所で、障がいにあった対応をしてくれるか心配」 (54.3%)	「まわりの人とのコミュニケーションがとれない」(36.5%)	「安全なところまで、すぐ避難することができない」(34.1%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=136)	「必要な薬が手に入らない、治療が受けられない」 (39.8%)	「被害状況や避難所の場所、物資の入手方法などがわからない」(27.5%)	「どこに連絡すべきかわからない」(25.6%)
難病にかかっている (n=60)	「必要な薬が手に入らない、治療が受けられない」 (34.0%)	「避難所で、障がいにあった対応をしてくれるか心配」 (29.4%)	「安全なところまで、すぐ避難することができない」(27.8%)
発達障がいの診断を受けた (n=97)	「避難所で、障がいにあった対応をしてくれるか心配」 (62.9%)	「まわりの人とのコミュニケーションがとれない」(44.7%)	「どこに連絡すべきかわからない」(35.3%) 「被害状況や避難所の場所、物資の入手方法などがわからない」(同) 「必要な薬が手に入らない、治療が受けられない」(同)

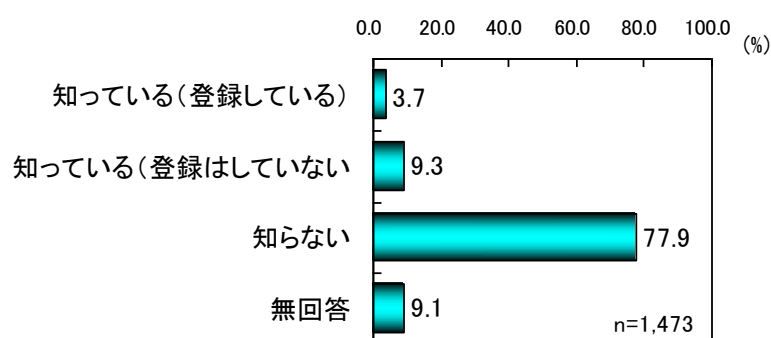
## 5.「熊本市災害時要援護者支援制度」の認知

問33 あなたは、「熊本市災害時要援護者支援制度」を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」の77.9%が最も高い。「知っている(登録している)」3.7%、「知っている(登録していない)」9.3%となっている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「知っている(登録している)」の割合は「療育手帳交付者」の6.5%が最も高く、これに「身体障害者手帳交付者」の4.5%が続いている。「知らない」の割合は、「精神障害者保健福祉手帳交付者」の83.5%が最も高く、これに「療育手帳交付者」の81.9%が続いている。

「発達障がいの診断を受けた人」でも「知らない」の割合が高く85.3%となっている。

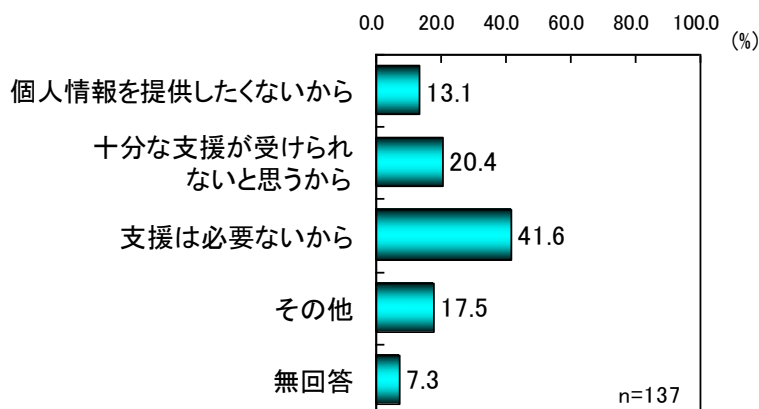


		問33熊本市災害時要援護者支援制度				
		合計	知っている (登録している)	知っている (登録していない)	知らない	無回答
全体		1,473	55	137	1,147	134
		100.0	3.7	9.3	77.9	9.1
問5 手帳の 交付 状況	身体障害者手帳	890	40	100	648	102
		100.0	4.5	11.2	72.8	11.5
	療育手帳	293	19	20	240	14
		100.0	6.5	6.8	81.9	4.8
	精神障害者保健福祉手帳	309	4	20	258	27
		100.0	1.3	6.5	83.5	8.7
	わからない	21	0	1	17	3
		100.0	0.0	4.8	81.0	14.3
	障害者手帳の交付は 受けていない	77	0	5	68	4
		100.0	0.0	6.5	88.3	5.2
問7 発達障 がい						
	ない	918	29	91	730	68
		100.0	3.2	9.9	79.5	7.4
	ある	170	9	11	145	5
		100.0	5.3	6.5	85.3	2.9
	わからない	108	4	6	87	11
		100.0	3.7	5.6	80.6	10.2
	無回答	277	13	29	185	50
		100.0	4.7	10.5	66.8	18.1

★問33で「2. 知っている(登録はしていない)」と回答した方におたずねします。

### 問33 問33-2 制度に登録していない理由を教えてください。

制度に登録していない理由をみると、「支援は必要ないから」の41.6%が最も高く、これに「十分な支援が受けられないと思うから」の20.4%が続いている。



この結果を交付手帳の種類別等にみると、「身体障害者交付者」は他の手帳交付者に比べて「支援は必要ないから」の割合が高くなっている。一方で、「身体障害者手帳交付者」と「療育手帳交付者」では「十分な支援が受けられないと思うから」の割合が高くなっている。

「難病にかかっている人」と「発達障がい診断を受けた人」では「個人情報を提供したくないから」の割合が比較的高くなっている。

		問33の2制度に登録しない理由					
		合計	個人情報を提供したくないから	十分な支援が受けられないと思うから	支援は必要ないから	その他	無回答
全体		137	18	28	57	24	10
		100.0	13.1	20.4	41.6	17.5	7.3
問5 手帳の交付状況	身体障害者手帳	100	12	24	42	12	10
		100.0	12.0	24.0	42.0	12.0	10.0
	療育手帳	20	3	5	2	7	3
		100.0	15.0	25.0	10.0	35.0	15.0
	精神障害者保健福祉手帳	20	3	3	7	7	0
		100.0	15.0	15.0	35.0	35.0	0.0
わからない		1	0	0	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
障害者手帳の交付は受けていない		5	0	0	4	1	0
		100.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0
問6 難病							
かかっている	かかっている	102	8	21	47	19	7
		100.0	7.8	20.6	46.1	18.6	6.9
かかっている	かかっている	18	5	3	6	3	1
		100.0	27.8	16.7	33.3	16.7	5.6
わからない	わからない	11	4	3	2	1	1
		100.0	36.4	27.3	18.2	9.1	9.1
無回答	無回答	6	1	1	2	1	1
		100.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7
問7 発達障がい							
ない	ない	91	13	19	41	14	4
		100.0	14.3	20.9	45.1	15.4	4.4
ある	ある	11	2	2	3	4	0
		100.0	18.2	18.2	27.3	36.4	0.0
わからない	わからない	6	0	3	0	2	1
		100.0	0.0	50.0	0.0	33.3	16.7
無回答	無回答	29	3	4	13	4	5
		100.0	10.3	13.8	44.8	13.8	17.2



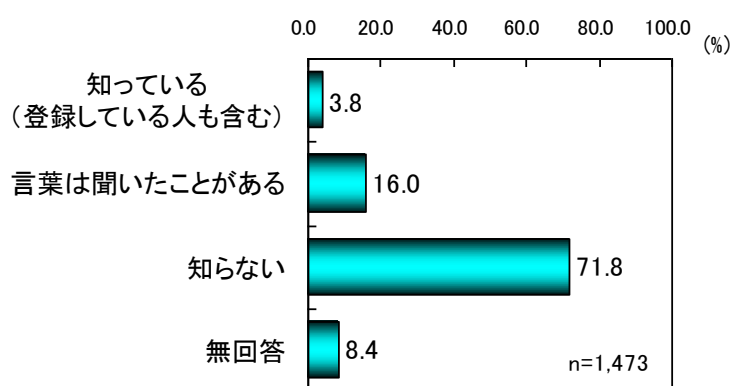
## 6. 「障害者サポーター制度」の認知状況

問34 本市では、市民の皆さんが障がいについて理解を深め、障がいのある人にとって必要な配慮の実践につなげる「障がい者サポーター制度」を設けています。

あなたは、この障がい者サポーター制度を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」の71.8%が最も高い。「言葉は聞いたことがある」16.0%、「知っている(登録している人を含む)」3.8%となっている。

この結果を交付手帳の種類別にみると、「知っている(登録している)」の割合は「身体障害者手帳交付者」の4.5%が最も高く、これに「精神障害者保健福祉手帳交付者」の3.6%が続いている。「知らない」の割合は、「精神障害者保健福祉手帳交付者」の76.1%が最も高く、これに「療育手帳交付者」の72.0%が続いている。



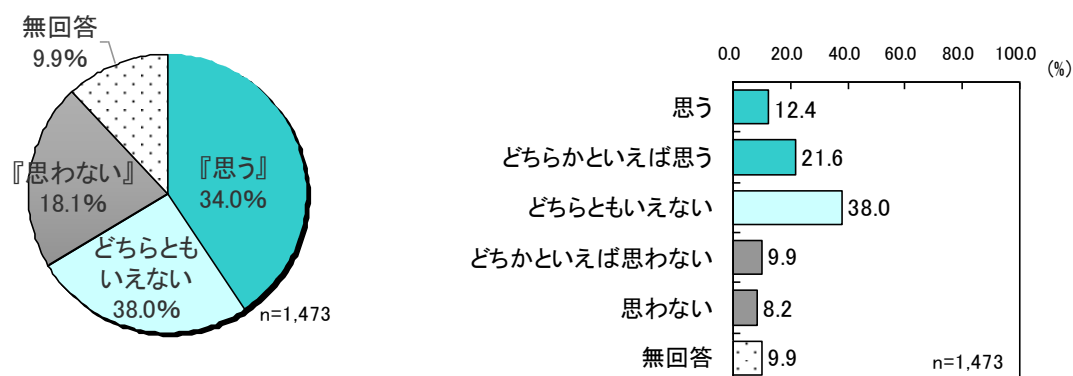
		問34障がい者サポーター制度				
		合計	知っている人も含みます(登録している)	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		1,473	56	236	1,057	124
		100.0	3.8	16.0	71.8	8.4
問5手帳の交付状況	身体障害者手帳	890	40	145	617	88
		100.0	4.5	16.3	69.3	9.9
	療育手帳	293	6	58	211	18
		100.0	2.0	19.8	72.0	6.1
	精神障害者保健福祉手帳	309	11	37	235	26
		100.0	3.6	12.0	76.1	8.4
わからない		21	1	0	17	3
		100.0	4.8	0.0	81.0	14.3
障害者手帳の交付は受けていない		77	1	10	63	3
		100.0	1.3	13.0	81.8	3.9

## 7. 本市は障がいのある人にとって暮らしやすいまち

問36 あなたは、本市が障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「どちらともいえない」の 38.0%が最も高く、これに「どちらかといえば思う」の 21.6%が続いている。「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた「本市は障がいのある人にとって暮らしやすいまち」と思っている人は、34.0%となっている。

この結果を交付手帳の種類別等に見ると、『思わない(「どちらかといえば思わない」+「思わない」)』は「発達障がいの診断を受けた人」31.2%、「療育手帳交付者」25.3%、「精神障害者保健福祉手帳交付者」21.7%となっており、「身体障害者手帳交付者」の 15.3%と比べ極めて高くなっている。

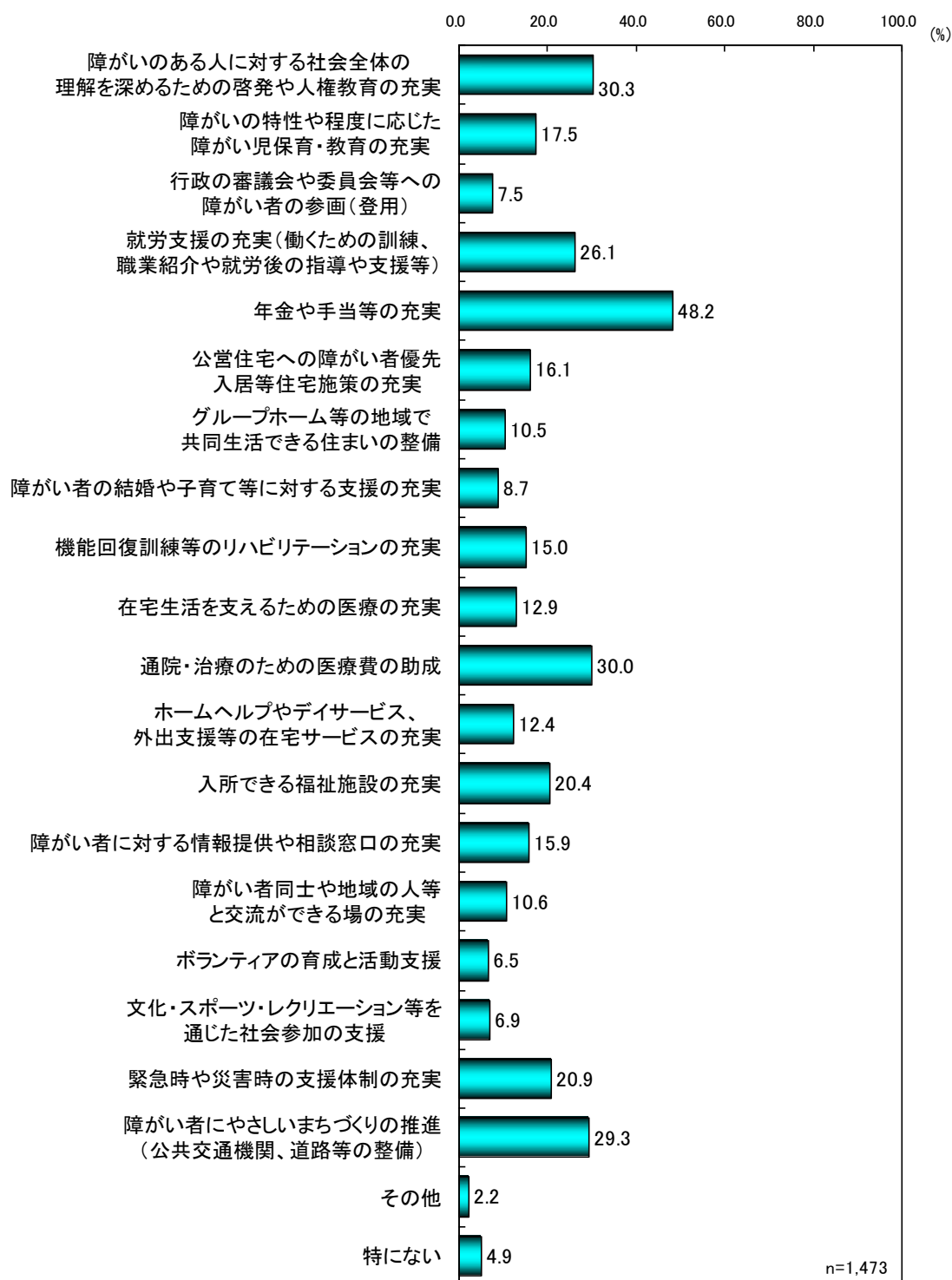


		問36障がいのある人に暮らしやすいまちか						
		合計	思う	思 う ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	思 わ な か い と い え ば	思 わ な い	無 回 答
全体		1,473	182	318	560	146	121	146
		100.0	12.4	21.6	38.0	9.9	8.2	9.9
問5 手帳の 交付 状況	身体障害者手帳	890	117	217	316	74	62	104
		100.0	13.1	24.4	35.5	8.3	7.0	11.7
	療育手帳	293	31	46	126	41	33	16
		100.0	10.6	15.7	43.0	14.0	11.3	5.5
	精神障害者保健福祉手帳	309	42	54	116	30	37	30
		100.0	13.6	17.5	37.5	9.7	12.0	9.7
問7 発達障 がい	わからない	21	3	4	7	3	0	4
		100.0	14.3	19.0	33.3	14.3	0.0	19.0
	障害者手帳の交付は 受けていない	77	5	13	35	11	8	5
		100.0	6.5	16.9	45.5	14.3	10.4	6.5
問7 発達障 がい	ない	918	123	221	337	83	72	82
		100.0	13.4	24.1	36.7	9.0	7.8	8.9
	ある	170	7	30	76	29	24	4
		100.0	4.1	17.6	44.7	17.1	14.1	2.4
	わからない	108	12	21	45	13	9	8
		100.0	11.1	19.4	41.7	12.0	8.3	7.4
	無回答	277	40	46	102	21	16	52
		100.0	14.4	16.6	36.8	7.6	5.8	18.8

## 8. 充実すべき障がいのある人に対する支援策 ※複数回答

問37 障がいのある人に対する支援として、行政(国・県・市)はどのようなことをさらに充実すべきだと思いますか。(〇は5つまで)

「年金や手当等の充実」の 48.2%が最も高く、これに「障がいのある人に対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実」の 30.3%、「通院・治療のための医療費の助成」の 30.0%が続いている。



交付手帳の種類別及び難病の有無、発達障がい診断の有無別にみた充実すべきだと思う支援策は、以下の通り。

	第1位	第2位	第3位
身体障害者手帳 (n=214)	「年金や手当等の充実」 (48.1%)	「障がい者にやさしいまちづくりの推進」(31.6%)	「通院・治療のための医療費の助成」(30.1%)
療育手帳 (n=141)	「年金や手当等の充実」 (48.1%)	「就労支援の充実」(36.5%)	「障がいの特性に応じた障がい児保育・教育の充実」 (35.8%)
精神障害者保健福祉手帳 (n=136)	「年金や手当等の充実」 (48.1%)	「障がいのある人に対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実」(32.4%) 「就労支援の充実」(同)、「通院・治療のための医療費の助成」(同)	
難病にかかっている (n=60)	「年金や手当等の充実」 (47.9%)	「通院・治療のための医療費の助成」(37.1%)	「障がい者にやさしいまちづくりの推進」(32.0%)
発達障がいの診断を受けた (n=97)	「年金や手当等の充実」 (52.4%)	「就労支援の充実」(51.2%)	「障がいの特性に応じた障がい児保育・教育の充実」 (48.8%)